

林地開発許可申請書

20年 5月 30日

静岡県知事 様

住所

申請者氏名

次のとおり開発行為をしたいので、森林法第10条の2第1項の規定により許可を申請します。

| | |
|---------------------|--------------------------|
| 開発行為に係る森林の 所在場所 | 熱海市 伊豆山 字嶺ヶ 7-1 筆 |
| 開発行為に係る森林の 土地の面積 | 1.938 ⁴ ha |
| 開発行為の目的 | 宅地の造成 |
| 開発行為の着手予定年月日 | 許可日より |
| 開発行為の完了予定年月日 | 平成20年10月23日 |
| 備考 | 連絡先 申請者 設計者 施行者 |

注意事項

- 1 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 2 面積は、実測とし、ヘクタールを単位として小数第4位まで記載すること。
- 3 備考欄には、開発行為を行うことについて行政庁の許認可その他の処分を必要とする場合には、備考欄にその手続きの状況を記載すること。



協 定 書

熱海市（以下「甲」という。）と事業者 [REDACTED]
（以下「乙」という。）は、乙が熱海市伊豆山嶽ヶ [REDACTED] 外 28 筆で行う（仮称）熱海市伊豆山分譲計画工事の施行に関して次のとおり締結する。

（信義誠実の義務）

第1条 甲および乙は、信義、誠実をもってこの協定書に定める事項を忠実に履行しなければならない。

（事業計画）

第2条 乙は、甲の承認を得た別冊開発事業計画審査願及び甲と協議して決定した事項のほか、熱海市まちづくり条例に基づいて工事を施行しなければならない。

2 乙は、事業計画等を変更しようとするときは、事前に甲の承認を得なければならない。

（施工上の措置）

第3条 乙は、施工中において、関係住民に対し、公害、災害、交通等による影響を与えないよう、甲及び熱海警察署と協議し万全の措置を講じなければならない。

2 乙は、工事等の際使用した道路を損傷した場合は、工事完成後直ちに検査を受け現状に復すること。なお、工事期間中であっても通行に支障をきたすときは、そのつど補修するものとする。

3 乙は、事業の施行に先行して防災施設工事を行うものとする。

（損害の補償）

第4条 乙は、工事又は施設に起因して災害が発生した場合は、すみやかに甲と協議し、乙の責任において災害の復旧を行ない災害によって発生した被害について補償しなければならない。

（紛争解決の義務）

第5条 乙は、工事中および工事完成後において日照、電波障害、風害、眺望、環境衛生、工事公害等の問題について関係住民と紛争が生じた場合は、乙の責任において解決しなければならない。



(共同使用施設の維持管理)

第6条 工事完了後における環境衛生施設、用排水施設、防災施設等の共同使用施設に関する維持管理は、乙の責任において行うものとする。

(公園及び緑地)

第7条 乙は、この用地に責任をもって管理するものとし、他の用途に使用してはならない。

(権利義務の承継)

第8条 乙は、この計画事業を第三者に譲渡若しくは移転したときは、本協定に定めた事項のすべてを承継し、乙の負担する権利義務は、乙及び譲受人が連帯して、その責を負うものとする。

(協 議)

第9条 この協定に定めのない事項については、法令に定めるもののほか、そのつど甲、乙協議のうえ処理するものとする。



この協定の成立を証するため、協定書を2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各自1通を保有する。

平成18年12月4日

(甲) 熱海市中央町1番1号

熱海市

市長 齊藤 栄



(乙)



森林現況取りまとめ表

| 区 分 | | 現 況 | | Aのうち形質変更面積 | | 備 考 |
|------------------|-----|---|----------|---------------|------------|-----|
| | | 面積 (A) | 比 率 | 面積 (B) | B/A | |
| 5 条 森 林 | 人工林 | | | | | |
| | 天然林 | ha 0.1318 | % 6.3 | | | |
| | その他 | 1.9384 | 92.0 | ha 1.9384 | % 100.0 | |
| | 計 | 2.0702 (a) | 98.3 | 1.9384 (b) | 93.6 | |
| 5条森林以外 | | 0.0364 | 1.7 | 0.0364 | 100.0 | |
| 合 計 | | 2.1066 | 100.0 | 1.9748 | 93.7 | |
| 森 林 率 | | $\frac{\text{有効残置森林面積} + \text{造成森林面積}}{\text{5条森林}} = \frac{0.1318 + 0.4477}{2.0702} \times 100 = 27.99\%$ | | | | |

(注) 森林率の算定方法

有効残置山林(1)=(a)-(b)ただし、15年生以下の森林、無立木地、崩壊地、伐採跡地等は除く
造成林(2)=緑化計画書の造成林面積を記載する。

森林面積(3)=(a)

※ 開発目的が住宅地の造成の場合は、造成林も森林率にカウントすることができる。



開発区域内の土地の明細表

| 所在場所 | 登記簿 地目 | 森林の 区分 | 面積 | | 土地所有者の 住所氏名 | 同意等の 有無 | その他の権利 | | 同意等の 有無 | 備考 |
|---------------------------------|-----------|-----------|------------|-------|----------------|------------|------------|------------|------------|----|
| | | | 登記簿 | 実測&見込 | | | 種類 | 住所氏名 | | |
| 熱海市 伊豆山 字嶽ヶ [REDACTED] | 原野 | ◎ | [REDACTED] | | [REDACTED] | ○ | [REDACTED] | [REDACTED] | ○ | |
| 熱海市 伊豆山 字嶽ヶ [REDACTED] | 原野 | ◎ | [REDACTED] | | [REDACTED] | ○ | [REDACTED] | [REDACTED] | ○ | |
| | | | | | | | | | | |

添付図書

○ 土地所有者等の同意書

○ 土地登記事項証明書



ほ
嶽ヶ

41

は
宝司ヶ嶽

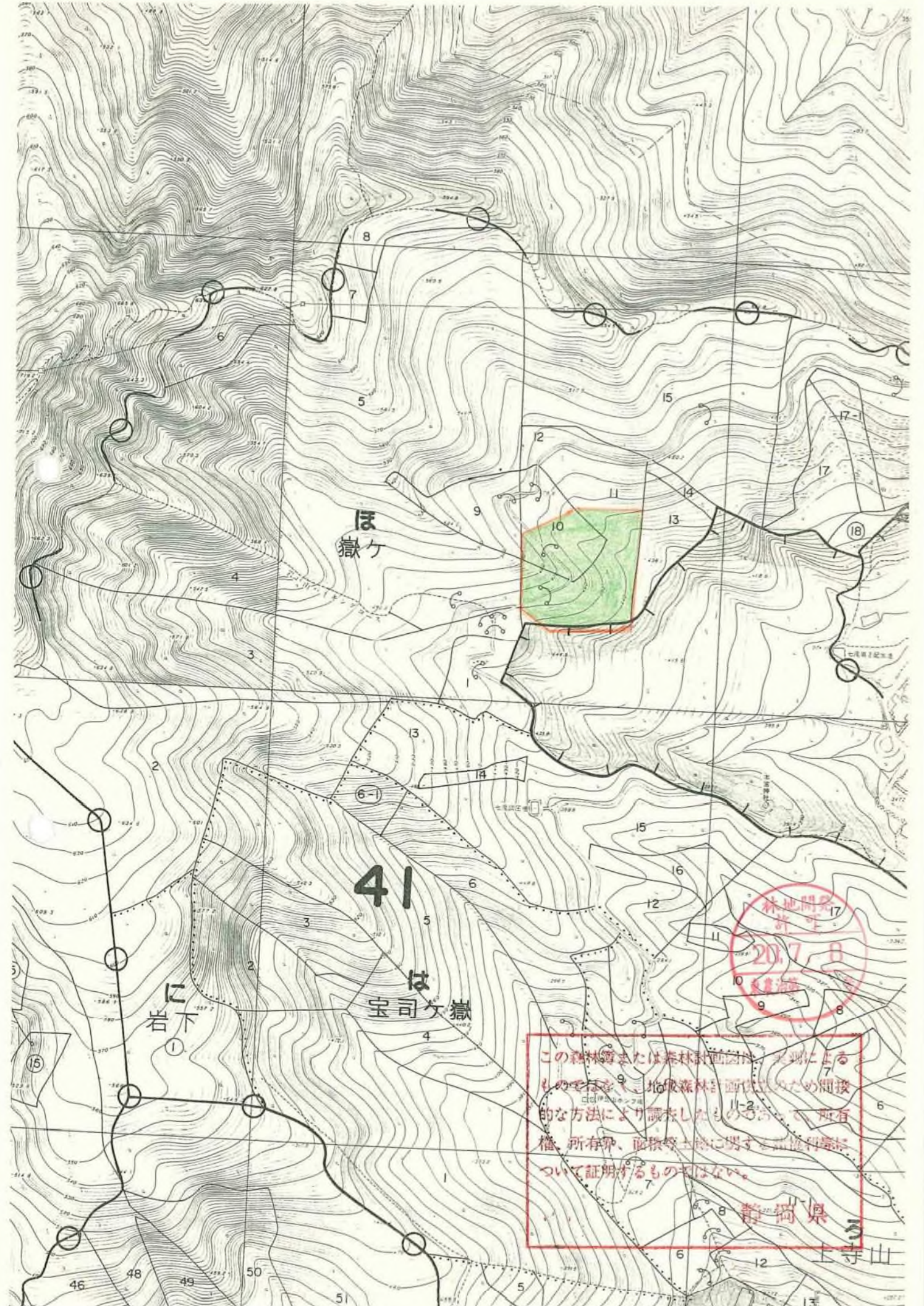
に
岩下

この森林簿または森林計画図は、大別による
ものであり、この区域の森林計画図作成のための間接
的な方法により調査したものである。所有
権、所有界、面積等土地に関する諸権利等
について証明するものではない。

林地開発
許可
20.7.8
林務課

静岡県

上寺山





静岡県東部農林事務所長



立地調査の結果について

平成20年5月16日付けで調査依頼のあったこのことについて、下記のとおり回答します。

なお、林地開発許可申請をするときは、本書の写しのほか、該当のある項目について担当部局と協議した結果を併せて添付してください。

記

1 調査結果

| No. | 調査事項 | 該当の有無 | 摘要 |
|-----|----------------------------|-------|-------------|
| 1 | 地域森林計画対象森林区域 | あり | 別添森林計画図のとおり |
| 2 | 保安林・保安施設地区（予定地を含む） | なし | |
| 3 | 県営林（県有林・県行造林地） | なし | |
| 4 | 林道の利用区域 | なし | |
| 5 | 造林・間伐の補助金を受けている区域 | なし | |
| 6 | 森林病虫害の防除事業を実施した区域 | なし | |
| 7 | 治山施設 | なし | |
| 8 | 地すべり等防止区域 | なし | |
| 9 | その他林業関係の公共投資を受けている区域 | — | 熱海市に照会すること |
| 10 | 森林施業計画（大臣又は知事認定分）を樹立している区域 | なし | |
| 11 | その他（総合判断による県からの要望事項） | なし | |

2 市町村森林整備計画等に関する事項

次の事項については市町村の林業担当課に照会し、該当がある場合は、担当部局と協議してください。

| No. | 調査事項 |
|-----|---------------------------------|
| 12 | 市町村 伐採方法その他施業の方法を特定する必要がある区域 |
| 13 | 森林整備計画 公益的機能別施業森林区域 |
| 14 | 森林施業計画（市町長認定分）を樹立している区域 |
| 15 | その他（森林、林業施策上の総合判断による市町村からの要望事項） |



注 意 事 項

(一般事項)

- 1 森林法第10条の2の許可（以下「林地開発の許可」という。）の対象となる森林は、森林法第5条の規定によりたてられた地域森林計画の対象の民有林（以下「5条森林」という。）です。
ただし、森林法や海岸法により指定された保安林や海岸保全区域内の森林は除かれ、別の手続きが必要です。
- 2 5条森林の範囲は、別添森林計画図のとおりです。
ただし、道路敷（いわゆる赤線）、水路敷（いわゆる青線）、国有地及び市町認定道路は、森林計画図に記載されていなくても5条森林から除外するので、面積求積にあたっては留意してください。
- 3 5条森林を形質変更しようとする面積が1haを超える場合は、県知事の許可が必要となります。
- 4 5条森林を形質変更しようとする面積が1ha以下の場合は、森林法第10条の8に基づく伐採届を市町へ提出してください。
- 5 開発の形態によっては、個々の形質変更面積が1ha以下でも全体計画の一部である場合や、開発計画相互に一体性が認められると判断した場合は、許可が必要となることがあります。
- 6 立地調査に該当事項があった場合は、関係部局と事前に十分協議してください。
- 7 立地調査の有効期限は、回答のあった日からおおむね1年間とします。
ただし、5条森林の範囲については、回答のあった日の属する年度を越えた場合、再度確認を求めることがあります。なお、有効期限を過ぎたり、区域の拡大をした場合は、本立地調査の回答書を持参し、再度、立地調査を依頼してください。
- 8 立地調査の回答結果は、あくまでも調査時点での結果であり、将来的な内容を保証するものではありません。
- 9 林地開発許可申請にあたっては、次に掲げる法令等を参考にしてください。
 - (1) 森林法（昭和26年法律第249号）
 - (2) 森林法施行令（昭和26年政令第276号）
 - (3) 森林法施行規則（昭和26年農林省令第54号）
 - (4) 森林法施行細則（平成12年静岡県規則第45号）
 - (5) 静岡県林地開発許可審査基準
 - (6) 林地開発許可申請書記載要領

(その他)



ほ
嶽ヶ

41

は
宝司ヶ嶽

に
岩下

この資料は、たいてい森林計画図、水測に出る
もの、また、地籍簿、地籍簿、地籍簿、地籍簿
的な方法により調査したもので、地籍簿、
権、所有権、取得権、取得権、取得権、
ついて証明するものではない。

林野庁
2017.8
登録

新潟県
上寺山



事業計画書

1 事業の概要

(1) 事業の目的

宅地の造成

自然環境に恵まれた景観の良い場所に、低康な住宅を供給し、
地域人口の増加に寄与するもの。

(2) 事業の内容

| | |
|------|-------------------------------|
| 開発面積 | 21065.81 m ² |
| 分譲区画 | 25 区画 |
| 道路 | W=6.0m L=320.0m |
| 公園 | 4箇所 (2000.24 m ²) |



2 計画地の現況

(1) 土地利用状況

山の傾斜地で森林（ササ、モウソウ、ザツ、アカマツ）である。

(2) 標高

最低地 430m 最高地 490m 平均 450m

(3) 傾斜

平均 30°

急傾斜地は宅造法、都市計画法の基準に基づき法面処理を行なう。

(4) 地質・土壌

- ・関東ローム層
- ・岩盤質

(5) その他（周辺地域の施設や貴重動植物、風致等の状況）

計画地は、自己所有地であり人家・公共施設等はない。
貴重動植物について、調査の結果生息の事実は無かった。

3 計画地の水に関する影響

計画地に水源を依存している地域はない。

4 土地利用規制現況等

| 根拠法令 | 規制の種類 (地域区分) | 面積 | 根拠法令 | 規制の種類 (地域区域) | 面積 |
|---------------|-----------------|----------|-----------------|-----------------|----|
| 国土利用 計画法 | 都市地域 森林地域 | | 自然公園法 | | |
| 都市計画法 | 計画区域 未線引 | 2.1066ha | 文化財保護法 | | |
| 農振法 (農用地域) | 農振区域 農用地域 | | 農村地域工業 導入促進法 | | |
| 森林法 | 地域森林計画 | 2.0702ha | | | |
| | 対象民有林 保安林 | | | | |



5 土地利用計画

(1) 施設利用計画(用途別内訳)

| 用途別内訳 | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|-----|--|--|--|
| | 森 林 | 森 林 以 外 | 計 | % | | | |
| 宅地・道路 | 1.0741ha | — | 1.0741ha | 51 | | | |
| 公園・緑地 | 0.3590ha | — | 0.3590ha | 17 | | | |
| 防災施設 | 0.0576ha | 0.0364ha | 0.0940ha | 5 | | | |
| 造成緑地 | 0.4477ha | — | 0.4477ha | 21 | | | |
| 造成森林 | — | — | — | 0 | | | |
| 残置森林 | 0.1318ha | — | 0.1318ha | 6 | | | |
| 計 | 2.0702ha | 0.0364ha | 2.1066ha | 100 | | | |

(2) 防災計画

| 区 分 | 種 別 | 施 設 概 要 |
|------|----------------------------------|---------------------------------|
| 排水施設 | 河川・水路名 | 地域内側溝→市道側溝→(準)鳴沢川→海 |
| | 河川改修の有無 | 無し |
| 防災施設 | 調整池 | 無し |
| | 沈砂池 | 無し |
| | 擁壁 | ブロック積工 |
| | 砂防堰堤 | 無し |
| その他 | 仮 設 防 災 沈 砂 池 排 水 路 柵 工 | 掘込式 設計沈砂池容量 57.5 m ³ |



(3) 道路計画

| 道路区分 | 幅員 | 延長 | 勾配 | | | 最小曲線半径 | 交通量 | 備考 |
|-------|-----|-----|-----|------|-----|--------|-----|---------------|
| | | | 最小 | 最大 | 平均 | | | |
| 公道の現況 | 6.0 | 300 | 2.0 | 10.0 | 6.0 | | | 市道七尾本宮線 |
| 進入路 | 6.0 | 450 | 2.5 | 9.0 | 6.0 | | | 移管市道 L=450 |
| 幹線道路 | | | | | | | | |
| 支線道路 | | | | | | | | |

(4) 水の確保に対する計画

特に無し

(5) 緑化計画

| 区分 | 面積 | 施工種 |
|------|----------|-----|
| 残置森林 | 0.1318ha | |
| 造成森林 | | |
| 造成緑地 | 0.4477ha | |

森林率 $0.1318\text{ha} + 0.4477\text{ha} / 2.0702\text{ha} \times 100 = 27.99\%$

残置森林率 $0.1318\text{ha} / 2.0702\text{ha} \times 100 = 6.36\%$



6 資金計画

(1) 事業費等

| 事業費内訳 | 金 額 | 備 考 |
|-------|-----|-----|
| 用地費 | | |
| 工事費 | | |
| 本工事費 | | |
| 防災工事費 | | |
| その他 | | |
| 計 | | |

(2) 資金計画

| 年度 事項 | 19年度 | 20年度 | 計 | 備考 |
|----------|------|------|---|----|
| 自 己 資 金 | | | | |
| 借 入 金 | | | | |
| そ の 他 | | | | |
| 計 | | | | |



7 土工計画

(1) 切土・盛土の土量集計

| 符 号 | 切 土 | 盛 土 | 残 土 不 足 土 | 残 土・不 足 の 処 理 方 法 |
|-----|-------------------------|-------------------------|-----------------------|----------------------|
| | 28899.18 m ³ | 27814.69 m ³ | 1084.49m ³ | 自己所有地内処理 |

(2) 切土・盛土の形状

| 区 分 | 最大切盛高 | 法 勾 配 | 小 段 | 備 考 |
|-----|-------|-------|-----------------|-------------|
| 切 土 | 33m | 1:1.5 | 高さ 5m ごとに幅 1.5m | 種子吹付工(5種混合) |
| 盛 土 | 11m | 1:1.8 | 高さ 5m ごとに幅 1.5m | 種子吹付工(5種混合) |

8 施設完成後の運営利用計画

宅地として分譲

9 防災施設及び残置森林等の管理計画

- ・ 防災施設（ブロック積工）は土地所有者が管理する。
- ・ 残地森林については土地所有者が適切に管理する。

10 その他参考となる事項

- ・ 地元町内会から同意を得ている。



工 程 表

着手年月日

(許可日)

完了予定年月日

平成 20年 10月 23日

| 工 種 | 単 位 | 数 量 | 20 年 | | | | | 21 年 | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-------|-------|---|---|---|------|----|----|---|---|---|---|--|--|--|--|
| | | | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | |
| D工区 | | | ————— | | | | | | | | | | | | | | | |
| 立木伐採 | | | — | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土工事 | | | | ————— | | | | | | | | | | | | | | |
| 植栽工事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



緑化計画書

1 概要

計画地内は安全性等を考慮して緑化します。

2 表土の利用

| 表土量 | 客土等緑化工への利用数量 | 残量 | 備考 |
|------------------|------------------|------------------|----|
| 0 m ³ | 0 m ³ | 0 m ³ | |

3 残置森林（保存緑地）及び造成森林等の管理方法

(1) 管理体制

- ・残地森林は、土地所有者が適切に管理する。
- ・公園緑地等市に帰属するものは熱海市が管理する。
- ・宅内緑地は購入者が管理する。

(2) 管理方法

- ・下刈、間伐、病虫害防除、樹木の手入れ等は土地管理者が行う



4 緑化場所別一覧表

緑化場所については、建物周辺、幹線道路の緑地帯、法面及び駐車場等具体的に記入し、緑化計画図の番号と一致させる。

(1) 残置森林

| 緑化場所 | | 残置森林 | | | | | | | | 計 | |
|------|----|------------------------|----|----|----|----|----|----|----|---------------------------|--|
| 面積 | | 1317.94 m ² | | | | | | | | m ² 1317.94 | |
| 捕植内容 | 区分 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 | | |
| | 高木 | 植栽時の樹高 3.0m以上 | | | | | | | | | |
| | | 植栽時の樹高 1.5m～3.0m | | | | | | | | | |
| | | 植栽時の樹高 0.5m～1.5m | | | | | | | | | |
| | | 植栽時の樹高 0.5m未満 | | | | | | | | | |
| | 低木 | 植栽時の樹高 0.5m以上 | | | | | | | | | |
| | | 植栽時の樹高 0.5m未満 | | | | | | | | | |
| | 合計 | | | | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | | | | | |

- 注) 1 高木とは成木に達したときの樹高が4m以上の樹木をいう。
 2 捕植しない場合、捕植内容欄の記入は必要ない。
 3 15年生以下の森林は造成森林として扱う。
 4 残置森林内の無立木地、崩壊地、伐採跡地等は造成森林に含めない。
 5 森林率にカウントしない残置森林は、備考欄に「森林率に計上しない」旨を記入する。



(2) 造成森林 (無し)

| 緑化場所 | | | | | | | | | | 計 | |
|---------|----|---------------------|----|----|----|----|----|----|----|---|--|
| 面積 | | | | | | | | | | | |
| 捕植内容 | 区分 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 | | |
| | 高木 | 植栽時の樹高 3.0m以上 | | | | | | | | | |
| | | 植栽時の樹高 1.5m~3.0m | | | | | | | | | |
| | | 植栽時の樹高 0.5m~1.5m | | | | | | | | | |
| | | 植栽時の樹高 0.5m未満 | | | | | | | | | |
| | | 計 | | | | | | | | | |
| | 密度 | | | | | | | | | | |
| | 低木 | 植栽時の樹高 0.5m以上 | | | | | | | | | |
| | | 植栽時の樹高 0.5m未満 | | | | | | | | | |
| | | 計 | | | | | | | | | |
| 張芝、種子吹付 | | | | | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | | | | | |

注) 土石の採掘の場合の緑化場所は、平場、小段及び境界から 30mの区域に分けて記入する。

(3) 造成緑地

| 緑化場所 | 造成緑地 | 公園 | 他の緑地 | | |
|---------|------------------------|--------------------------|-----------------------------|--|--|
| 面積 | 4476.73 m ² | 2000.24 m ² | 1590.05 m ² | | |
| 植栽内容 | 区分 | 景観を考慮し張芝を行い、周囲には高木を配置する。 | 風致地区条例に基づく緑地帯であることから、緑化を行う。 | | |
| | 植栽時の樹高 0.5m以上 | | | | |
| | 植栽時の樹高 0.5m未満 | | | | |
| | 合計 | | | | |
| 張芝、種子吹付 | 4476.73 m ² | | | | |
| 備考 | 種子吹付 (木本を含む) | | | | |



残置する森林等の管理に関する誓約書

平成 20 年 5 月 30 日

静岡県知事 石川 嘉延 様

申請者 住 所
氏 名

土地所有者 住 所
氏 名

次の残地する森林等について、下記のとおり維持管理することを誓約します。
なお、開発完了後に残置森林の維持管理協定に関する実施要領に基づき協定を締結します。
また、締結後は協定内容に従うこととします。

残置する森林等の区域及び面積 熱海市伊豆山字嶽ヶ [] の各一部 (0.1318ha)
林地許可申請書に添付した緑化計画書及び緑化計画平面図のとおり

記

(残置する森林等の保存)

1 残置する森林等は、開発行為が完了した後においても他の目的には転用しません。

(地域森林計画の遵守)

2 残置する森林等が森林法第 5 条の規定による地域森林計画の対象となる場合は、その計画に即した施業を行ないます。

(補植等の実施)

3 残置する森林等のうち、補植又は改植を必要とする箇所には、現地に適合した樹種を適期に植栽します。

(保育管理の実施)

4 残置する森林等のうち、下刈、つる切り、除伐、間伐、施肥及び病虫害防除等を必要とする箇所及び造成森林については、適切な保育管理を行います。

(立木の伐採)

5 残置する森林等が地域森林計画の対象であり、当該森林等の立木を伐採する場合は、森林法第 10 条の 8 の規定により伐採届を提出します。

(誓約事項の承継)

6 残置する森林等の所有権その他森林等を利用する権利を他に譲渡したときは、この誓約事項を当該権利者に承継します。

(注)

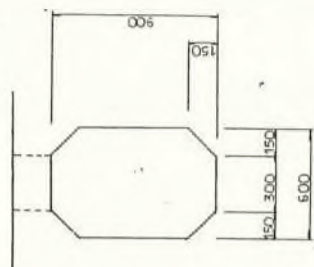
1 この様式は、開発行為の目的が「土石の採掘、建設発生処分場、廃棄物最終処分場」以外の場合に使用する。

2 土地の所有権が申請者以外の者にある場合は、原則として土地所有者との連名の誓約書とする。

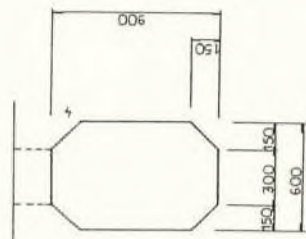


断面図

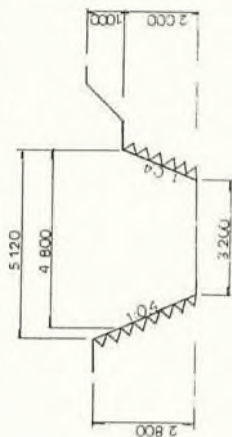
NO.1 地点
BOXCaL 600x900 i=90‰



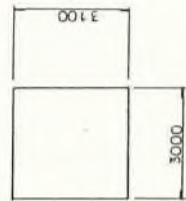
NO.2 地点
BOXCaL 600x900 i=100‰



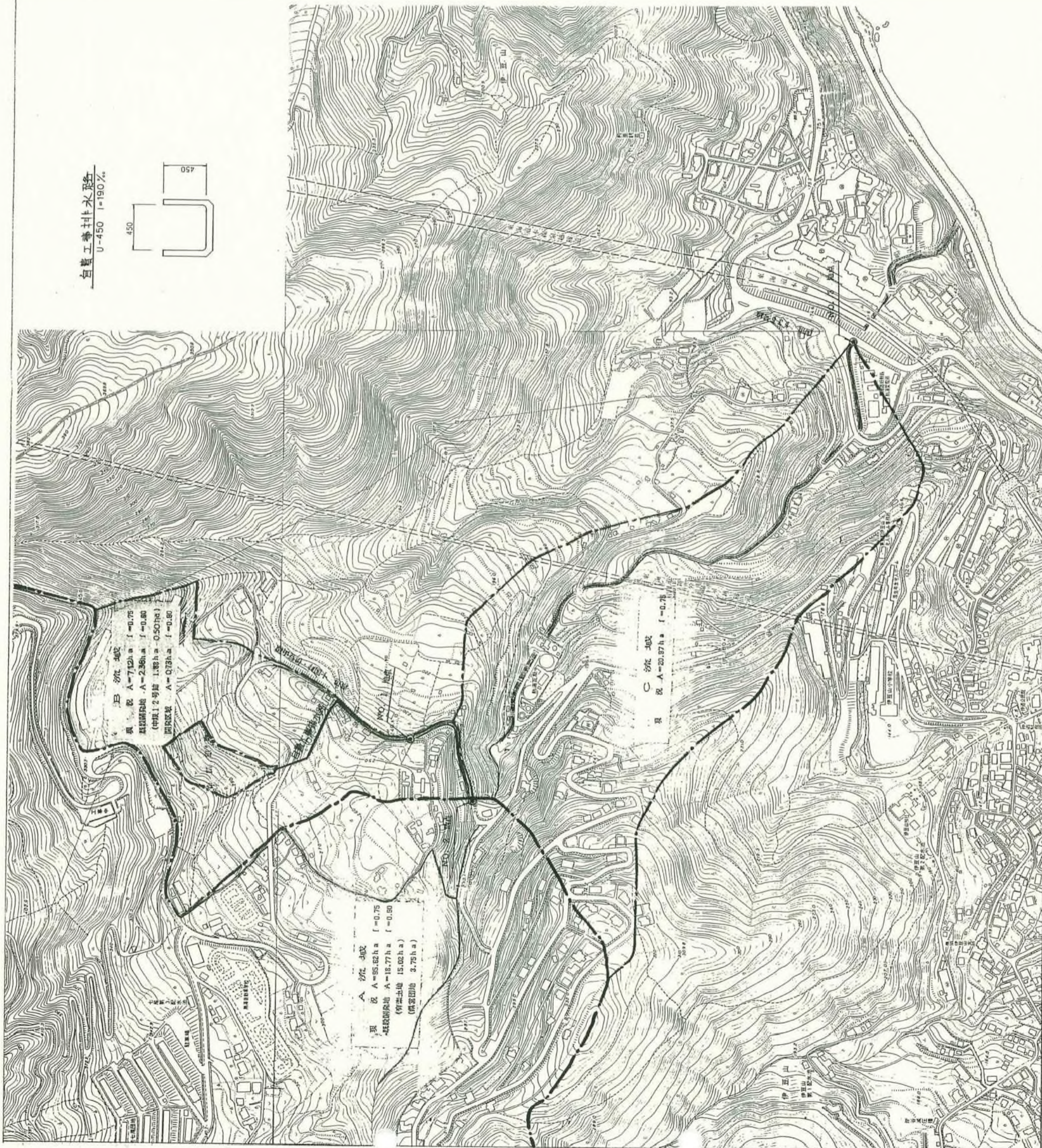
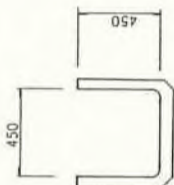
NO.3 地点
高岸石積・河床コンクリート張り i=66.6‰



(国産135号線横断 BOXCaL 3000x3100 i=180‰)



白土工事排水設備
U-450 i=190‰



流末排水流量計算書



8. 1 検討概要

当該開発区域より接続する既設水路から鳴沢川流末までの全区間に付いて調査し、その結果により区分流域を設定し、各地点毎の流出量に対する既設水路・河川断面に於ける流下能力を検討する。

8. 2 流出量の算出

1). 使用公式

$$Q = \frac{1}{360} \times f \times r \times A$$

Q : 計画雨水流出量 (m³/sec)

f : 流出係数

開発区域 ----- 0.90

既設開発地 ----- 0.90

現況 (起伏のある土地及び樹林) -- 0.75

r : 降雨強度 126 (mm/hr)

A : 流域面積 (ha)

2). 区分流域による各流出量

別添流域図より

(A 流域)

現況 A = 95.62 ha f = 0.75

既設開発地 A = 18.77 ha f = 0.90

(有楽土地 15.02 ha)

(県営団地 3.75 ha)

$$Q_A = \frac{1}{360} \times 126 \times (95.62 \times 0.75 + 18.77 \times 0.90)$$

$$= 31.012 \approx 31.01 \text{ m}^3/\text{sec}$$

(B 流域)

現況 A = 7.12 ha f = 0.75

既設開発地 A = 2.38 ha f = 0.90

(中銀12号館 1.88 ha 0.50 ha)

開発区域 A = 0.73 ha f = 0.90



$$Q_B = \frac{1}{360} \times 126 \times (7.12 \times 0.75 + 2.38 \times 0.90 + 0.73 \times 0.90) = 2.849 \approx 2.85 \text{ m}^3/\text{sec}$$

(C 流域)

現況 $A = 20.97 \text{ ha}$ $f = 0.75$

$$Q_C = \frac{1}{360} \times 126 \times 0.75 \times 20.97 = 5.504$$

$$\approx 5.50 \text{ m}^3/\text{sec}$$

流域面積合計

$$\Sigma A = A + B + C = 114.39 + 10.23 + 20.97$$

$$= 145.59 \text{ ha}$$

3) . 各地点毎の流出量

NO. 1地点

NO. 2地点まで同一断面にて、NO. 2地点にて検討する。

NO. 2地点

$$Q_2 = Q_B = 2.85 \text{ m}^3/\text{sec}$$

NO. 3地点

$$Q_3 = Q_A + Q_B + Q_C = 31.01 + 2.85 + 5.50$$

$$= 39.36 \text{ m}^3/\text{sec}$$

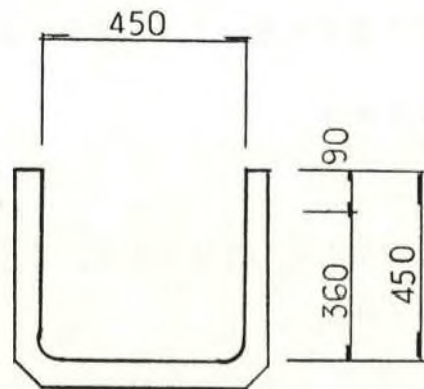


自費工事排水路

8割水深

粗度係数0.015

重力水勾配190‰



$$P = 0.360 \times 2 + 0.450 = 1.170 \text{ m}$$

$$A = 0.450 \times 0.360 = 0.162 \text{ m}^2$$

$$R = A/P = 0.162 / 1.170 = 0.138$$

$$= 0.138^{2/3} = 0.267$$

$$\lambda = 190.0 \text{ ‰}$$

$$V = 1 / 0.015 \times 0.267 \times 0.190^{1/2} = 7.759 \text{ m/sec}$$

$$Q = A \cdot V = 0.162 \times 7.759 = 1.257 \text{ m}^3/\text{sec}$$

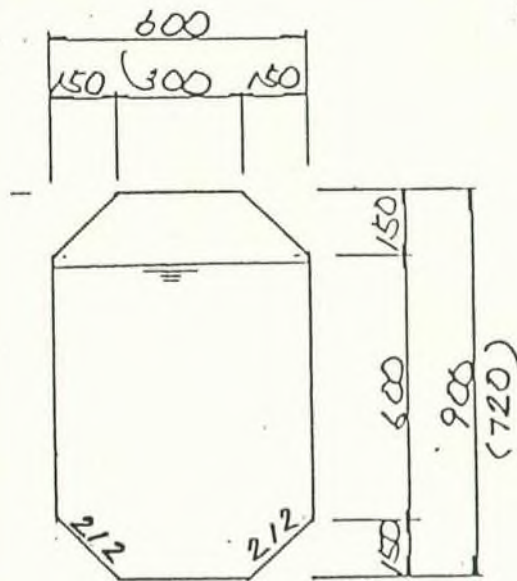
南発区域流量 $0.275 \text{ m}^3/\text{sec} < 1.257 \text{ m}^3/\text{sec}$

よってOKである。

NO 2 地点,

8割水深

粗度係数 0.015
動水勾配 100%



$$P = 0.212 \times 2 + 0.300 + 0.570 \times 2 = 1.862 \text{ m}$$

$$A = 0.720 \times 0.600 - 0.150^2 = 0.410 \text{ m}^2$$

$$R = A/P = \frac{0.410}{1.862} = 0.220$$

$$= 0.220^{2/3} = 0.364$$

$$\lambda = 100\%$$

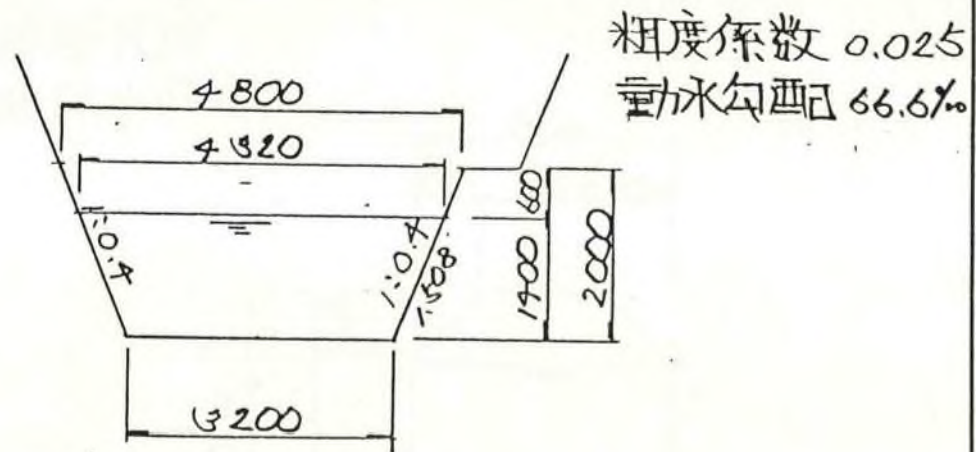
$$V = 1/0.015 \times 0.364 \times 0.100^{1/2} = 7.674 \text{ m/sec}$$

$$Q = A \cdot V = 0.410 \times 7.674 = 3.146 \text{ m}^3/\text{sec}$$



NO. 3地点

天端より - 0.600^m



$$P = 1.508 \times 2 + 3.200 = 6.216^m$$

$$A = (3.200 + 4.320) \times \frac{1}{2} \times 1.400 = 5.264^{m^2}$$

$$R = \frac{A}{P} = 5.264 / 6.216 = 0.847$$

$$0.847^{2/3} = 0.895$$

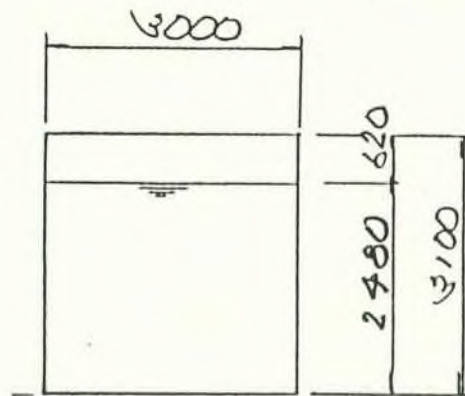
$$V = 1 / 0.025 \times 0.895 \times 0.066^{1/2} = 9.197^{m/sec}$$

$$Q = A \cdot V = 5.264 \times 9.197 = 48.413^{m^3/sec}$$



国道135号線横断

8割水深



粗度係数 0.015
動水勾配 180‰

$$P = 2.48 \times 2 + 3.00$$

$$= 7.960 \text{ m}$$

$$A = 2.48 \times 3.00$$

$$= 7.440 \text{ m}^2$$

$$R = \frac{A}{P} = \frac{7.44}{7.96}$$

$$= 0.935$$

$$0.935 \approx 0.956$$

$$= 0.956$$

$$\lambda = 180 \text{ ‰}$$

$$V = \frac{1}{0.015} \times 0.956 \times 0.180^{1/2}$$

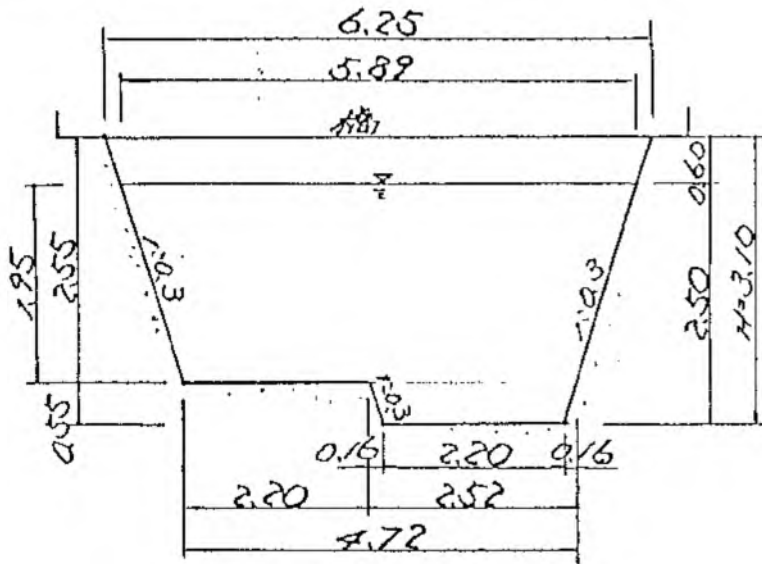
$$= 27.040 \text{ m/sec}$$

$$Q = A \cdot V = 7.44 \times 27.040$$

$$= 201.178 \text{ m}^3/\text{sec}$$



ビニライン道路下



コンクリート三面張
 $I = 80.0\% = 1/2.5$
 内天端より 0.6m を
 水深とする。

$$A = (2.52 + 2.20) \times \frac{1}{2} \times 0.55 + (5.89 + 4.72) \times \frac{1}{2} \times 1.95$$

$$= 11.642 \text{ m}^2$$

$$P = (1.95 + 2.50 + 0.55) \times 1.074 + 2.20 \times 2 = 9.620 \text{ m}$$

$$R = A/P = 1.210$$

$$1/0.015 = 66.666, 1.210^{2/3} = 1.135, 0.080^{1/2} = 0.282$$

$$V = 66.666 \times 1.135 \times 0.282 = 21.337 \text{ m/sec}$$

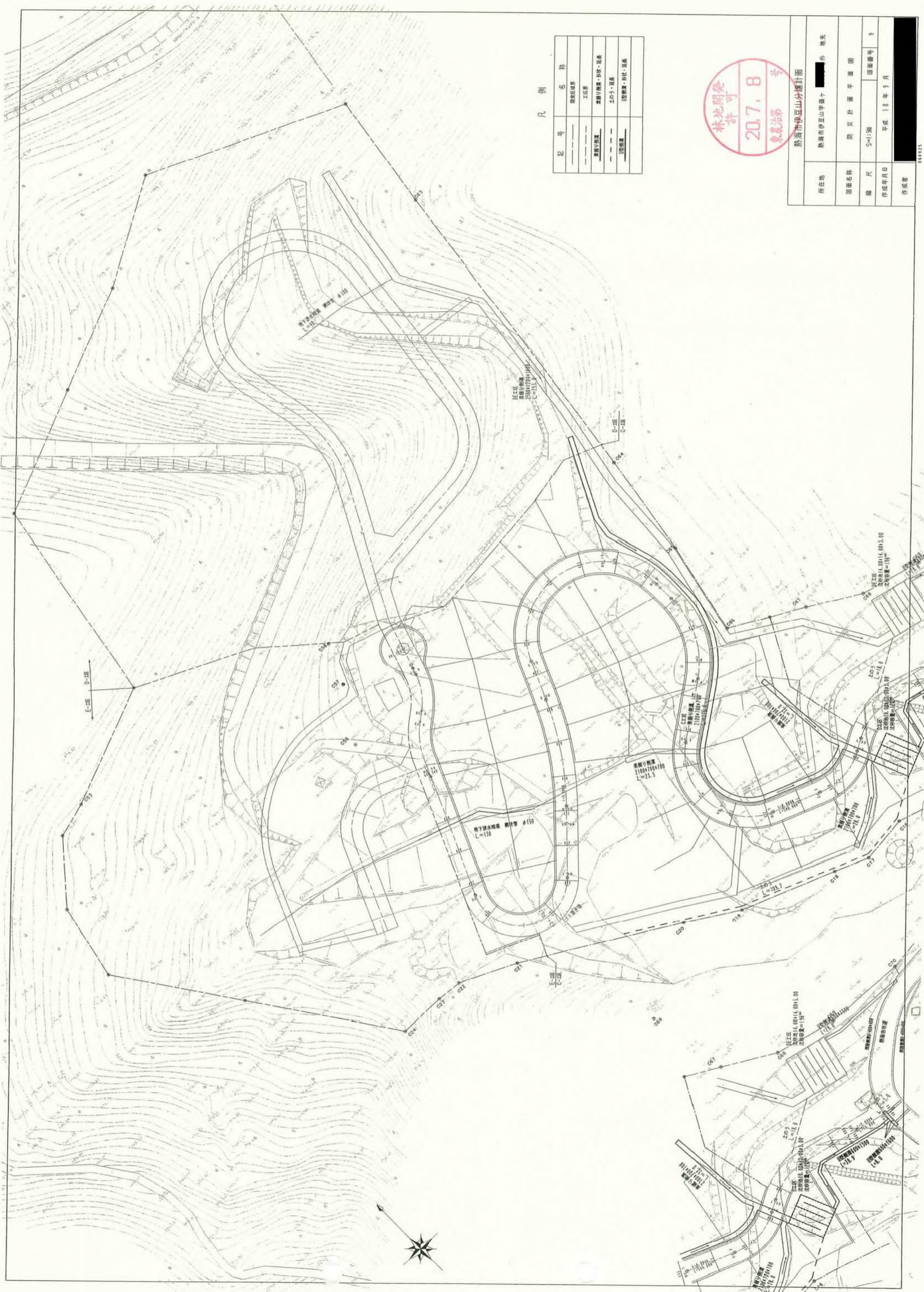
$$Q = 11.642 \times 21.337 = 248.405 \approx 248.4 \text{ m}^3/\text{sec}$$

(参考)

上記算出量より逆算にて集水面積を算出してみた。

$$i = 126 \text{ mm/hr} \quad f = 0.9 \text{ とし}$$

$$A = \frac{360 \cdot Q}{f \cdot i} = \frac{360 \times 248.4}{0.9 \times 126} = 788.5 \text{ ka}$$



凡例

| 記号 | 名称 |
|-----|-----------|
| —— | 境界線 |
| --- | 工区界 |
| —— | 集水井位置 |
| --- | 土のう・埋戻 |
| --- | 防護溝・排水 |
| --- | 防護溝・排水・埋戻 |



| 熱海市伊豆山分譲計画 | |
|------------|----------------|
| 所在地 | 熱海市伊豆山字湯ヶ 外 地先 |
| 図面名称 | 防犯計画平面図 |
| 縮尺 | S=1:500 図面番号 9 |
| 作成年月日 | 平成 18 年 7 月 |
| 作成者 | [Redacted] |

熱海市伊豆山分譲計画

排水施設の設計

平成18年9月



1. 設計計画

雨水排水施設の基本計画は、「開発許可ハンドブック」（静岡県都市住宅部土地対策）の第3編 技術基準編 の「第3章排水施設」に準拠する。

設計対象範囲の流域は36.513haで、地形により5つの小流域に分かれているが、自然樹林地は31.528haである。

開発区域はC工区・D工区・E工区の3工区で4.985haである。

このうちC工区は1.990ha、D・E工区は2.995haである。

C工区は自然樹林地を含んで15.240haである。

D・E工区は自然樹林地を含んで21.273haである。

面積比率は C工区=15.240/36.513=41.74% D・E工区=58.26% となる。

全流域の流末は鳴沢川であるため、雨水排水は開発区域に接続する熱海市道に敷設されているU型側溝をへて鳴沢川に流下する計画とする。

雨水排水処理に当たり、各工区的面積比率により按分して処理する。

2. 計画雨水量

2.1 算定方法

計画雨水量は次式により算定する。

$$Q = 1/360 \cdot C \cdot I \cdot A$$

Q : 計画雨水量(m³/s)

C : 流出係数

I : 降雨強度 (mm/hr)

A : 排水面積 (ha)

$$I = a / t^{n+b}$$

t : 降雨継続時間 (分)

a、b、n : 定数

2.2 流出係数

流出係数の値は、技術基準編 p.352 に一般的に採用する値を次表としている。

| | |
|-------|-----|
| 密集市街地 | 0.9 |
| 一般市街地 | 0.8 |
| 畑・原野 | 0.6 |
| 水田 | 0.7 |
| 山地 | 0.7 |

本設計では、熱海市まちづくり課との協議の結果、樹林地：0.6 裸地：0.9として、その流域は次のとおりと定めた。

①開発区域外樹林地=31.528 ha・・・流出係数=0.6

②開発区域 =4.985ha・・・流出係数=0.9



2.3 計画降雨強度

技術基準編では、排水施設の管渠の設計に用いる計画降雨強度は、都市計画法施工規則第 22 条に準拠して、5 年確率降雨強度以上の値として次のとおりである。

- ① 到達時間（継続時間）から計算により求めた 5 年確率降雨強度。
- ② 調整池の容量計算に用いる降雨継続時間を、30 分とした場合の、50 年確率降雨強度。

のいずれかとして次表を示している。熱海市は静岡県東部の東部地区になる。

1) 5 年確率降雨強度式による降雨継続時間 (mm/hr)

| 降雨継続時間 | 東部 |
|--------|-----|
| 5 分 | 126 |
| 7 | 115 |
| 10 | 104 |
| 15 | 91 |
| 20 | 82 |
| 30 | 70 |

5 年確率降雨強度式は

$$r = 809.1 / (t^{0.6} + 3.7936) \quad \text{である。}$$

2) 調整池の容量計算に用いる降雨強度 (mm/hr)

| 地 域 | 東 部 |
|--------------------------------|-----|
| 降雨継続時間 (30 分) 50 年確率短時間降雨強度 | 100 |

本設計計算においては、計算の簡略化をはかり、調整池の設計計算に用いる 30 分降雨継続時間・50 年確率降雨強度式による 100mm/hr の数値を採用する。

2.4 流量計算

排水施設の流量はマンニング式から求める。流速は 1.0m～1.8m/s を標準とし、やむをえない場合は 0.8m～4.5m とする。

マンニング式は

$$v = 1/n * r^{2/3} * i^{1/2}$$

$$Q = A * V$$

ここに

v : 流速 (m/s)

n : 粗度係数 : 自由勾配側溝の場合 0.014 とする。

i : 勾配

R : 径深 (m) = A/P

A : 流水の断面積

P : 流水の潤辺

Q = 流量 (m³) である。

流量計算書は、別紙にかかげる。



沈砂池の計算

施工中上段

1) 計画降雨強度

排水計画の設計に用いる30分降雨継続時間・50年確率降雨強度式による100mm/hrの数値を採用する。

2) 流量計算

① 計画雨水量の計算

計画雨水量は次式により算定する。

$$Q = 1/360 * C * I * A$$

Q: 計画雨水量 (m³/s)

C: 流出係数

I: 降雨強度 (mm/hr)

A: 排水面積 (ha)

$$A = \text{排水面積 (集水面積)} = 1.54 \text{ ha} \\ (\text{山林} = 0.56 \text{ ha}、\text{裸地} = 0.98 \text{ ha})$$

$$I = 100 \text{ mm/h}$$

$$\text{平均流出係数 } C = (0.56 * 0.6 + 0.98 * 0.9) / 1.54 = 0.79$$

雨水流量は、

$$Q = 1/360 * 0.79 * 100 * 1.54 = 0.338 \text{ m}^3/\text{s}$$

② 流出土砂量の算定基準

「開発許可ハンドブック」p.379「第4節 沈砂池」の項から流出土砂量の推定は次表による。

| 地表の状態 | 1ha当りの流出土砂量 (m ³ /年) | 厚さ (mm) |
|---------|---------------------------------|---------|
| 裸地・荒廃地等 | 200~400 | 20~40 |
| 皆伐地・草地等 | 15 | 1.5 |
| 択伐地 | 2 | 0.2 |
| 普通の林地 | 1 | 0.1 |

③ 流出土砂量の算定

本設計では浚渫を2ヶ月に1回以上することとした。

また、既に粗造成済であることを考慮して流出土砂量を200m³/年とした。

流出土砂量の算定

$$V = (200 * 1/12 * 0.98 + 1 * 1/12 * 0.56) * 2 \text{ ヶ月} = 32.76 \text{ m}^3$$



3) 沈砂池の設計

① 沈砂池への流入水路断面

土砂混入率を2割とし、清水断面の1.2倍とする。計画雨水量の計算から

$$\text{雨水流出量 } Q = 0.338$$

$$q = 1.2$$

$$\text{流入量 } Q = 1.20 * 0.338 = 0.406 \text{ m}^3/\text{s}$$

集水路は、素掘り側溝とする。

粗度係数は(社)土木学会編「水理公式集」(平成11年)Manningより $n=0.025$ とする。

流速の上限を $3.00\text{m}/\text{sec}$ 以下、8割水深で水路勾配、通水断面を決定する

$$\text{水路底幅 } B = 0.400 \text{ m} \quad \text{水深 } H = 0.480 \text{ m} \quad (\text{水路の深さ} = 0.600 \text{ m})$$

$$\text{側面法勾配 } m = 1:0.5 \text{ の台形水路とする} \quad I = 20 \text{ ‰}$$

流速は、 $V = 1/n * R^{2/3} * I^{1/2}$

$$n = 0.025$$

$$P = B + (H^2 + (H * m)^2)^{1/2} = 0.4 + (0.48^2 + (0.48 * 0.5)^2)^{1/2} = 1.473 \text{ m}$$

$$A = H(2B + 2Hm) / 2 = 0.48(2 * 0.4 + 2 * 0.48 * 0.5) / 2 = 0.307 \text{ m}^2$$

$$R = a/p = 0.307 / 1.473 = 0.208$$

$$I = 20 \text{ ‰}$$

$$V = 1 / 0.025 * 0.208^{2/3} * 0.02^{1/2} = 1.986 \text{ m}/\text{sec}$$

$$Q = 0.307 * 1.986 = 0.610 \text{ m}^3/\text{s} > 0.406 \text{ m}^3/\text{s} \quad \text{OK}$$

② 沈砂池の滞砂容量

流出土砂の沈殿物の深さを 0.500 m とする。

沈砂量は 2)-③ 流出土砂量の算定の項より $V = 32.76 \text{ m}^3$ 以上とする。

幅 × 長さ × 沈殿物の深さ = $7.000 * 10.000 * 0.500$ とすれば

$$\text{沈砂池容量は、} V = 7.000 * 10.000 * 0.500 = 35.00 \text{ m}^3 > 32.76 \text{ m}^3 \dots \text{OK}$$

③ 沈砂地の断面状況

$$\text{滞砂深} = 0.500 \text{ m}$$

$$\text{常時有効水深} = 0.200 \text{ m}$$

$$\text{流水深} = 0.300 \text{ m}$$

余裕高 = 0.300 m (掘込式であり 0.300m 以上とする)

以上より沈砂地の形状は、幅 × 長さ × 深さ = $7.000 * 10.000 * 1.300$

④ 沈砂地からの流出水路断面

清水断面の1.50倍とする。

$$q = 1.50$$

$$\text{流出量 } Q = 1.50 * 0.338 = 0.507 \text{ m}^3/\text{s}$$

水路断面は、流速を $3.00\text{m}/\text{s}$ として

$$A = Q / V = 0.507 / 3.000 = 0.169 \text{ m}^2 \text{ 以上である。}$$

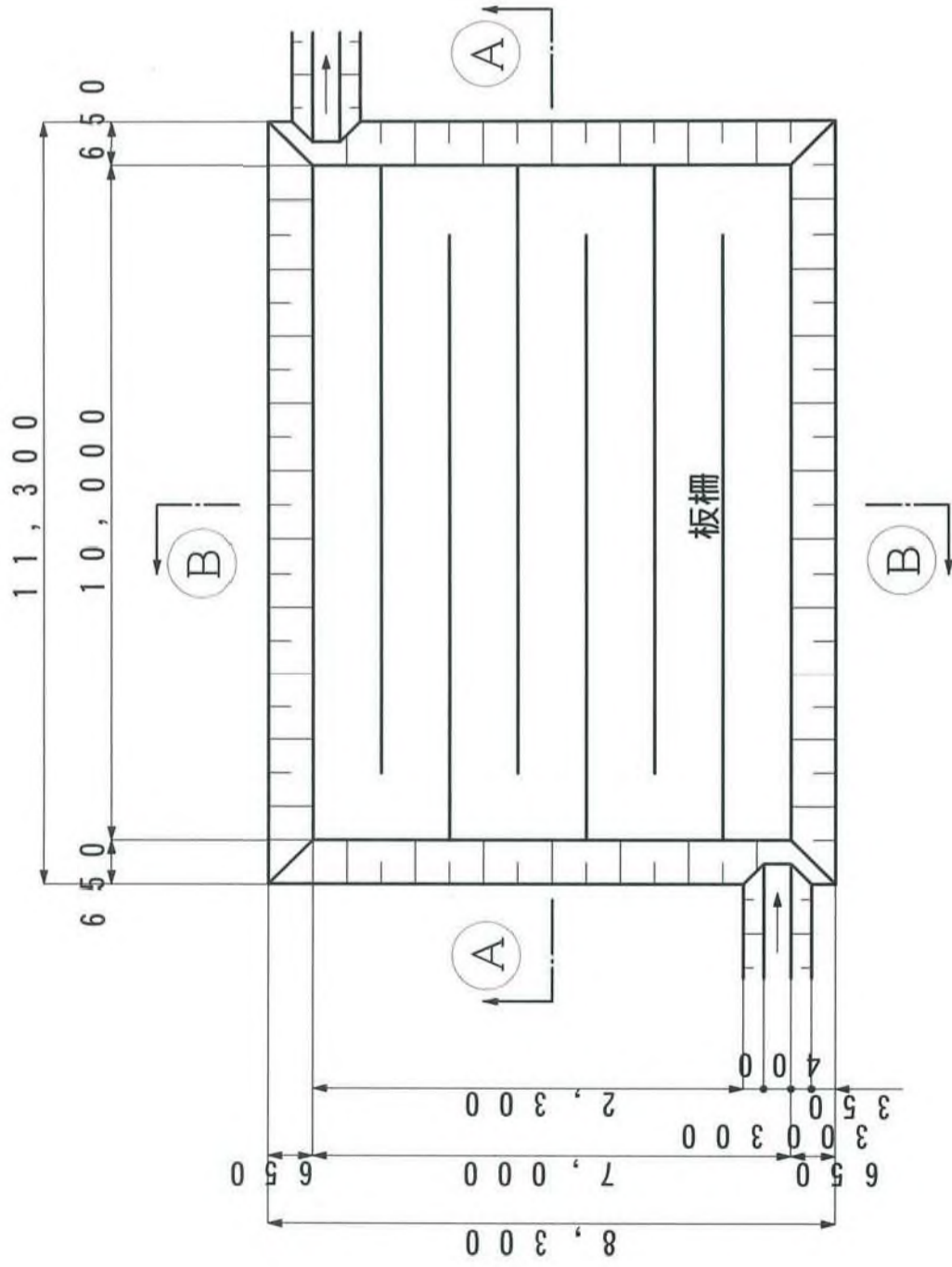


沈砂池

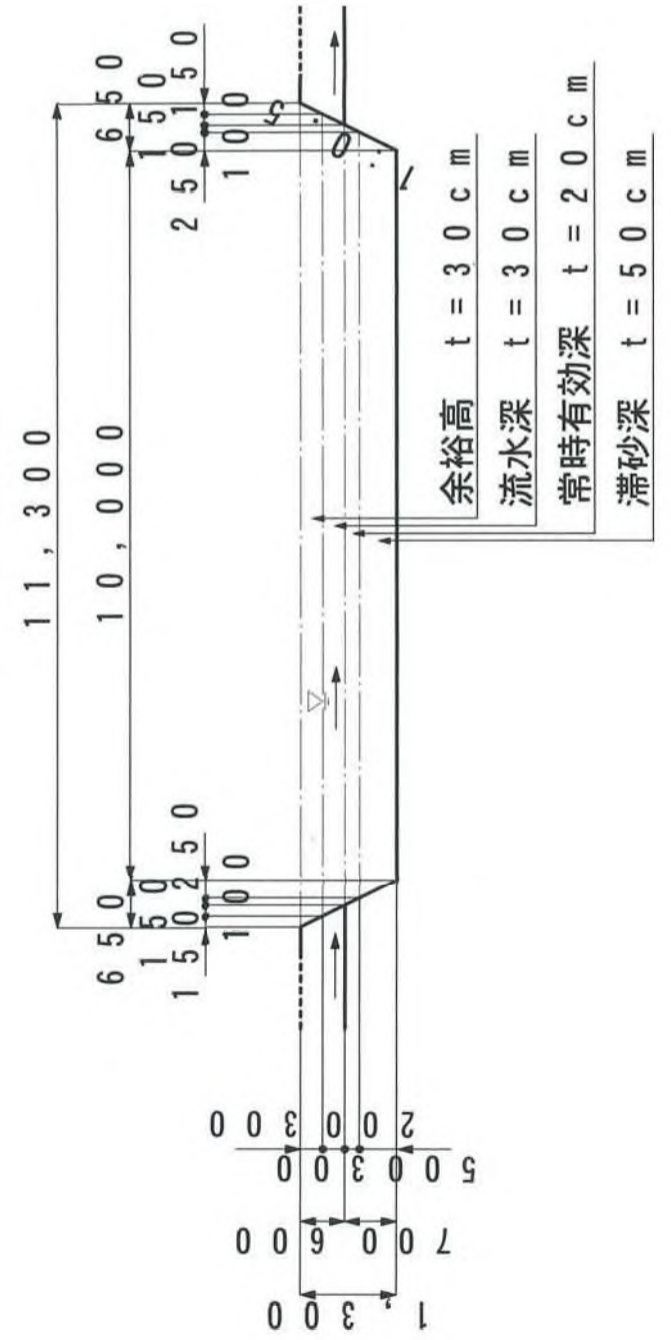
S=1:100

施工中上段

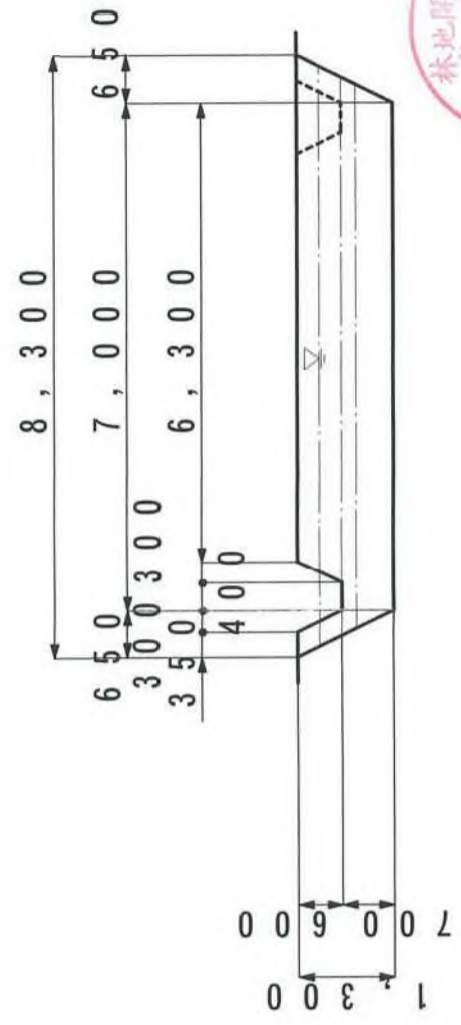
平面图



A-A



B-B



沈砂池の計算

施工中下段

1) 計画降雨強度

排水計画の設計に用いる30分降雨継続時間・50年確率降雨強度式による100mm/hrの数値を採用する。

2) 流量計算

① 計画雨水量の計算

計画雨水量は次式により算定する。

$$Q = 1/360 * C * I * A$$

Q: 計画雨水量 (m³/s)
C: 流出係数
I: 降雨強度 (mm/hr)
A: 排水面積 (ha)

$$A = \text{排水面積 (集水面積)} = 0.57 \text{ ha}$$

(裸地 = 0.57 ha)

$$I = 100 \text{ mm/h}$$

$$\text{平均流出係数 } C = 0.90$$

雨水流量は、

$$Q = 1/360 * 0.90 * 100 * 0.57 = 0.143 \text{ m}^3/\text{s}$$

② 流出土砂量の算定基準

「開発許可ハンドブック」p.379「第4節 沈砂池」の項から流出土砂量の推定は次表による。

| 地表の状態 | 1ha当りの流出土砂量(m ³ /年) | 厚さ(mm) |
|---------|--------------------------------|--------|
| 裸地・荒廃地等 | 200~400 | 20~40 |
| 皆伐地・草地等 | 15 | 1.5 |
| 択伐地 | 2 | 0.2 |
| 普通の林地 | 1 | 0.1 |

③ 流出土砂量の算定

本設計では浚渫を2ヶ月に1回以上することとした。

また、既に粗造成済であることを考慮して流出土砂量を200m³/年とした。

流出土砂量の算定

$$V = (200 * 1 / 12 * 0.57) * 2 \text{ ヶ月} = 19.0 \text{ m}^3$$



3) 沈砂池の設計

① 沈砂池への流入水路断面

土砂混入率を2割とし、清水断面の1.2倍とする。計画雨水量の計算から

$$\begin{aligned} \text{雨水流出量 } Q &= 0.143 \\ q &= 1.2 \end{aligned}$$

$$\text{流入量 } Q = 1.20 * 0.143 = 0.172 \text{ m}^3/\text{s}$$

集水路は、素掘り側溝とする。

粗度係数は(社)土木学会編「水理公式集」(平成11年)Manningより $n=0.025$ とする。

流速の上限を $3.00\text{m}/\text{sec}$ 以下、8割水深で水路勾配、通水断面を決定する

$$\text{水路底幅 } B = 0.400 \text{ m} \quad \text{水深 } H = 0.480 \text{ m} \quad (\text{水路の深さ} = 0.600 \text{ m})$$

側面法勾配 $m = 1:0.5$ の台形水路とする

流速は、 $V = 1/n * R^{(2/3)} * I^{(1/2)}$

$$\begin{aligned} n &= 0.025 \\ P &= B + (H^2 + (H * m)^2)^{1/2} * 2 = 0.4 + (0.48^2 + (0.48 * 0.5)^2)^{1/2} * 2 = 1.473 \text{ m} \\ A &= H(2B + 2Hm) / 2 = 0.48(2 * 0.4 + 2 * 0.48 * 0.5) / 2 = 0.307 \text{ m}^2 \\ R &= A / P = 0.307 / 1.473 = 0.208 \\ I &= 20 \text{ ‰} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} V &= 1 / 0.025 * 0.208^{(2/3)} * 0.02^{(1/2)} = 1.986 \text{ m}/\text{sec} \\ Q &= 0.307 * 1.986 = 0.610 \text{ m}^3/\text{s} > 0.172 \text{ m}^3/\text{s} \quad \text{OK} \end{aligned}$$

② 沈砂池の滞砂容量

流出土砂の沈殿物の深さを 0.500 m とする。

沈砂量は 2)-③ 流出土砂量の算定の項より $V = 19.00 \text{ m}^3$ 以上とする。

幅×長さ×沈殿物の深さ = $3.000 * 15.000 * 0.500$ とすれば

沈砂池容量は、 $V = 3.000 * 15.000 * 0.500 = 22.50 \text{ m}^3 > 19.00 \text{ m}^3 \dots \text{OK}$

③ 沈砂地の断面状況

滞砂深 = 0.500 m

常時有効水深 = 0.200 m

流水深 = 0.300 m

余裕高 = 0.300 m (掘込式であり 0.300m 以上とする)

以上より沈砂地の形状は、幅×長さ×深さ = $3.000 * 15.000 * 1.300$

④ 沈砂地からの流出水路断面

清水断面の1.50倍とする。

$$q = 1.50$$

$$\text{流出量 } Q = 1.50 * 0.143 = 0.215 \text{ m}^3/\text{s}$$

水路断面は、流速を $3.00\text{m}/\text{s}$ として

$$A = Q / V = 0.215 / 3.000 = 0.072 \text{ m}^2 \text{以上である。}$$

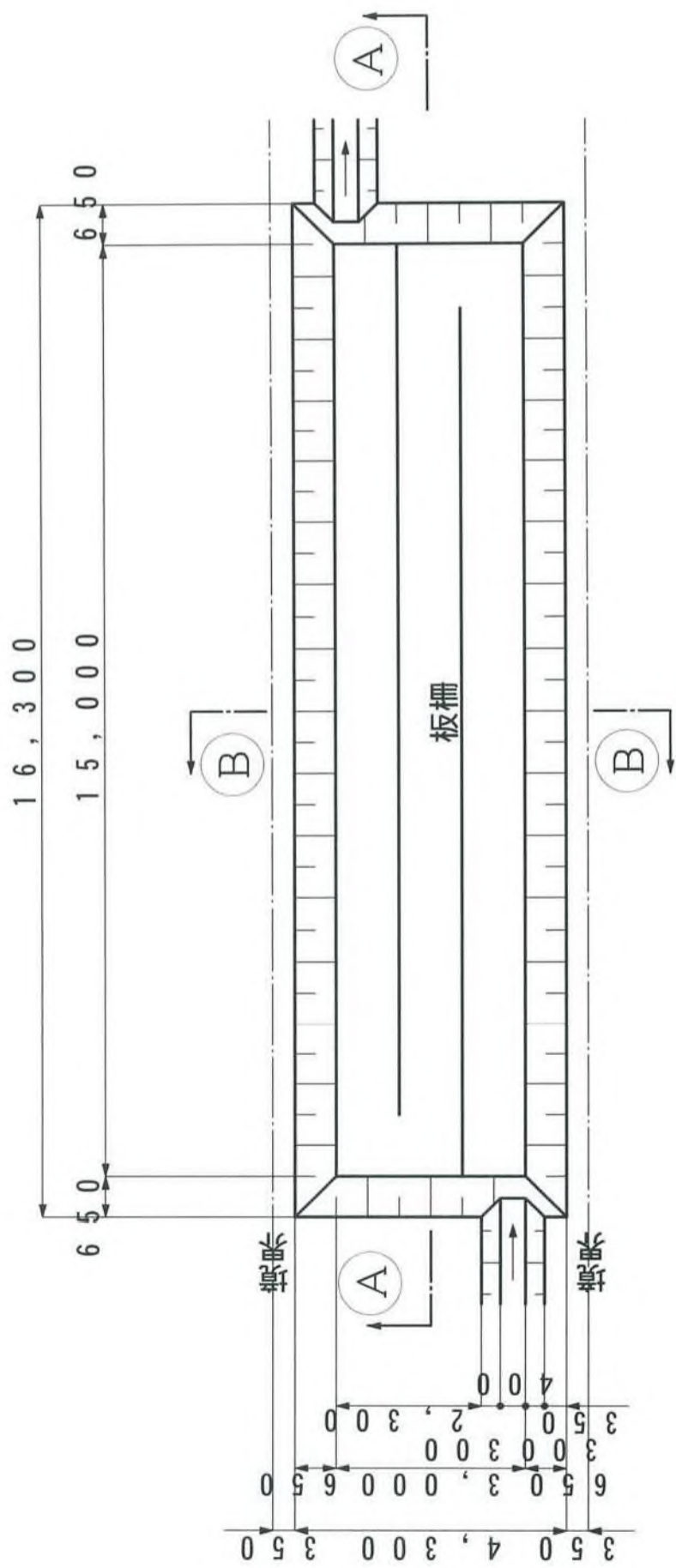


沈砂池

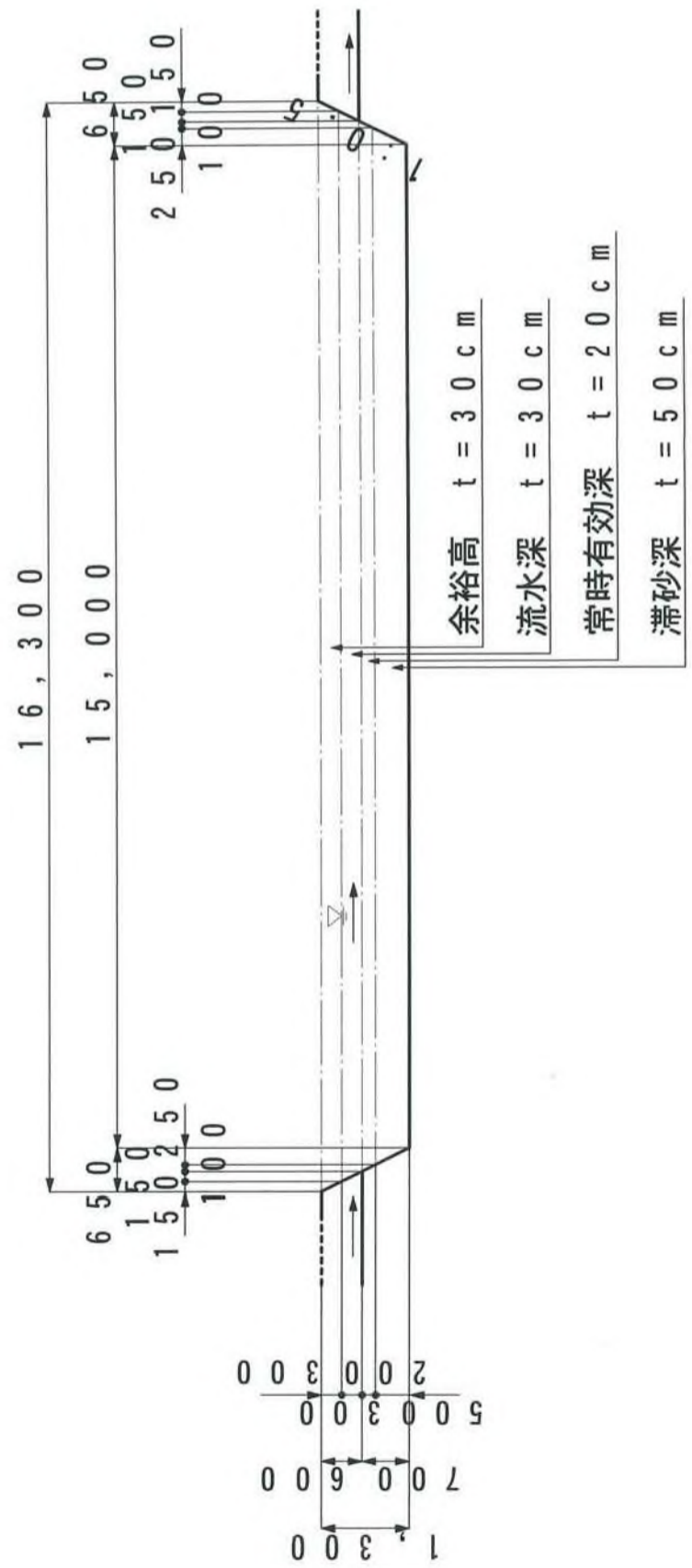
施工中下段

S=1:100

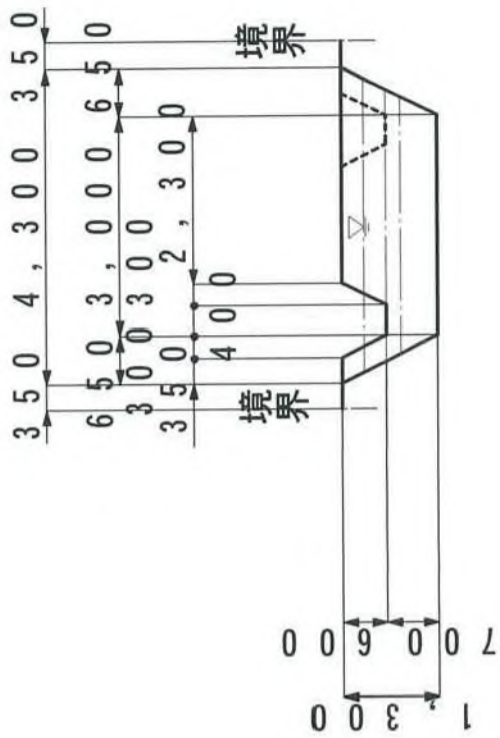
平面图



A-A

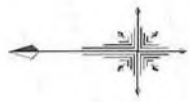


B-B



余裕高 $t = 30 \text{ cm}$
 流水深 $t = 30 \text{ cm}$
 常時有効深 $t = 20 \text{ cm}$
 滯砂深 $t = 50 \text{ cm}$





林地開發
許可
20.7.8
泉原治第
号

| 施工中沈砂池流域図 | |
|-----------|-----------------|
| 所在地 | 熱海市伊豆山字嶺ヶ 外 地先 |
| 縮尺 | S=1:500 (A2出力時) |
| 作成日 | 平成20年7月4日 |
| 作成者 | |



沈砂池の計算

工事完了後

1) 計画降雨強度

排水計画の設計に用いる30分降雨継続時間・50年確率降雨強度式による100mm/hrの数値を採用する。

2) 流量計算

① 計画雨水量の計算

計画雨水量は次式により算定する。

$$Q = 1/360 * C * I * A$$

Q: 計画雨水量 (m³/s)
C: 流出係数
I: 降雨強度 (mm/hr)
A: 排水面積 (ha)

$$A = \text{排水面積 (集水面積)} = 2.1 \text{ ha}$$

(林地 = 0.21 + 0.75 + 0.07 = 1.0 ha、択伐地 = 0.85 + 0.22 = 1.1 ha)

$$I = 100 \text{ mm/h}$$

平均流出係数 $C = (1.0 * 0.6 + 1.1 * 0.9) / 2.1 = 0.76$

雨水流量は、

$$Q = 1/360 * (0.76 * 100 * 2.1) = 0.443 \text{ m}^3/\text{s}$$

② 流出土砂量の算定基準

「開発許可ハンドブック」p.367(6) 堆砂施設により 容量は住宅地で1.5m³/ha・年を目安に、除去の頻度、舗装面積等を考慮する。を引用し1.5m³/ha・年を採用する。

③ 流出土砂量の算定

本設計では浚渫を12ヶ月に1回以上することとした。

流出土砂量の算定

$$V = (2.1 * 1.5 * 1/12) * 12 \text{ ヶ月} = 3.15 \text{ m}^3$$

3) 沈砂池の設計

① 沈砂池の滞砂容量

流出土砂の沈殿物の深さを 0.500 mとする。
流出土砂量は 2)-③ 流出土砂量の算定の項より $V = 3.15 \text{ m}^3$ 以上とする。

幅 × 長さ × 沈殿物の深さ = 3.000 × 3.000 × 0.500 とすれば
沈砂池容量は、 $V = 3.000 * 3.000 * 0.500 = 4.50 \text{ m}^3 > 3.15 \text{ m}^3 \dots \text{OK}$

② 沈砂地の断面状況

滞砂深 = 0.500 m
常時有効水深 = 0.200 m
流水深 = 0.300 m
余裕高 = 0.300 m (掘込式であり0.300m以上とする)
以上より沈砂地の形状は、幅 × 長さ × 深さ = 3.000 × 3.000 × 1.300

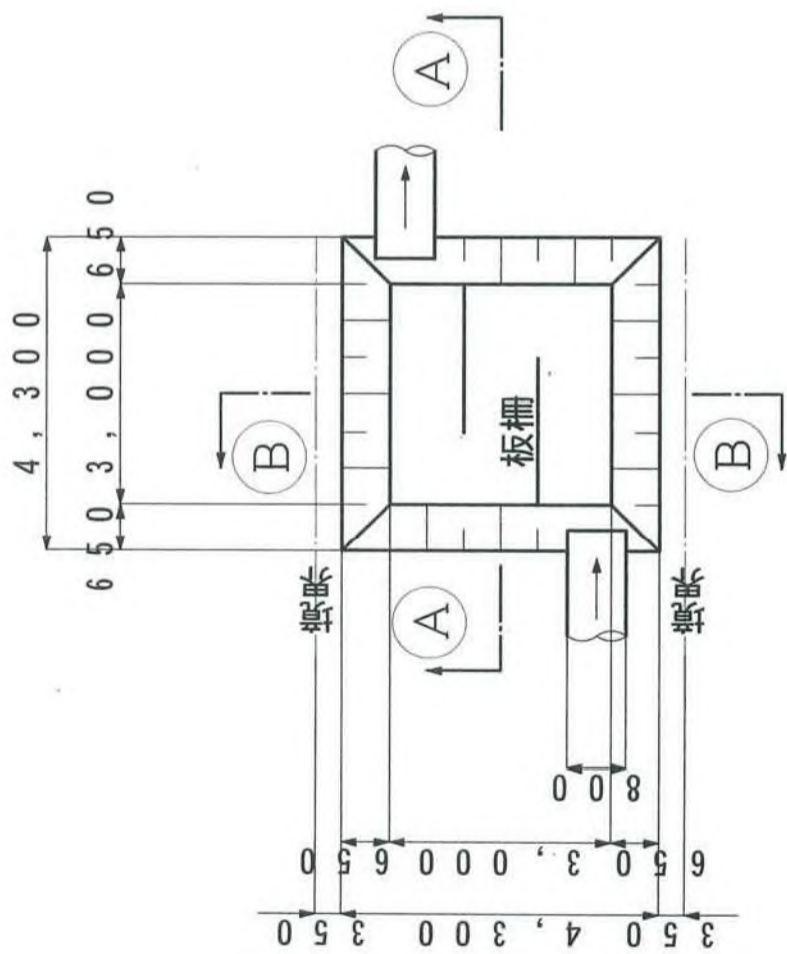


5 年分以上

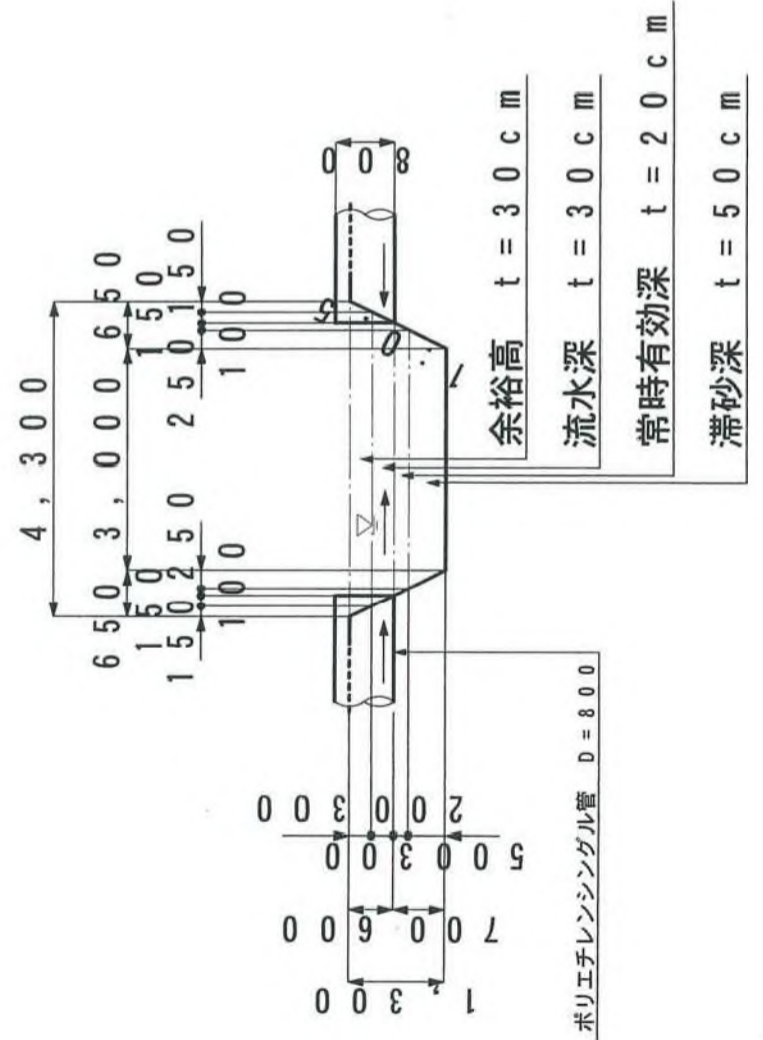
沈砂池

S=1:100

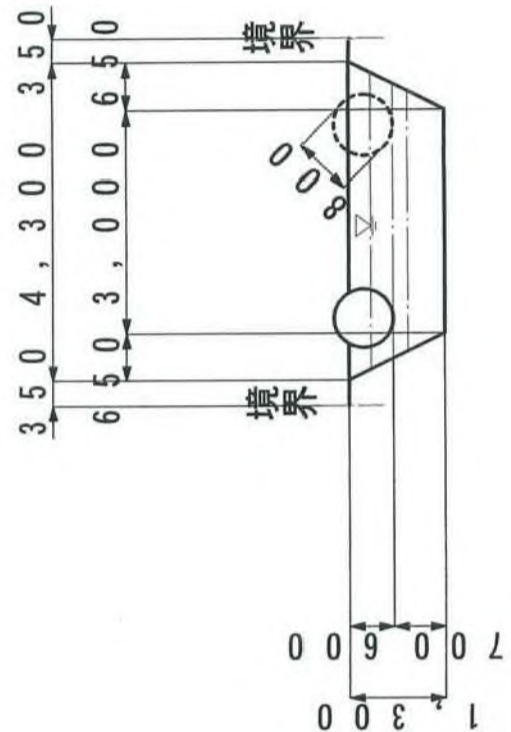
平面図



A-A



B-B



開発全体面積

| 区域 | 開発面積 (m ²) | 宅地面積 (m ²) | 緑地面積 (m ²) |
|-----|------------------------|------------------------|------------------------|
| C工区 | 16593.11 | 11165.80 | 2187.01 |
| D工区 | 21065.81 | 8513.00 | 9610.39 |
| E工区 | 12266.19 | 3655.60 | 7901.68 |
| 計 | 49925.11 | 23334.40 | 19698.78 |

第一種風致ライン



D工区面積表

| | 面積 (m ²) | 比率 (%) | 備考 |
|-----|----------------------|--------|-------|
| 宅地 | 8513.00 | 40.41 | 25宅地計 |
| 道路 | 2286.34 | 10.85 | |
| 公園 | 2094.00 | 9.94 | |
| 緑地 | 7516.39 | 35.68 | |
| その他 | 656.08 | 3.12 | 水路など |
| 計 | 21065.81 | 100.00 | |

道路 (道路中心にて)

| 区間 | 距離 (m) | 高低差 (m) | 勾配 (%) |
|-----------------------|---------|---------|--------|
| W-X間 (No.0~E.C.2) | 71.664 | 0.717 | 1.000 |
| X-Y間 (E.C.2~No.22) | 148.336 | 8.900 | 6.000 |
| Y-Z間 (No.22~E.C.5) | 104.308 | 2.086 | 2.000 |
| 計 | 324.308 | | |

森林法ライン



5年分以上 沈砂地流域図

| | | |
|-----|-----------------|------|
| 所在地 | 熱海市伊豆山字頭ヶ | 外 地先 |
| 縮尺 | S=1:500 (A2出力時) | |
| 作成日 | 平成20年6月7日 | |
| 作成者 | | |

沈砂池 (5年分以上)

既存水路

土量計算書

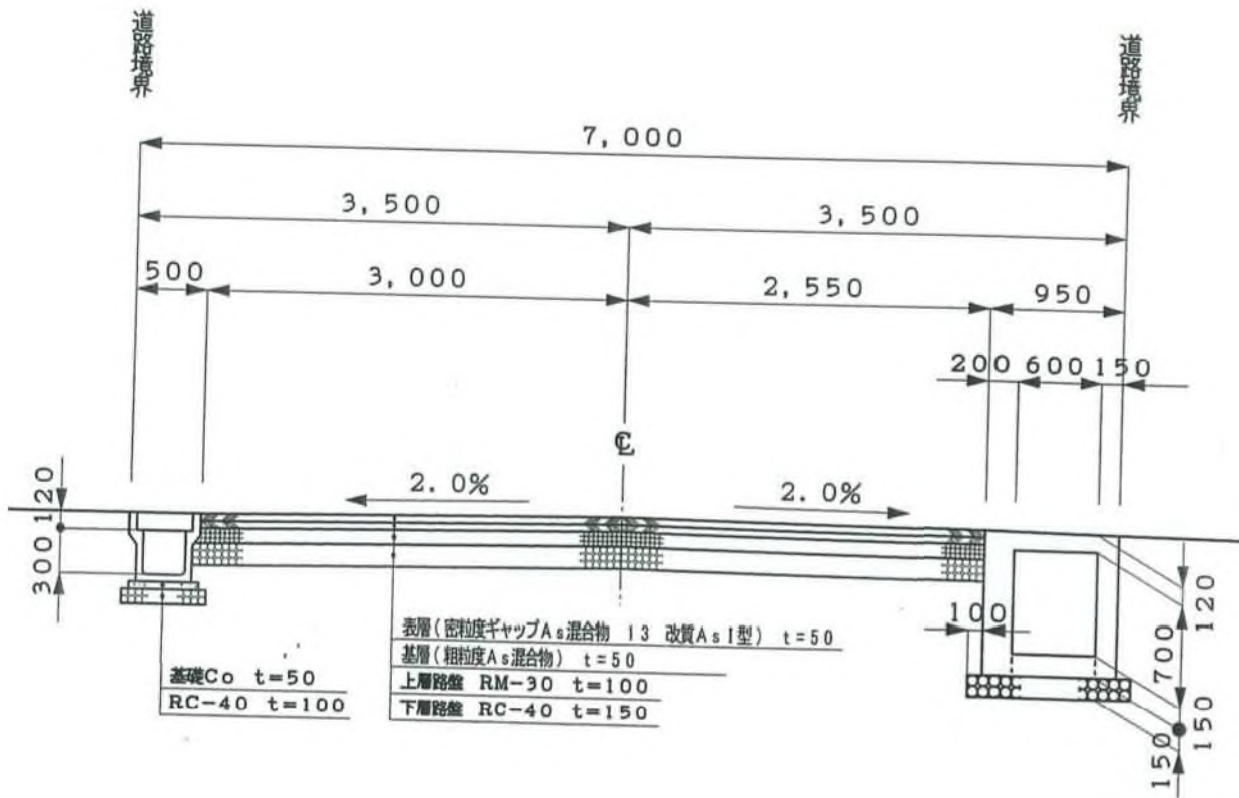
()

| 測点 | 距離 | 断面積 | | 平均断面積 | | 体積 | |
|----|------|--------|--------|--------|--------|----------|----------|
| | | CA | BA | CA | BA | 切土 | 盛土 |
| 始点 | | 71.80 | 282.40 | | | | |
| ① | 33.0 | 71.80 | 282.40 | 71.80 | 282.40 | 2369.40 | 9319.20 |
| ② | 13.0 | 150.10 | 228.70 | 110.95 | 255.55 | 1442.35 | 3322.15 |
| ③ | 13.0 | 146.70 | 221.40 | 109.25 | 251.90 | 1420.25 | 3274.70 |
| ④ | 14.4 | 244.40 | 146.20 | 195.55 | 183.80 | 2815.92 | 2646.72 |
| ⑤ | 14.4 | 230.70 | 153.70 | 237.55 | 149.95 | 3420.72 | 2159.28 |
| ⑥ | 35.3 | 387.50 | 133.30 | 315.95 | 139.75 | 11153.04 | 4933.18 |
| 終点 | 32.4 | 0.00 | 0.00 | 193.75 | 66.65 | 6277.50 | 2159.46 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 計 | | | | | | 28899.18 | 27814.69 |



道路標準横断図

S=1:50





熱建字第 1965-3 号
平成 19 年 7 月 24 日



熱海市長 齊藤 栄



開発行為の変更について (許可)

平成 19 年 7 月 20 日付けで申請のあった開発行為の変更については、都市計画法第 35 条の 2 第 1 項の規定に基づき、下記により許可します。

記

| 区 分 | 変 更 前 | 変 更 後 | |
|------------|--|--------------------------------------|----|
| 開発行為の変更の概要 | 開発区域に含まれる地域の名称 熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted] 熱海市伊豆山字水立 [Redacted] | 同左 | |
| | 開発区域の面積 | 49,850.46 m ² | 同左 |
| | 予定建築物等の用途 | 専用住宅 | 同左 |
| | 工事施工者住所氏名 | [Redacted] | 同左 |
| | 法 34 条の該当号及び該当する理由 | 該当なし | 同左 |
| | その他必要な事項 | 変更内容 ・ 土地利用計画及び造成計画の変更 ・ 工区の設定 | |

許可に附した条件 裏面のとおり
条件に関する教示 裏面のとおり





宅地造成工事変更許可書

熱建建第 1912-4 号
平成 19 年 7 月 24 日



熱海市長 齊藤 栄



平成19年7月20日 付けであった宅地造成工事の変更の申請は、宅地造成等規制法第12条第1項の規定に基づき、下記の通り許可します。

| | | |
|----------------------|-----|---|
| 変更に係る事項 | | 1. 土地利用計画及び造成計画の変更(公園・道路・擁壁等) 2. 工区の設定 |
| 変更の内容 | 変更前 | 既許可済設計図面のとおり |
| | 変更後 | 別添、設計図面のとおり |
| 許可に付した条件 既許可条件に同じ | | |





熱建建 第 1994-7 号
平成19年 7月24日



様

熱海市長 齊 藤



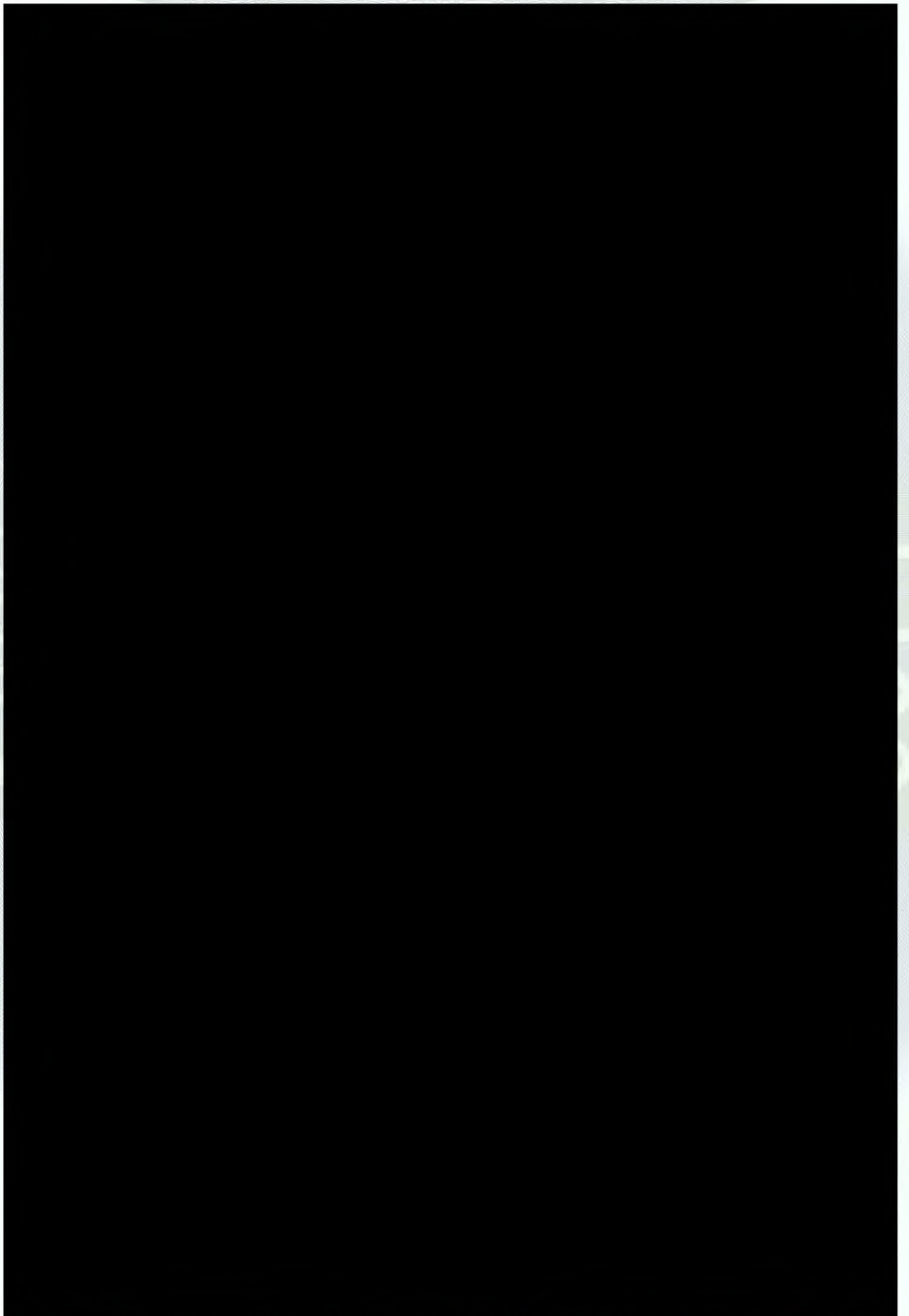
風致地区内行為について(変更許可)

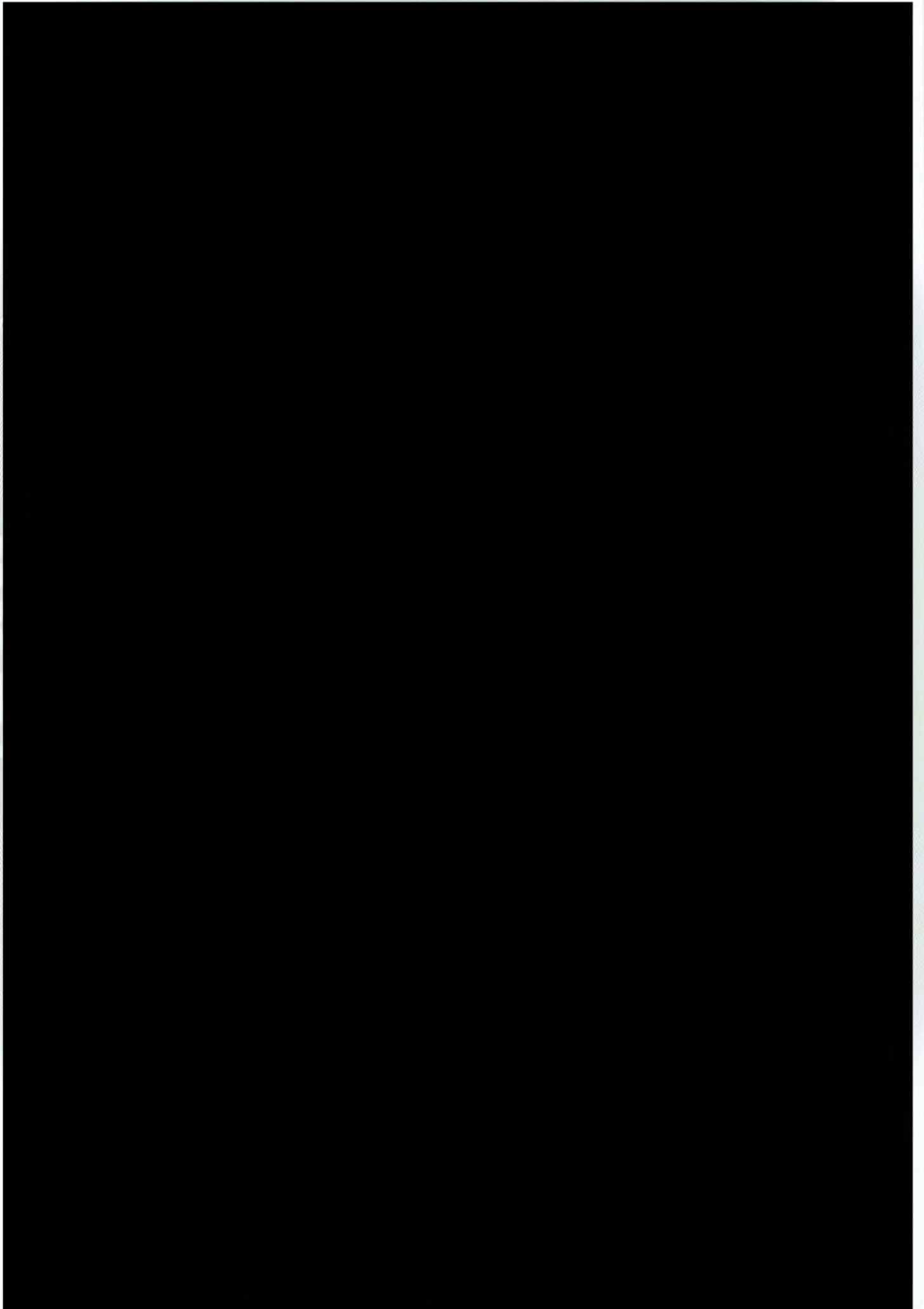
このことについて、静岡県風致地区条例第6条の2第1項の規定により、下記のとおり許可する。

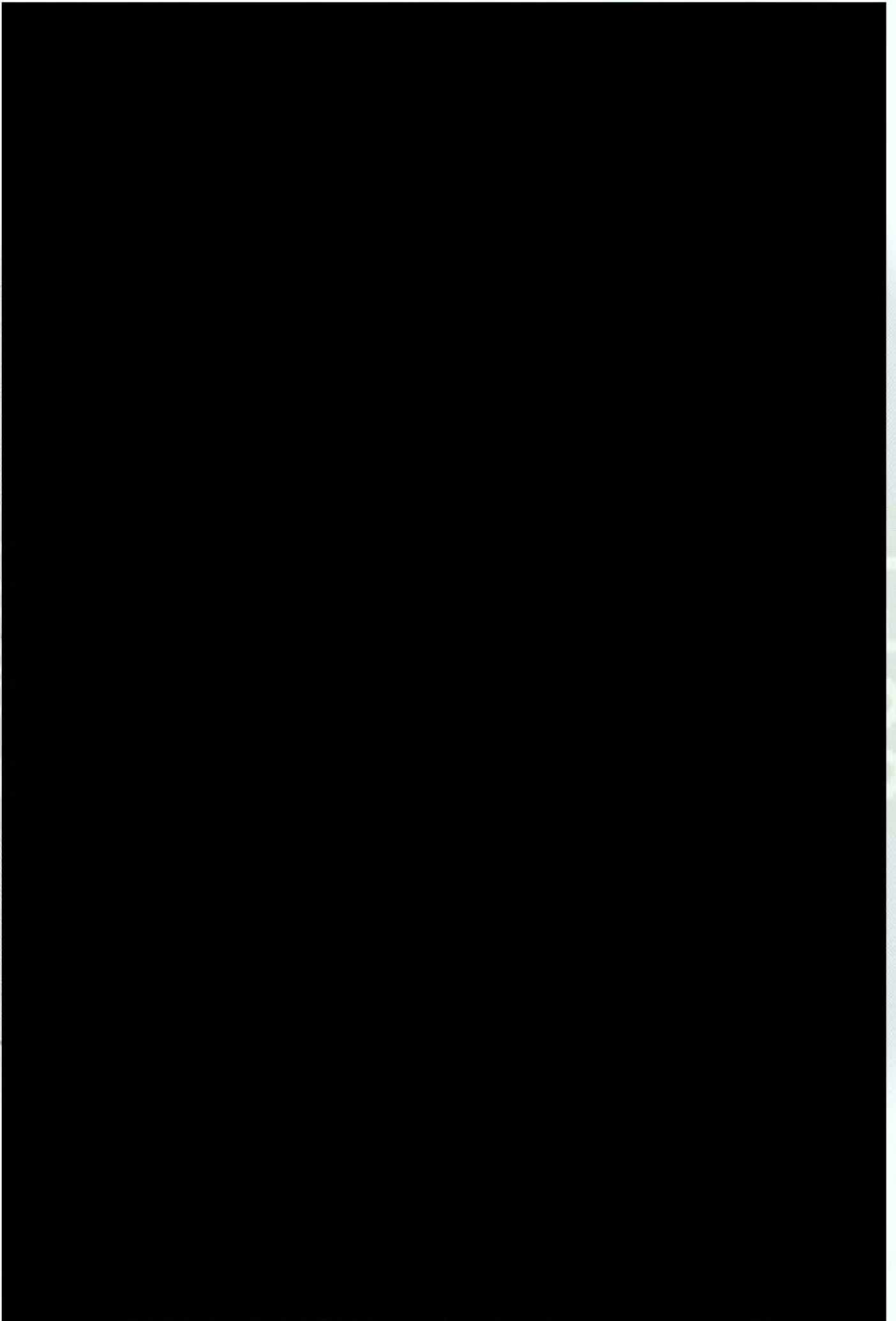
記

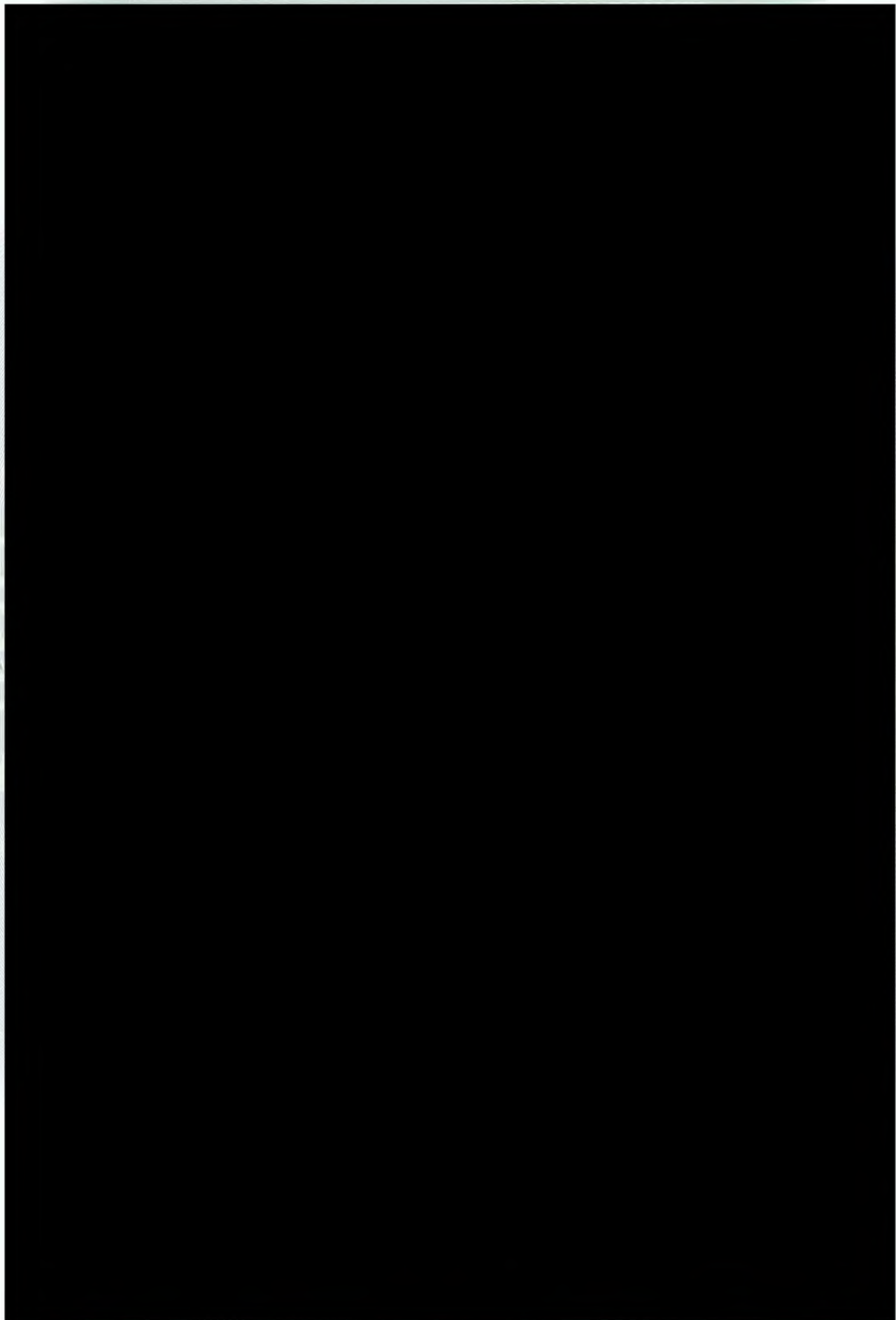
| | |
|-------------------|---|
| 1 行為地の所在 | 熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted] 字水立 [Redacted] |
| 2 風致地区の名称 | 第2号 伊豆山 風致地区 第 2 種 |
| 3 行為地面積 | 49,850.46 平方メートル |
| 4 許可を受けた行為の種類 | 工作物の設置 宅地の造成 木竹の伐採 |
| 5 前回許可年月日 許可番号 | 平成18年10月18日 熱建建 第 1894-18 号 |
| 6 変更しようとする行為内容 | 土地利用計画及び造成計画の変更 工区の設定変更 工期の変更(延長) |
| 7 工 期 | 平成18年 4月11日 から 平成20年10月23日 まで |
| 8 許可条件 | 既許可条件に同じ |

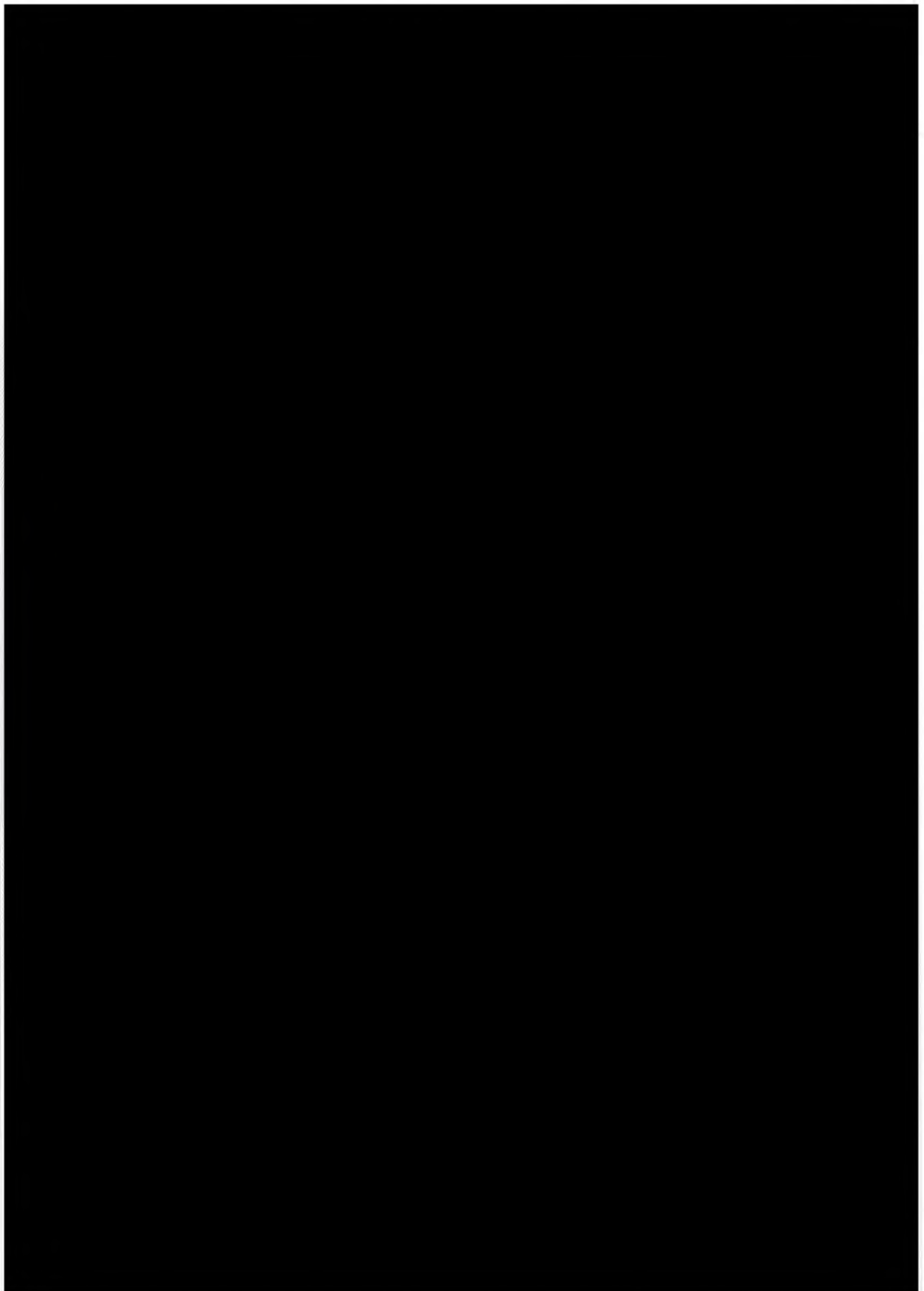


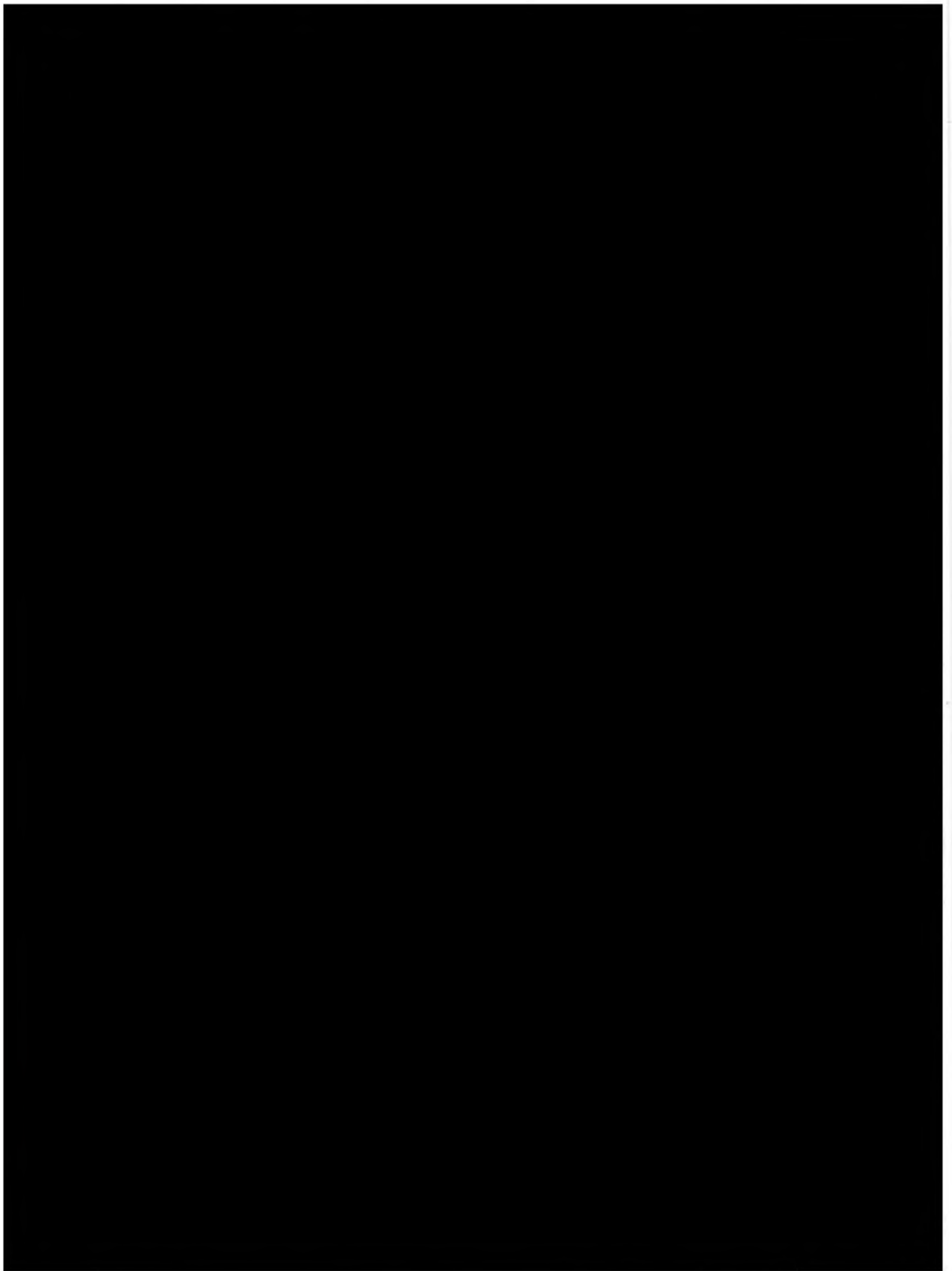












委任状

■■■■■は、■■■■■を

代理人と定め、下記の権利を委任致します。

記

1. 熱海市伊豆山字嶽ヶ■■■■■外 28 筆

1. 上記の土地の開発申請及び検査済み取得に関する一切の権利

以上、委任いたします。

平成 18 年 9 月 11 日

委任者

■■■■■

TEL ■■■■■

土地開発
許可

0.7, 8

東農治第

号

熱海市
許可済
(都市計画法による開発行為)
(宅地造成工事)
(風致地区内行為)
検査を受けるときは本書を
提出して下さい。

開発行為の施行等の同意書

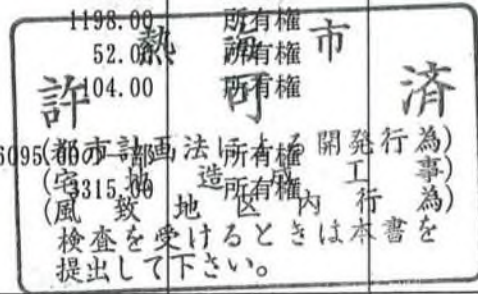
平成18年 9月11日

開発者 住所 [Redacted]
 氏名 [Redacted]
 電話番号 [Redacted]

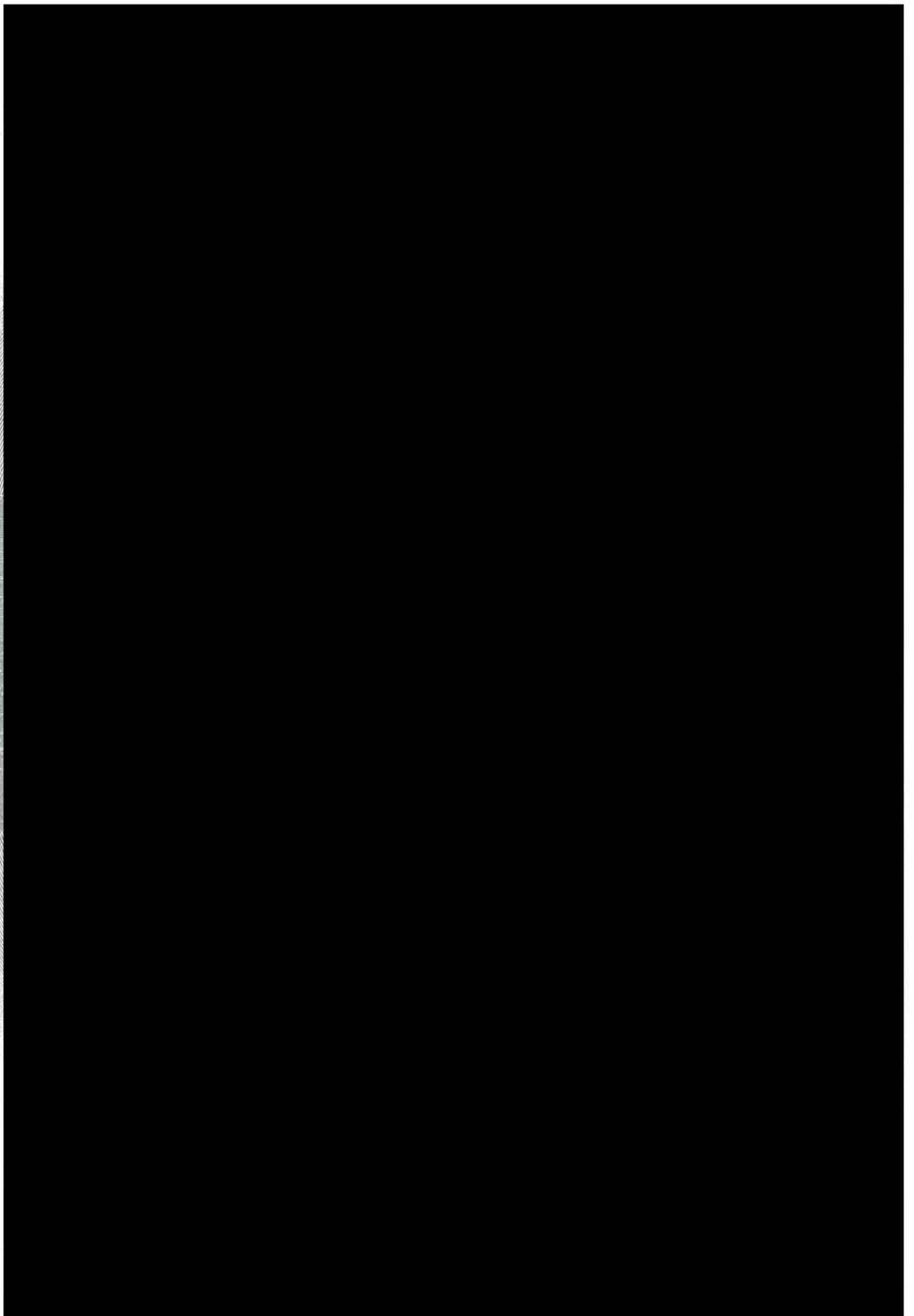
権利者 住所 [Redacted]
 氏名 [Redacted]
 電話番号 [Redacted]

わたくしが権利を有する次の物件について、開発行為及び開発行為に関する工事を行うことに同意します。なお、当該物件が公共施設の用に供する土地となる場合があっても異議ありません。

| 物権の種類 | 所在及び地番 | 面積 | 権利の種類 | 摘要 |
|-------|-----------|----------------------|-------|----|
| 土地 | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 10402.00の一部 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 2342.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 89.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 23501.00の一部 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 146.00の一部 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 144.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 317.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 617.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 21.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 222.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 21.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 721.00の一部 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 70.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 2304.00の一部 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 192.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 691.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 3.31 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 29.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 1437.00の一部 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 1547.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 195.00の一部 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 13.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 1233.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 715.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 1198.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 52.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 04.00 | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 316095(都亦部画法所有権開発行為) | 所有権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | (宅315地造所有権工事) | 所有権 | |
| | | (風致地区内行為) | | |
| | | 検査を受けるときは本書を提出して下さい。 | | |



(注) 権利者の印に係る印鑑証明書を添付すること。



開発行為の施行等の同意書

平成18年 9月11日

開発者 住所

氏名

電話番号

権利者 住所

氏

電話番号

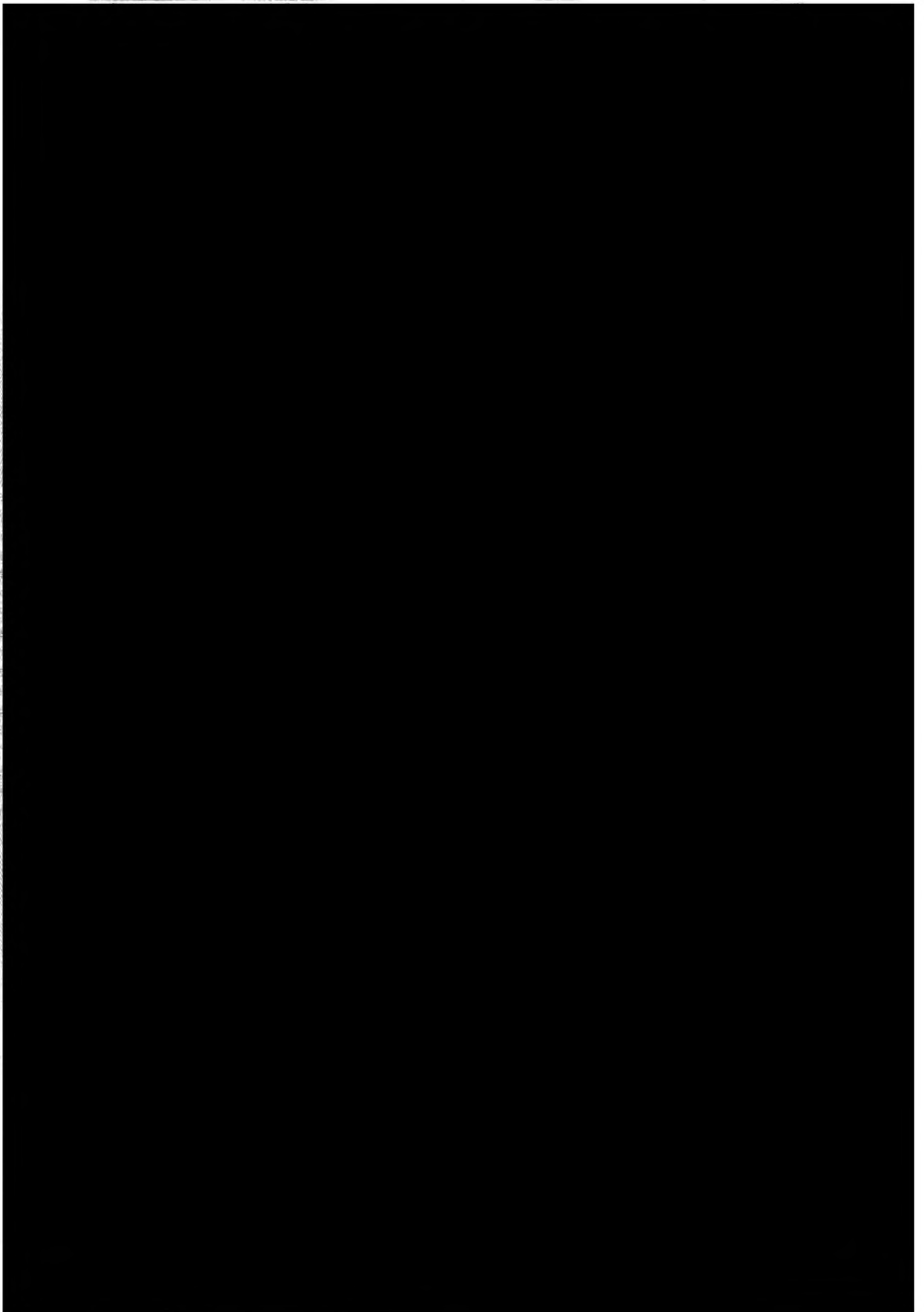
わたくしが権利を有する次の物件について、開発行為及び開発行為に関する工事を行うことに同意します。なお、当該物件が公共施設の用に供する土地となる場合があっても異議ありません。

| 物権の種類 | 所在及び地番 | 面積 | 権利の種別 | 摘要 |
|-------|-----------|--------------|-------|----|
| 土地 | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 10402.00の一部 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 2342.00の一部 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 89.00の一部 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 23501.00の一部 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 146.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 144.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 317.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 617.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 21.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 222.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 21.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 721.00の一部 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 70.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 2304.00の一部 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 192.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 691.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 29.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 1437.00一部 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 1547.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 195.00一部 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 13.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 1233.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 715.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 1198.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 52.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字水立 | 104.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 316095.00の一部 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 335.00 | 根抵当権 | |
| | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | | 根抵当権 | |

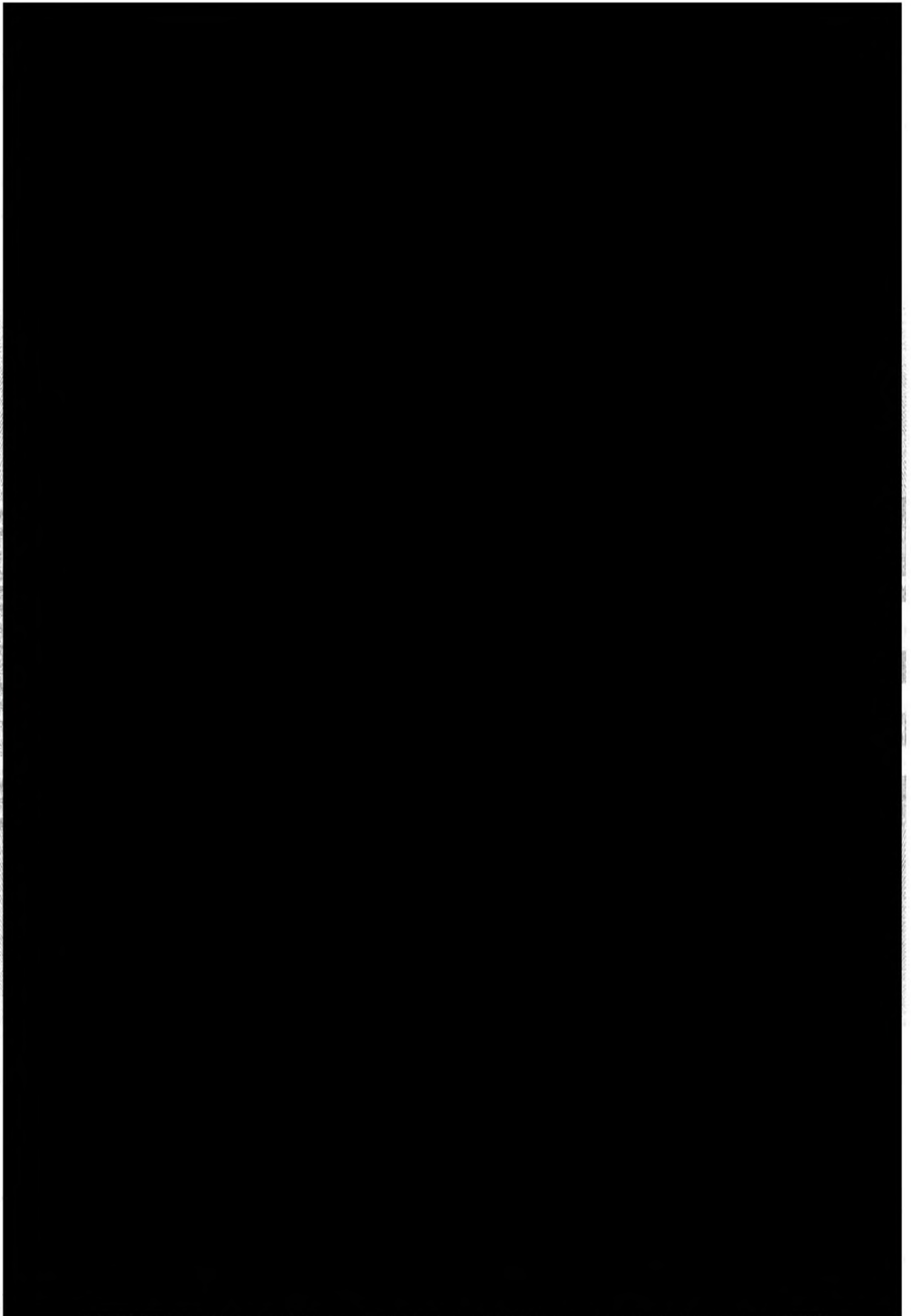


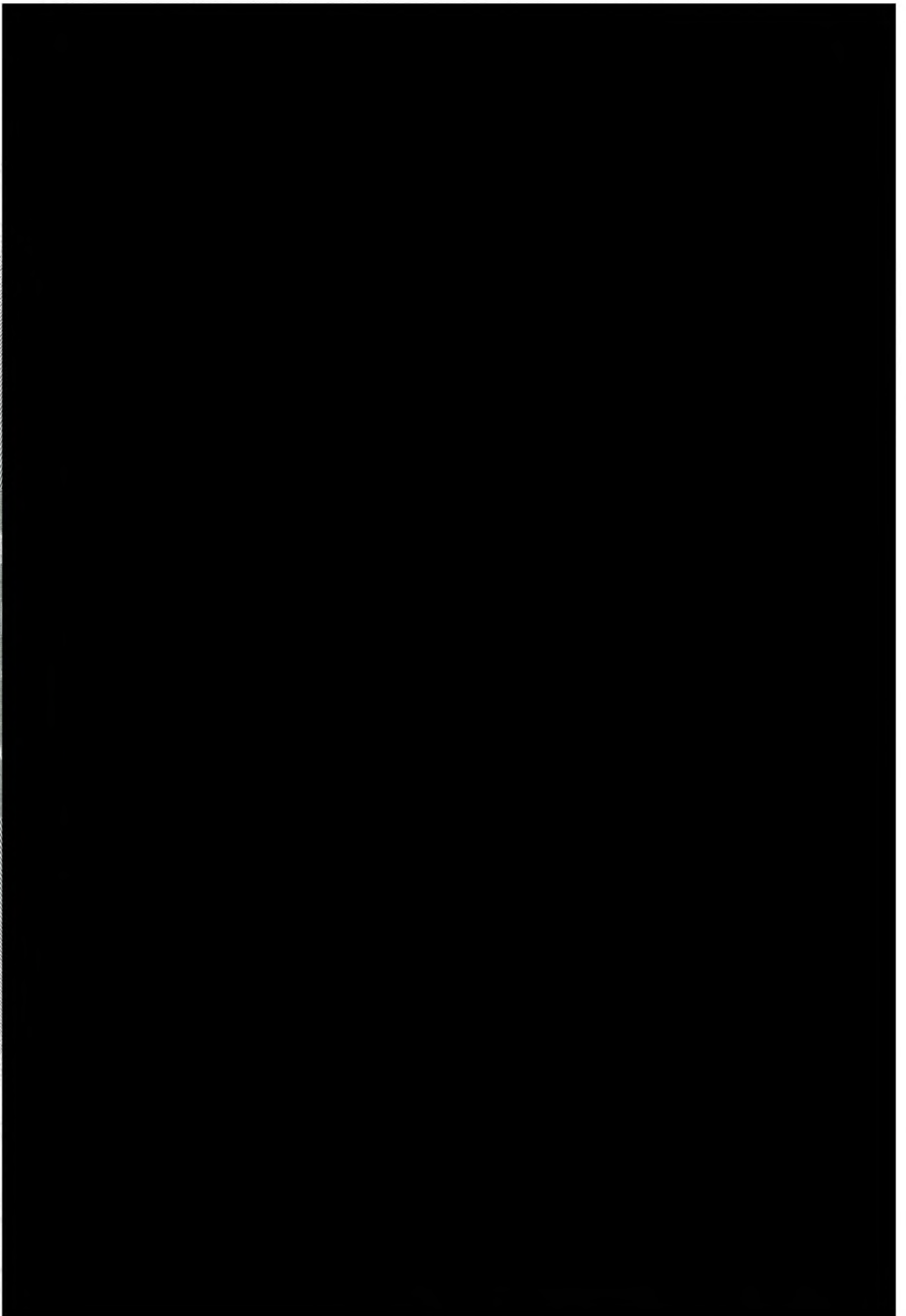
熱海市 済
 根抵当権
 計画区域内
 (宅地造成工事)
 (風致地区内行為)
 検査を受けるときは本書を
 提出してください。

(注) 権利者の印に係る印鑑証明書を添付すること。



... ..





説 明 会 報 告 書

17年12月26日

熱海市長 あて

事業者 住所
氏名
電話番号



熱海市まちづくり条例

第30条第3項
第37条第3項

の規定により、説明会等について報告します

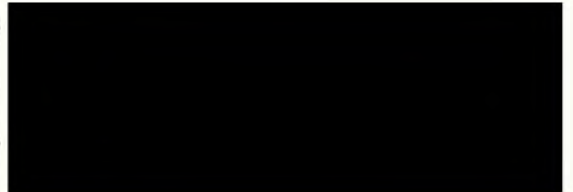
| | | | |
|---------|--|-------------------|------------|
| 開発事業番号 | No. 2 | 開発事業事前協議書の届出日 | 平成17年8月 日 |
| 開発事業の名称 | 熱海市伊豆山分譲計画 | | |
| 施行区域の場所 | 熱海市伊豆山字嶽ヶ 外27筆 | | |
| 開催状況 | 開催日時 | 平成17年12月15日19時00分 | |
| | 開催名所 | 七尾団地集会場 | |
| | 周知方法 | より各団地へ知らせ | |
| | 事業者側出席者名 | [Redacted] | |
| | 利害関係者の出席状況 | 利害関係者 名 | 説明会出席者 25名 |
| 開催結果の要旨 | 意見・要望等 | | |
| | 別紙 | | |
| 添付図書 | <input type="checkbox"/> 説明会配布資料 <input type="checkbox"/> 説明会議事録 <input type="checkbox"/> 利害関係者範囲図 <input type="checkbox"/> 出席者名簿 <input type="checkbox"/> その他必要な図書 | | |

回 答 書

熱海市長 あて

17年12月20日

住 所
事業者 氏 名
電話番号



熱海市まちづくり条例第32条第1項の規定により、説明会で出された意見について次のとおり回答します。

| | | |
|---------|------------------|------|
| 開発事業番号 | No. 2 | |
| 開発事業の名称 | 熱海市伊豆山分譲計画 | |
| 施行区域の場所 | 熱海市伊豆山字嶽ヶ 外27筆 | |
| 開催予定日時 | 平成17年12月15日(第 回) | |
| 開催予定場所 | 七尾団地集会場 | |
| 意見と回答 | 意 見 | 回 答 |
| | 別紙 | |

『熱海市伊豆山分譲計画』説明会

開催日時 平成17年12月15日
開始時間 PM7:00
開催場所 七尾団地住民集会場

1. 開発事業者側



より、各自自己紹介。

2. 「伊豆山分譲計画」の概要説明

市に提出した「開発事業事前協議書」に沿って口頭説明。
所在地・施工区域の場所・施工区域の面積等、開発事業の概要

尚、温泉（源泉）の改修工事の資材運搬の為の道の管理行為を行っています。

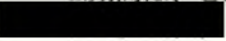
3. 質疑



a. 工事が出る土の処分について
土運びで道路が土だらけになるのでは？



b. 生活道路なのでダンプの運行に気をつけて
c. 時間は8:30にしてもらいたい。
d. 期間は、どれ位かかるか？



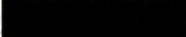
e. 工事の終了時間は？



f. 道路使用時に交通整理人はつけるのか？

4. 回答

a. 出る土の処分は、道路の下^①動かす予定です。よって、土をつんだダンプの往来で道路が土だらけにはならない予定です。

①  工事現場

b. 大型車の道路運行には気をつかいます。

c. わかりました。

但し、工事車両だけでなく、工事員も車で来ていますので、多少時間をみて下さい。

d. 予定では、3~4ヶ月です。

e. 原則としてPM5:00です。

f. 使用頻度は、低い予定です。もし多くなれば、それなりの対応を考えます。



説 明 会 報 告 書

17年12月26日

熱海市長 あて

事業者 住
氏
電話番



熱海市まちづくり条例

第30条第3項
第37条第3項

の規定により、説明会等について報告します

| | | | |
|---------|--|--------------------|-----------|
| 開発事業番号 | No. 2 | 開発事業事前協議書の届出日 | 平成17年8月 日 |
| 開発事業の名称 | 熱海市伊豆山分譲計画 | | |
| 施行区域の場所 | 熱海市伊豆山字嶽ケ [Redacted] 外27筆 | | |
| 開催状況 | 開催日時 | 平成17年12月24日19時00分 | |
| | 開催名所 | 七尾会館 | |
| | 周知方法 | [Redacted] より町内へ告知 | |
| | 事業者側出席者名 | [Redacted] | |
| | 利害関係者の出席状況 | 利害関係者 | 名 |
| | | 説明会出席者 | 8名 |
| 開催結果の要旨 | 意見・要望等 | | |
| | 別紙 | | |
| 添付図書 | <input type="checkbox"/> 説明会配布資料 <input type="checkbox"/> 説明会議事録 <input type="checkbox"/> 利害関係者範囲図 <input type="checkbox"/> 出席者名簿 <input type="checkbox"/> その他必要な図書 | | |



回 答 書

17年12月26日

熱海市長 あて

住 所
事業者 氏 名
電話番号



熱海市まちづくり条例第32条第1項の規定により、説明会で出された意見について次のとおり回答します。

| | | |
|---------|---------------------------|-----|
| 開発事業番号 | No. 2 | |
| 開発事業の名称 | 熱海市伊豆山分譲計画 | |
| 施行区域の場所 | 熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted] 外27筆 | |
| 開催予定日時 | 平成17年12月24日(第 回) | |
| 開催予定場所 | 七尾会館 | |
| 意見と回答 | 意 見 | 回 答 |
| | 別 紙 | |



『熱海市伊豆山分譲計画』説明会

開催日時 平成17年12月24日
開始時間 PM7:00
開催場所 七尾会館

1. 開発事業者側

より、各自自己紹介。

2. 「伊豆山分譲計画」の概要説明

市に提出した「開発事業事前協議書」に沿って口頭説明。
所在地・施工区域の場所・施工区域の面積等、開発事業の概要

尚、温泉（源泉）の改修工事の資材運搬の為の道の管理行為を行っています。

3. 質疑

① 調整池は作るのか。

② 地権者は？

③ 泥水は大丈夫か？

④ [] と [] の関係は？

⑤ 下の様な工事しないで。

⑥ 工事は正確にして。

⑦ 時々、現場をみたい。

⑧ [] の許可番号。

⑨ [] の分譲実績。

⑩ 河の改修は？

⑪ 風致地区なので大丈夫か？

⑫ 工事中 写真撮って。

⑬ 泥水に気をつけて。

4. 回答

① 沈砂池を作ります。

② [] です。

③ 大丈夫の工事をします。

④ 権利者と事業者です。

⑤ わかりました。

⑥ わかりました。

⑦ わかりました。

⑧ 許可の時点で、看板により表示します。

⑨ 秦野・小八幡・酒匂・箱根板橋など。

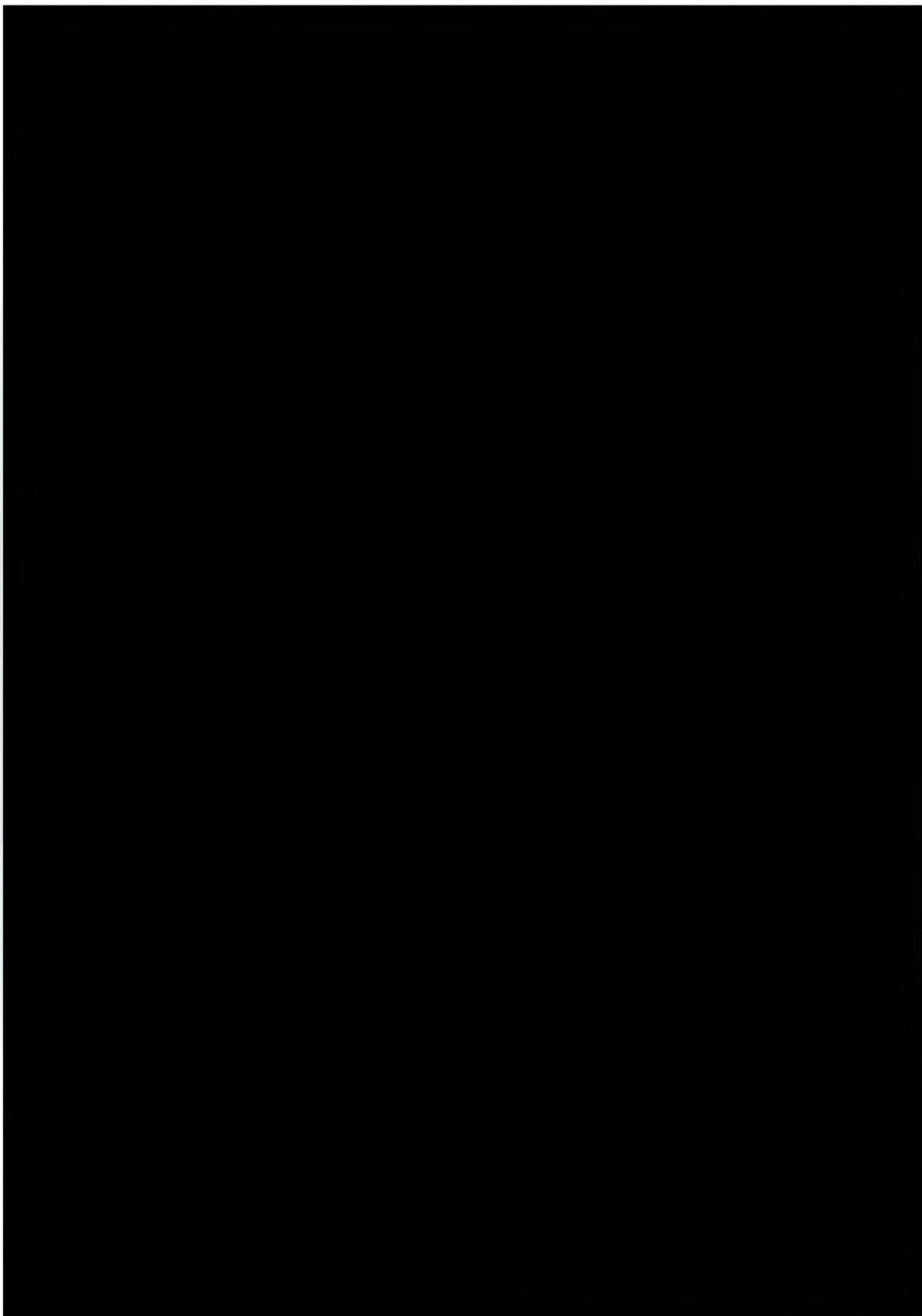
⑩ 現状の河川や排水設備に依って流下可能な計画になっているので、調整池の設置は考えていません。

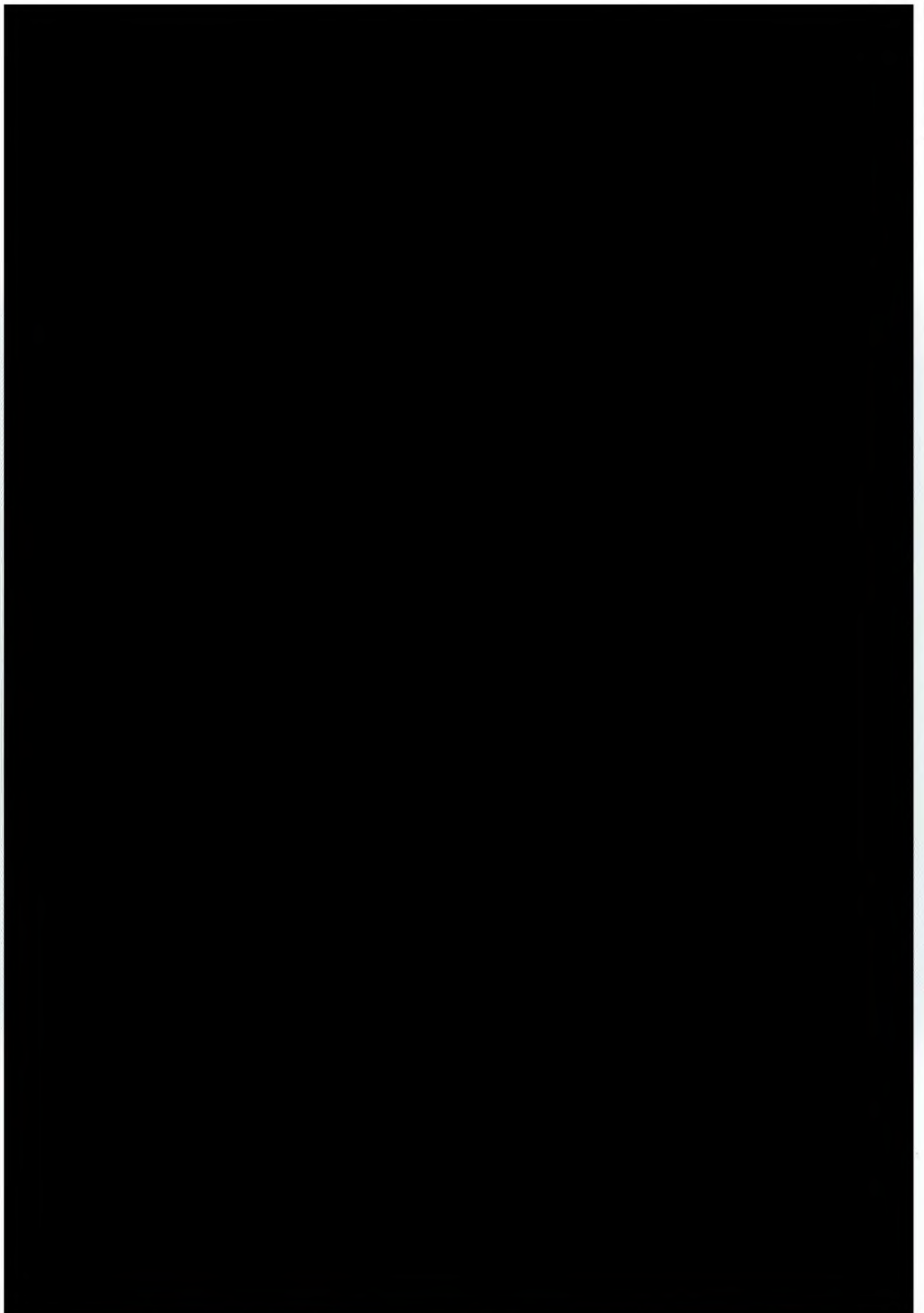
⑪ 許可のもと、条例を守ります。

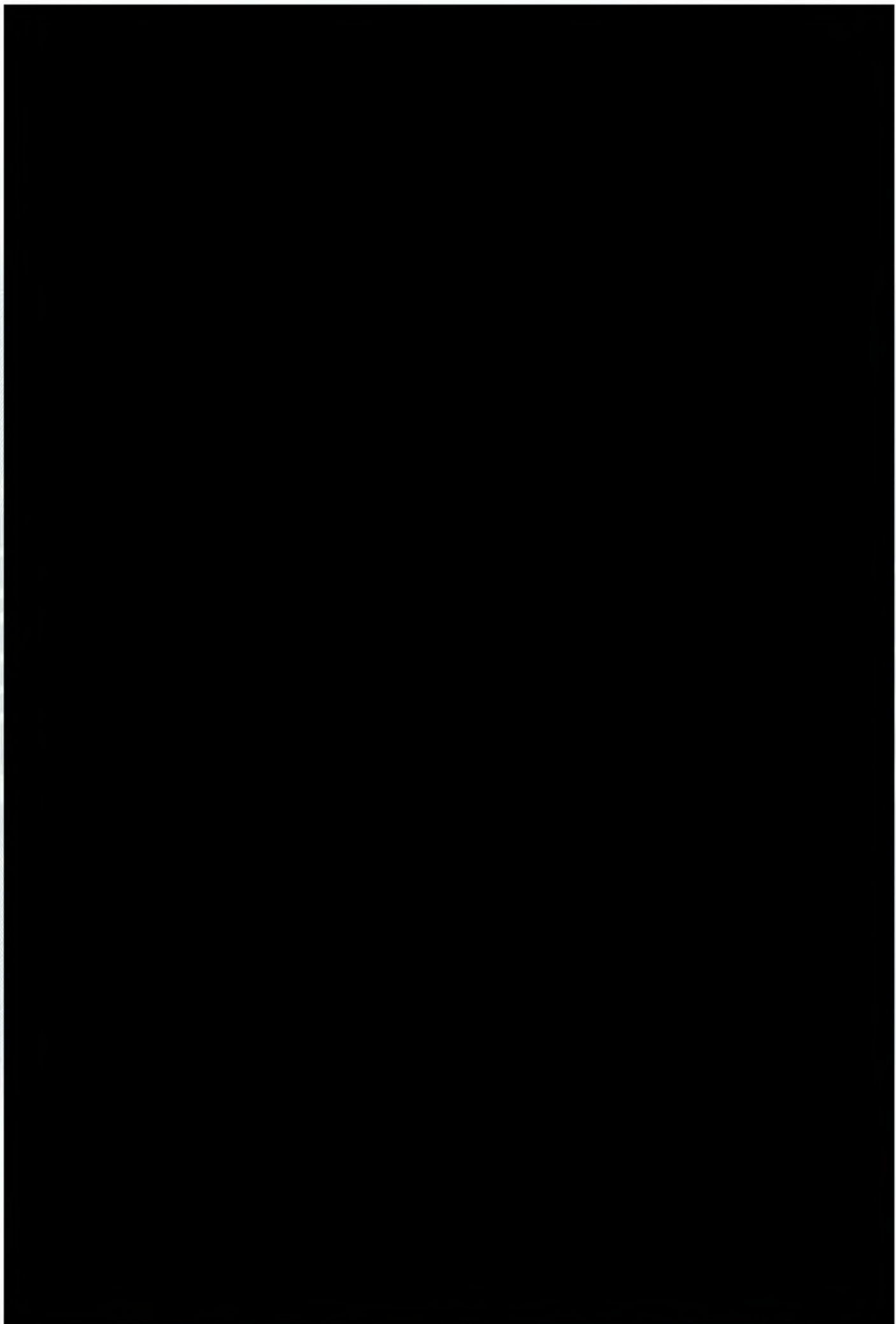
⑫ わかりました。

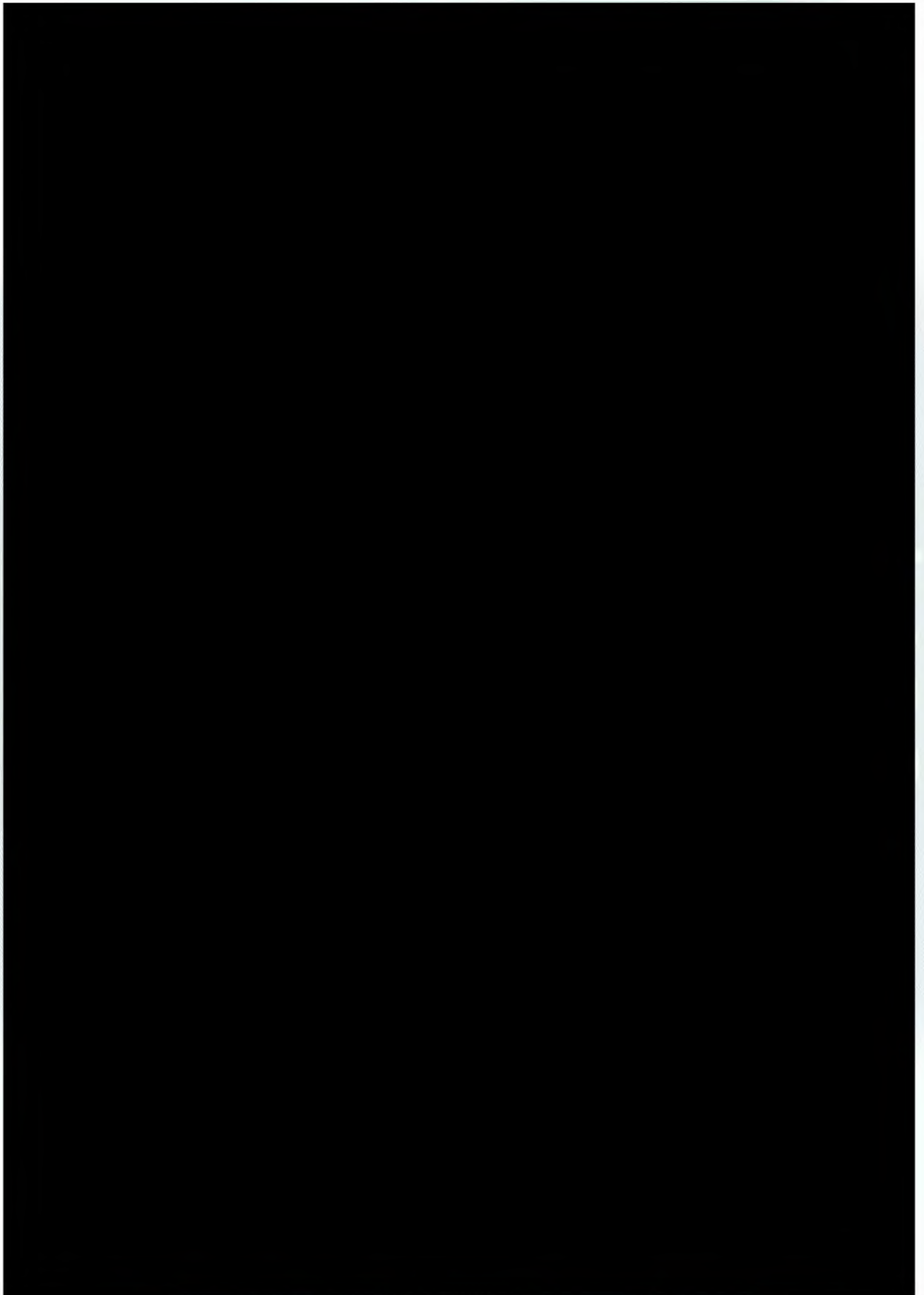
⑬ わかりました。

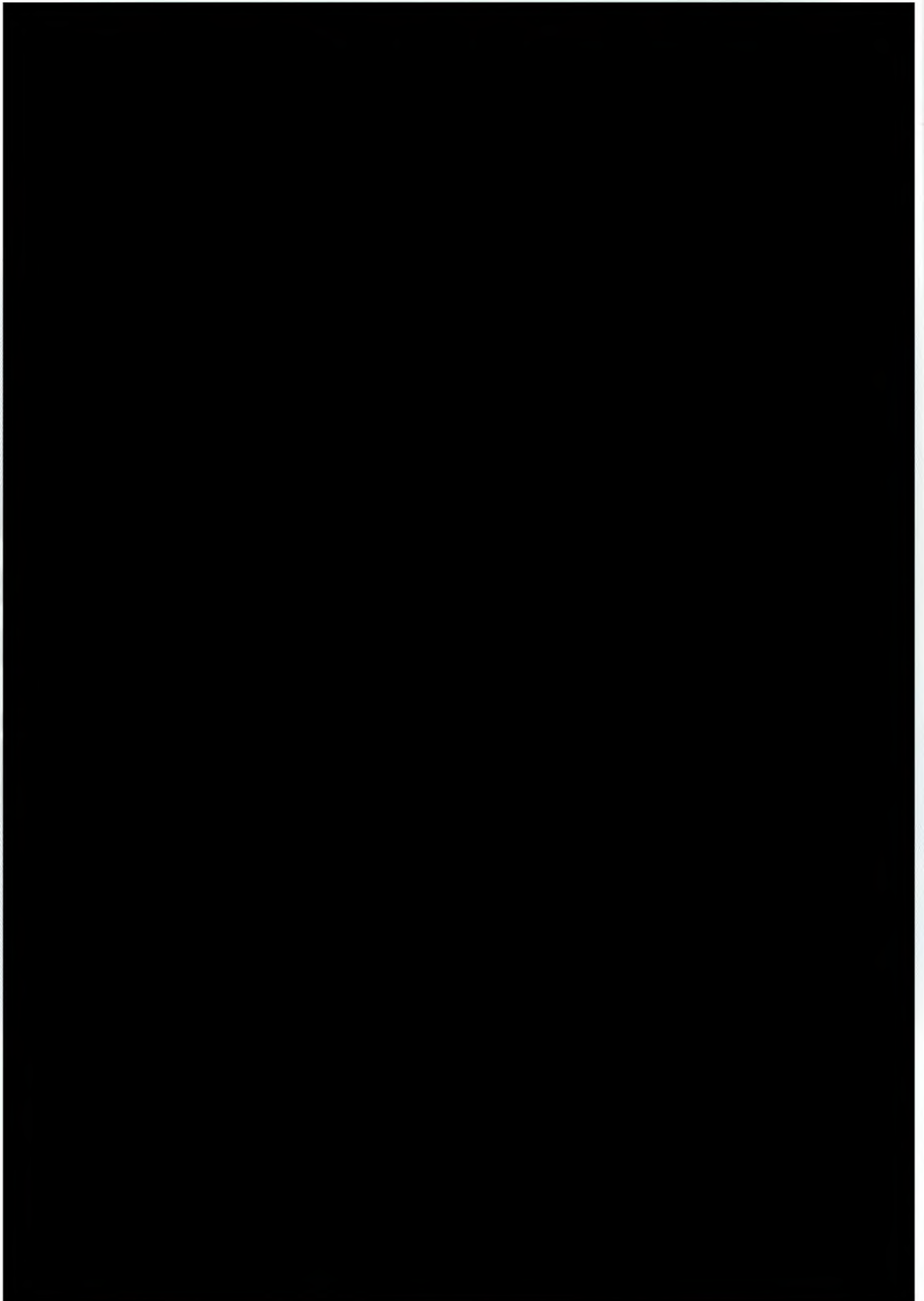


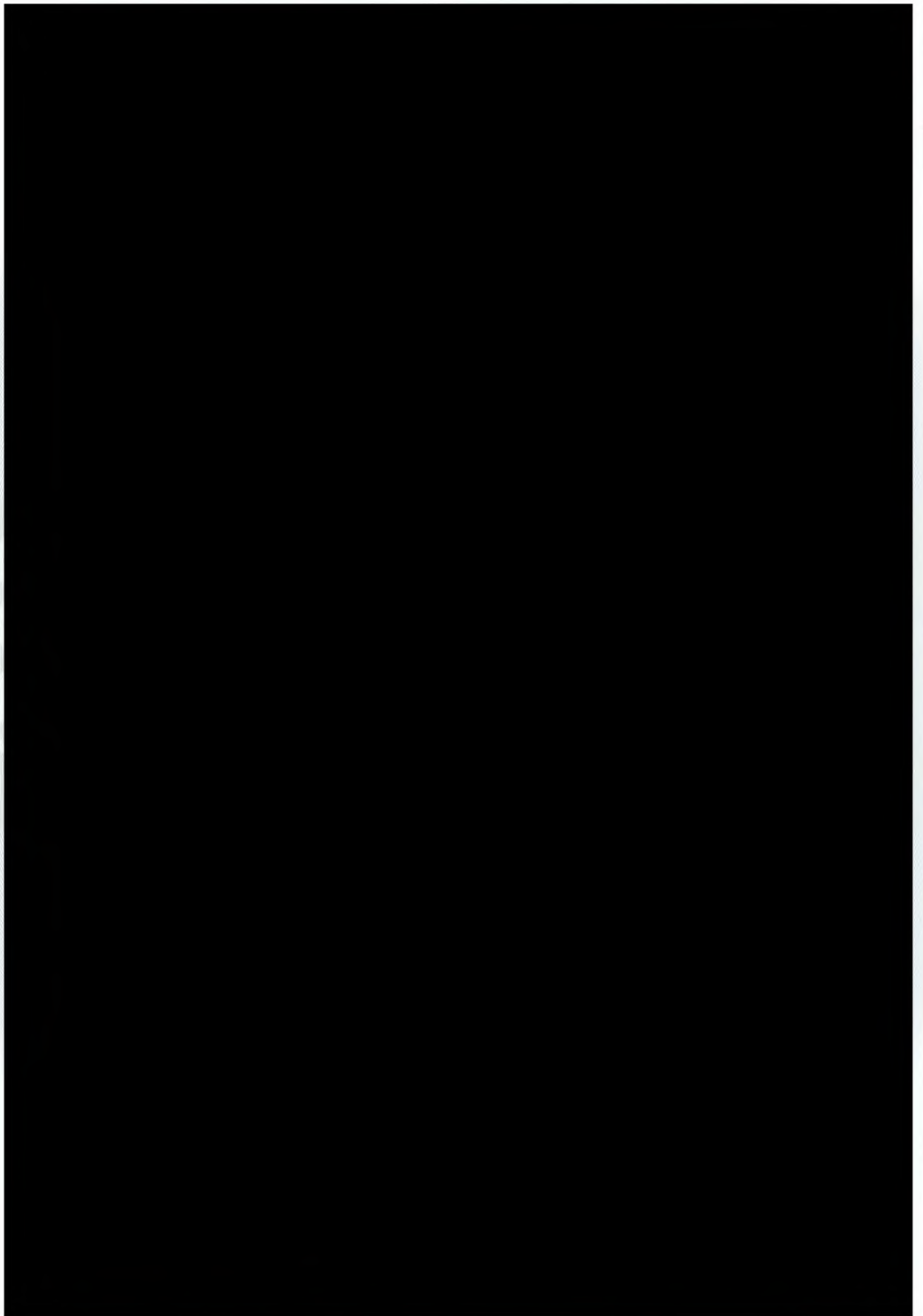


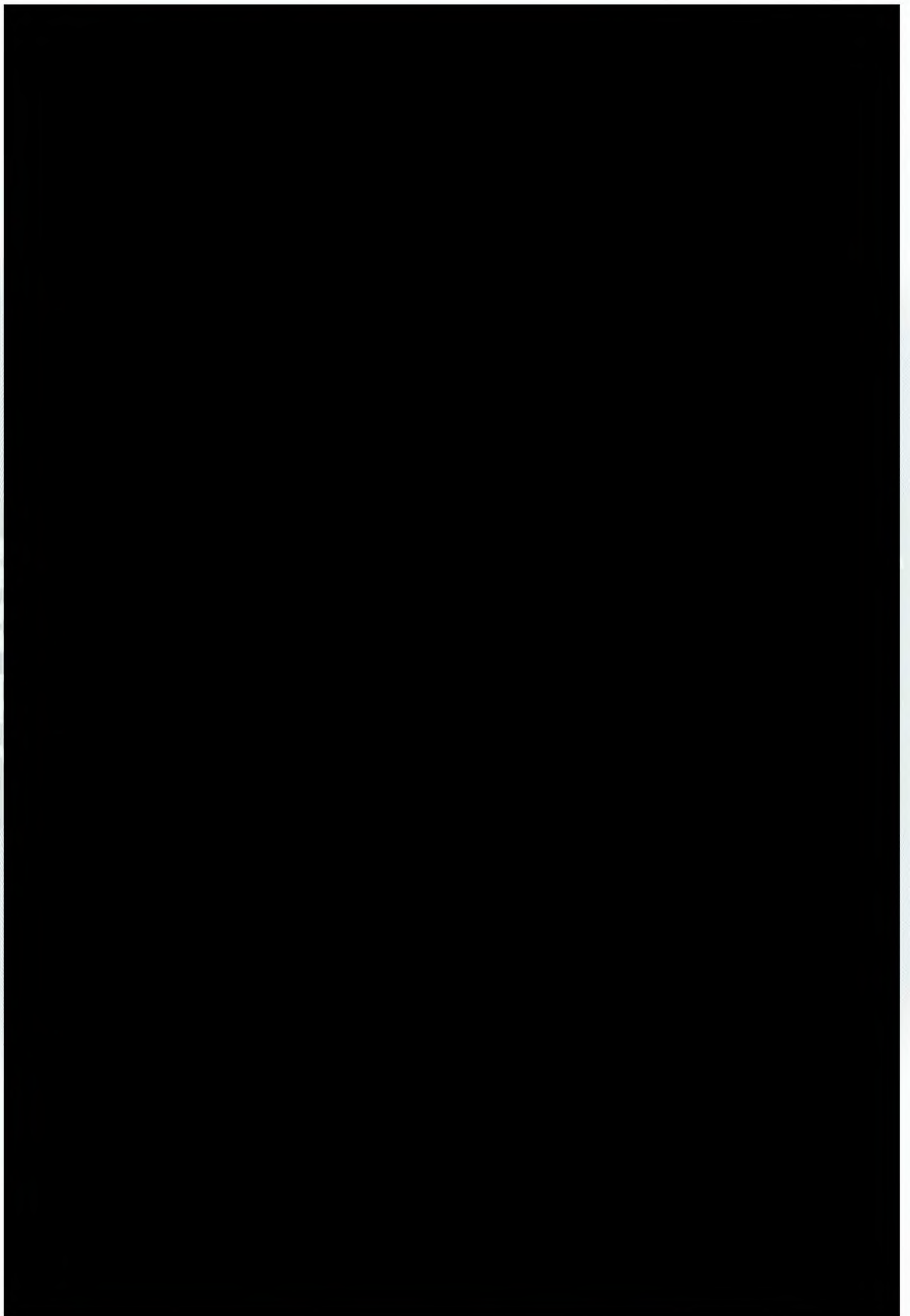


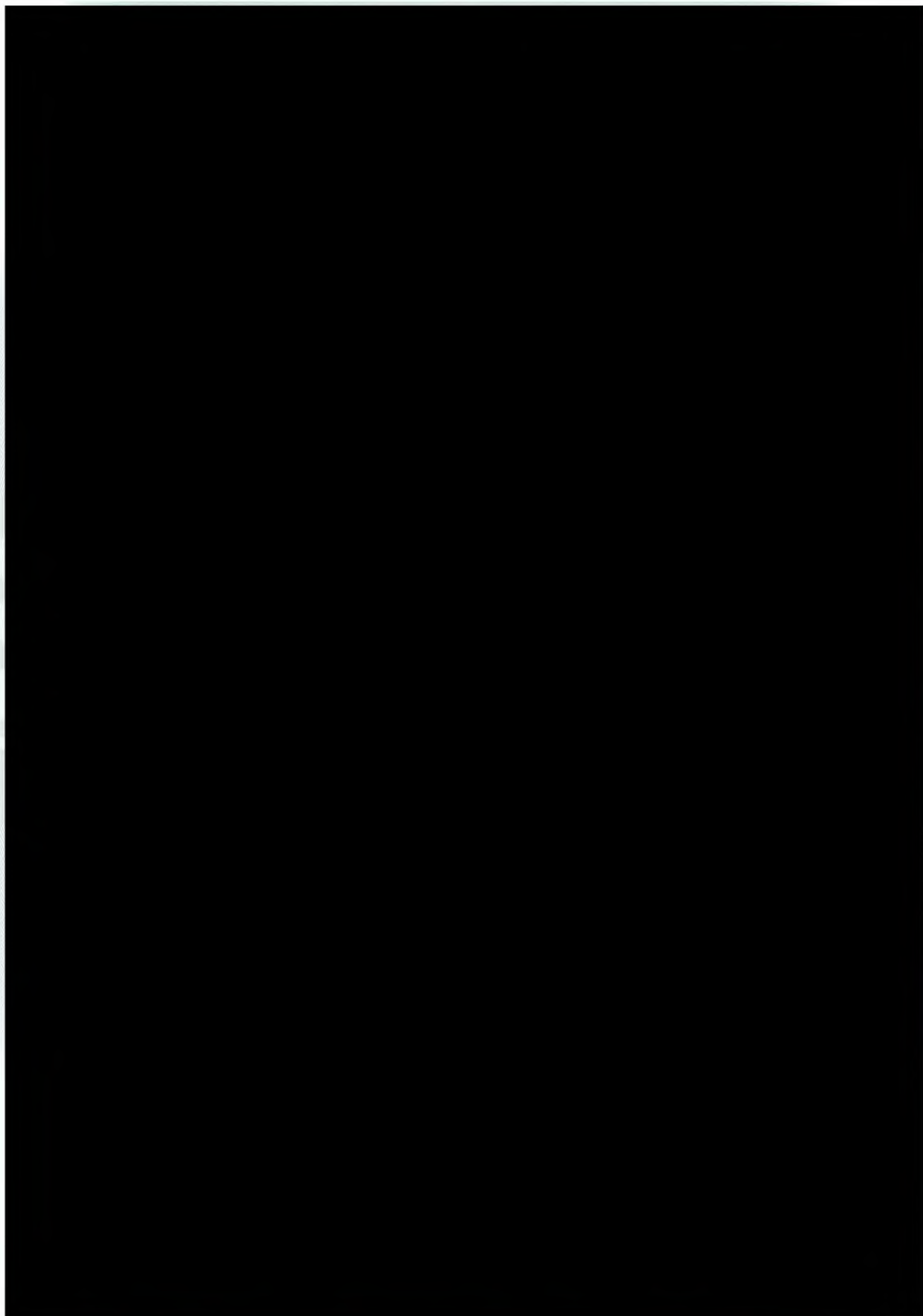


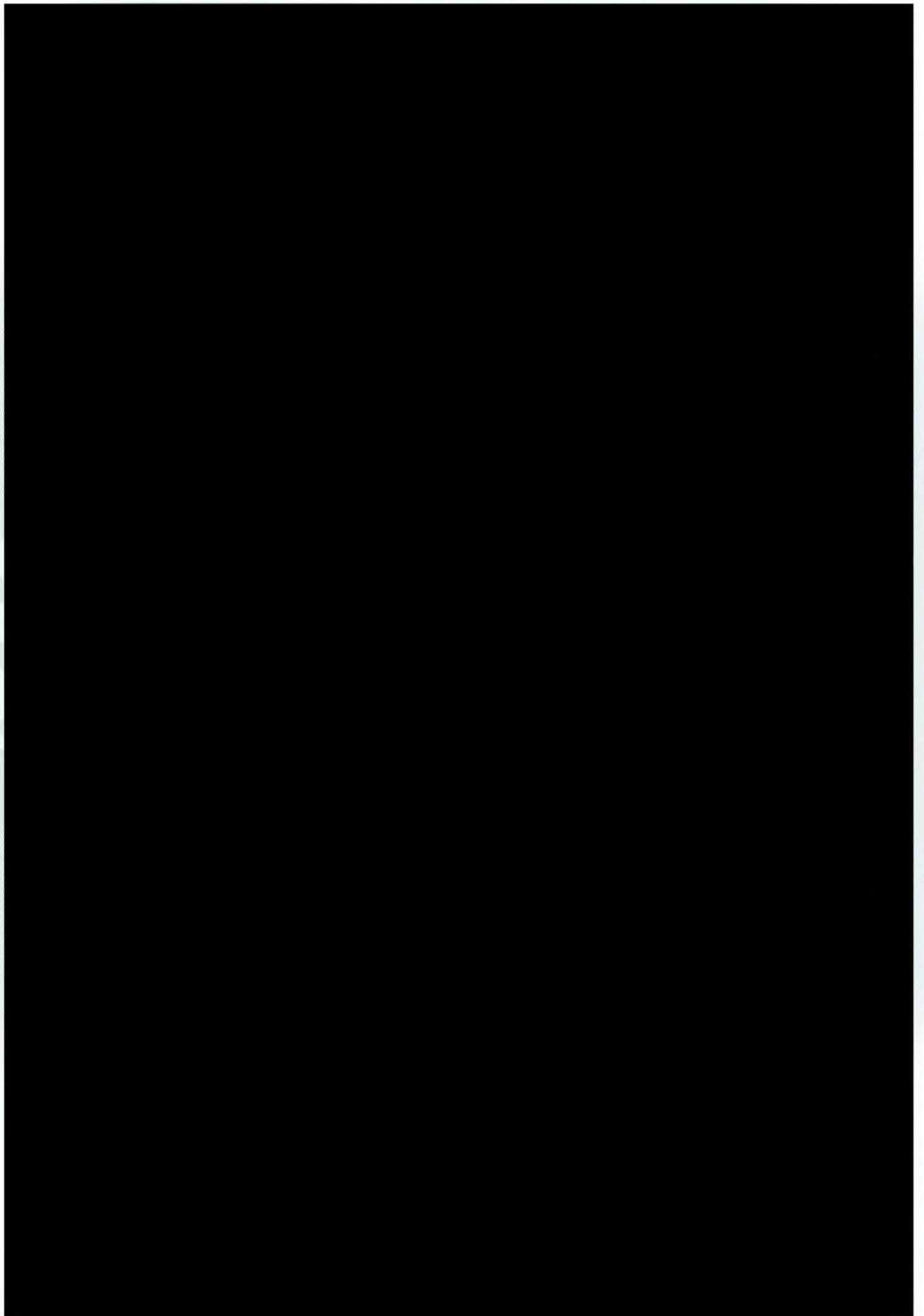


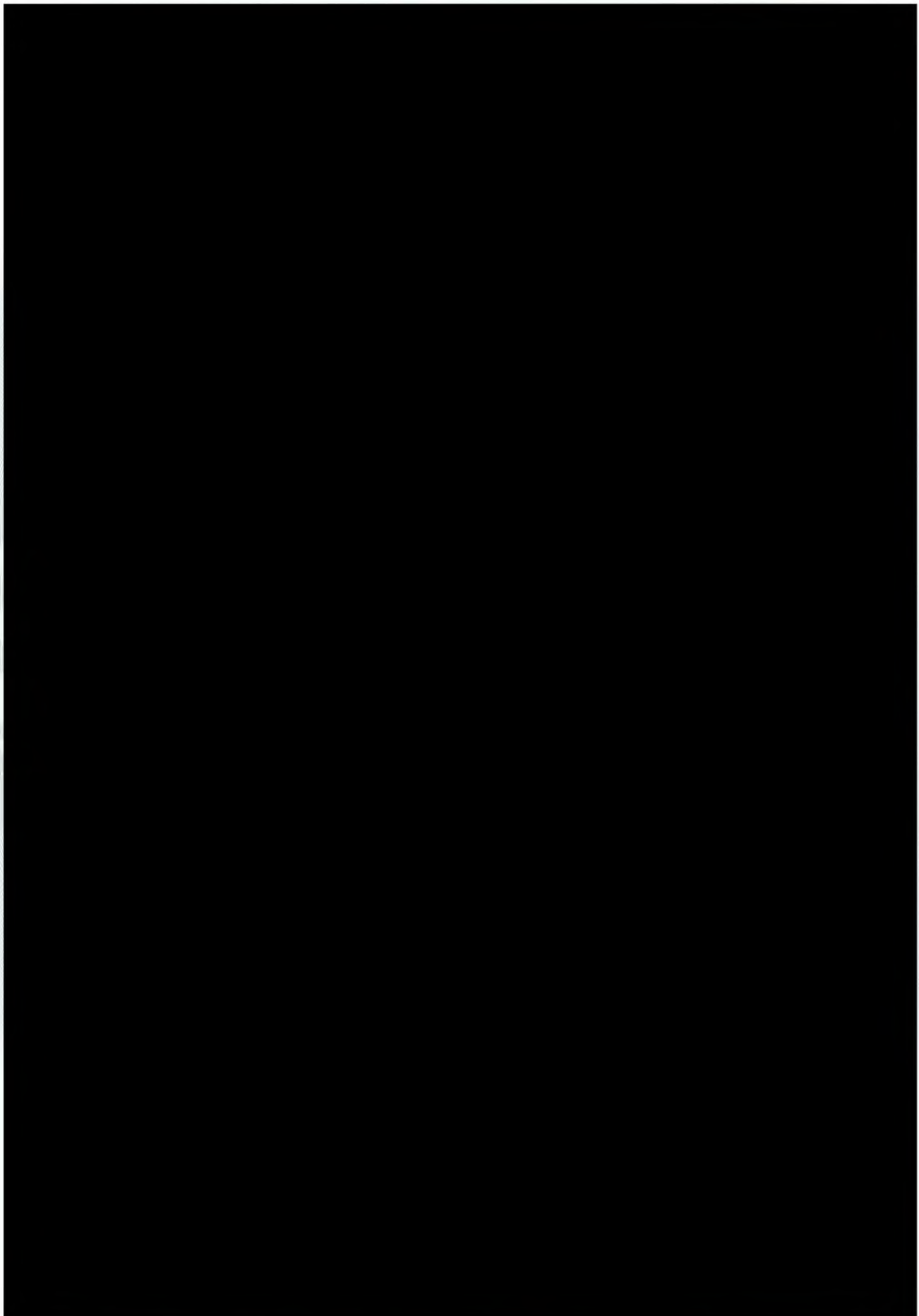


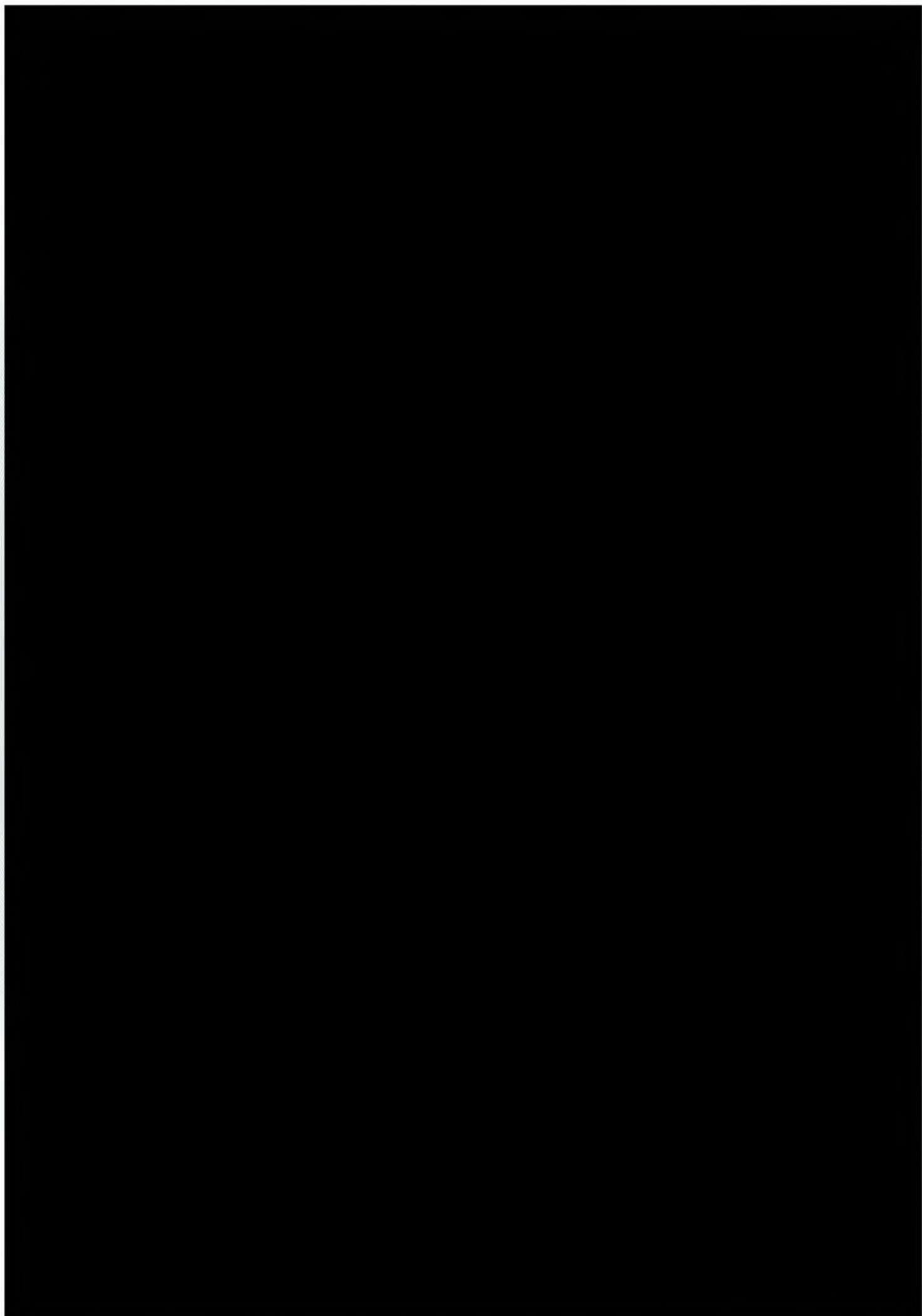


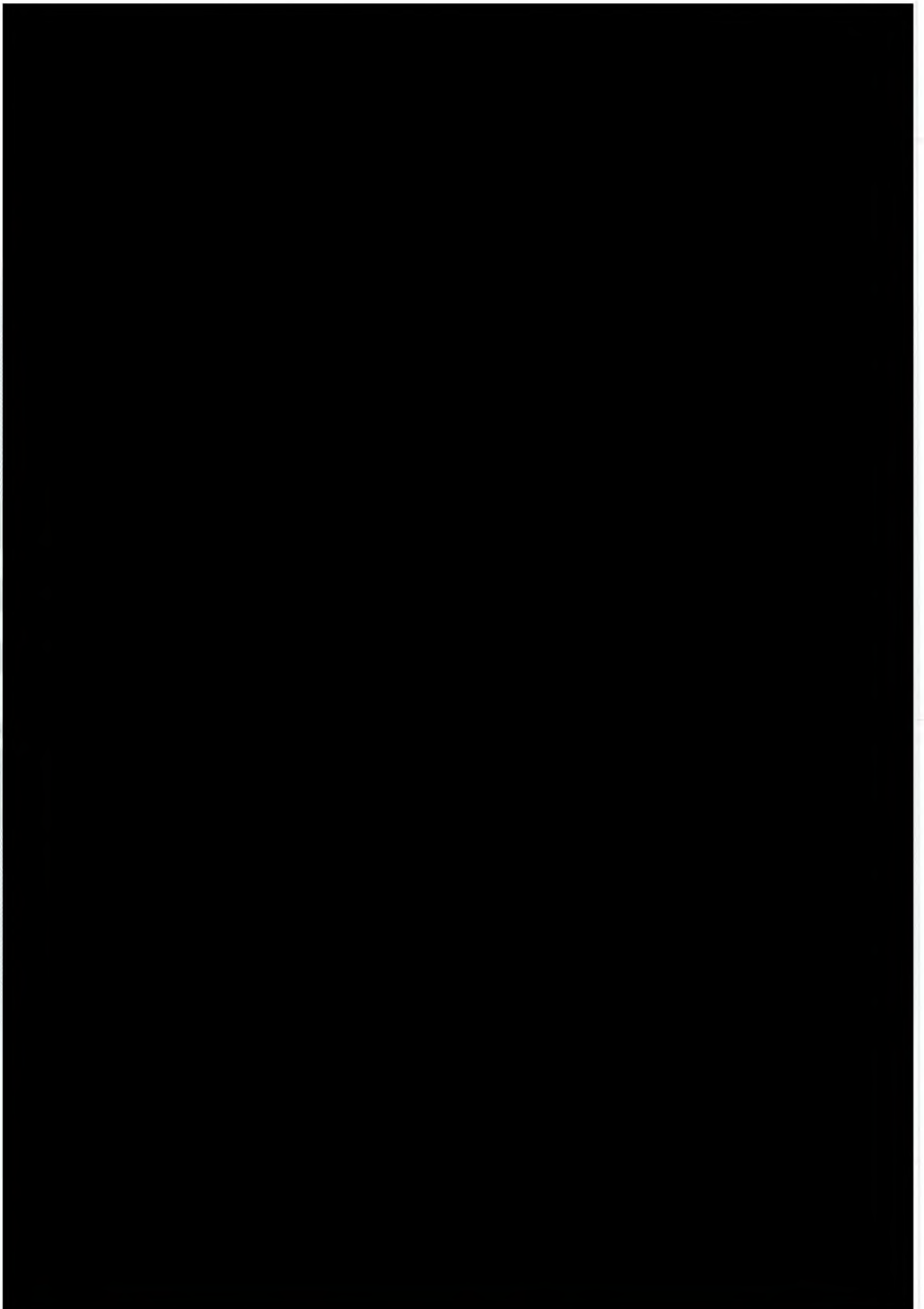


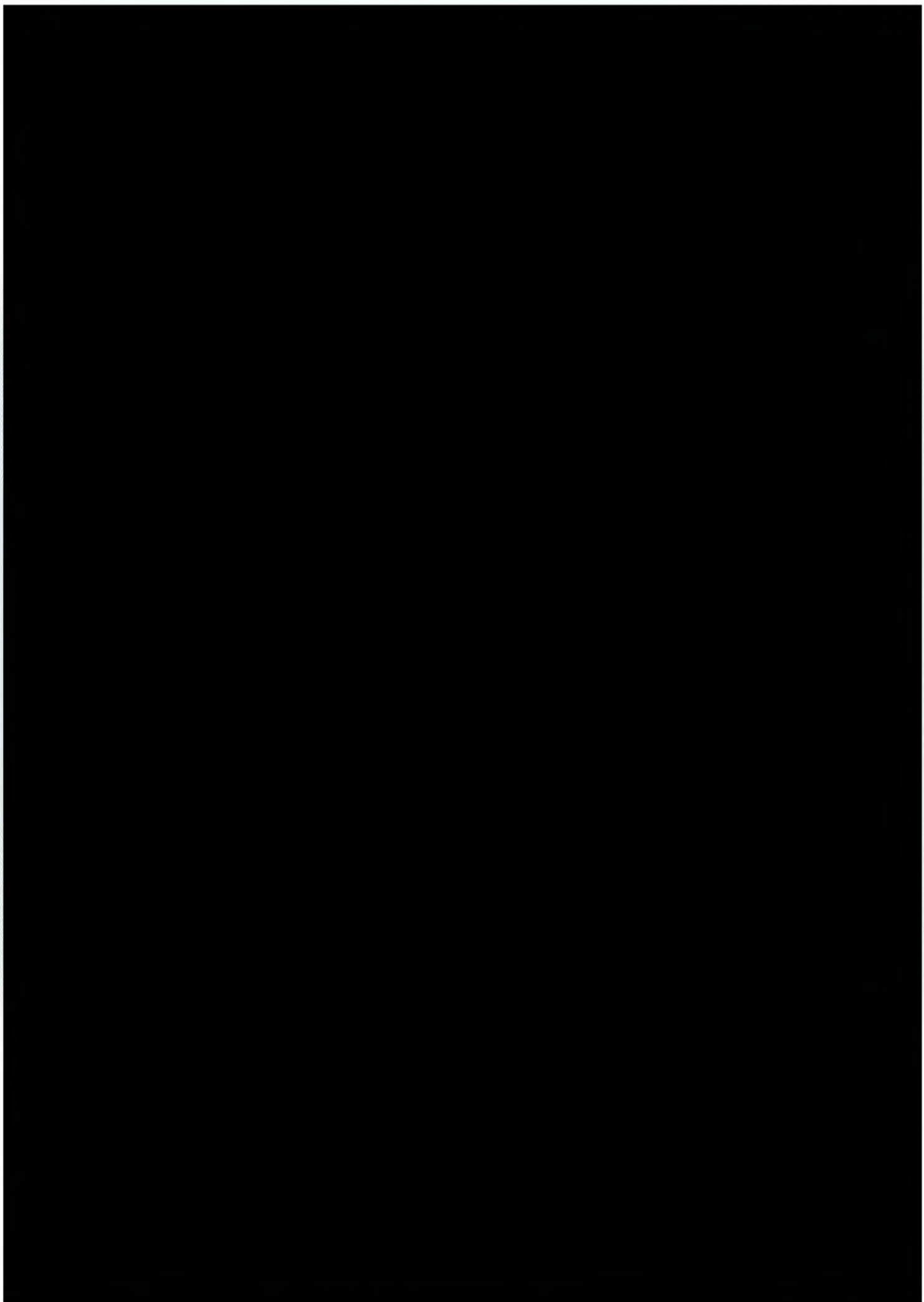


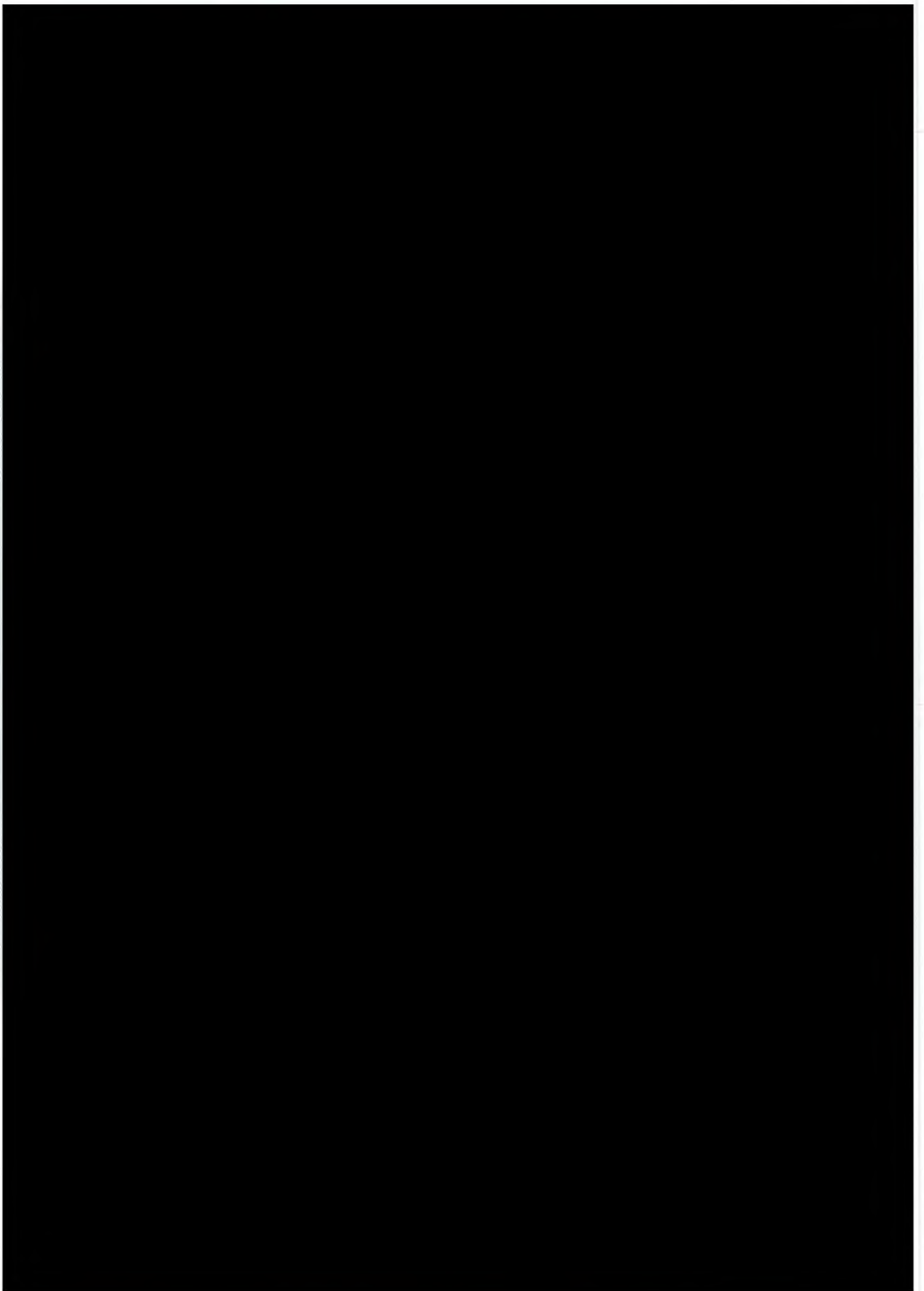


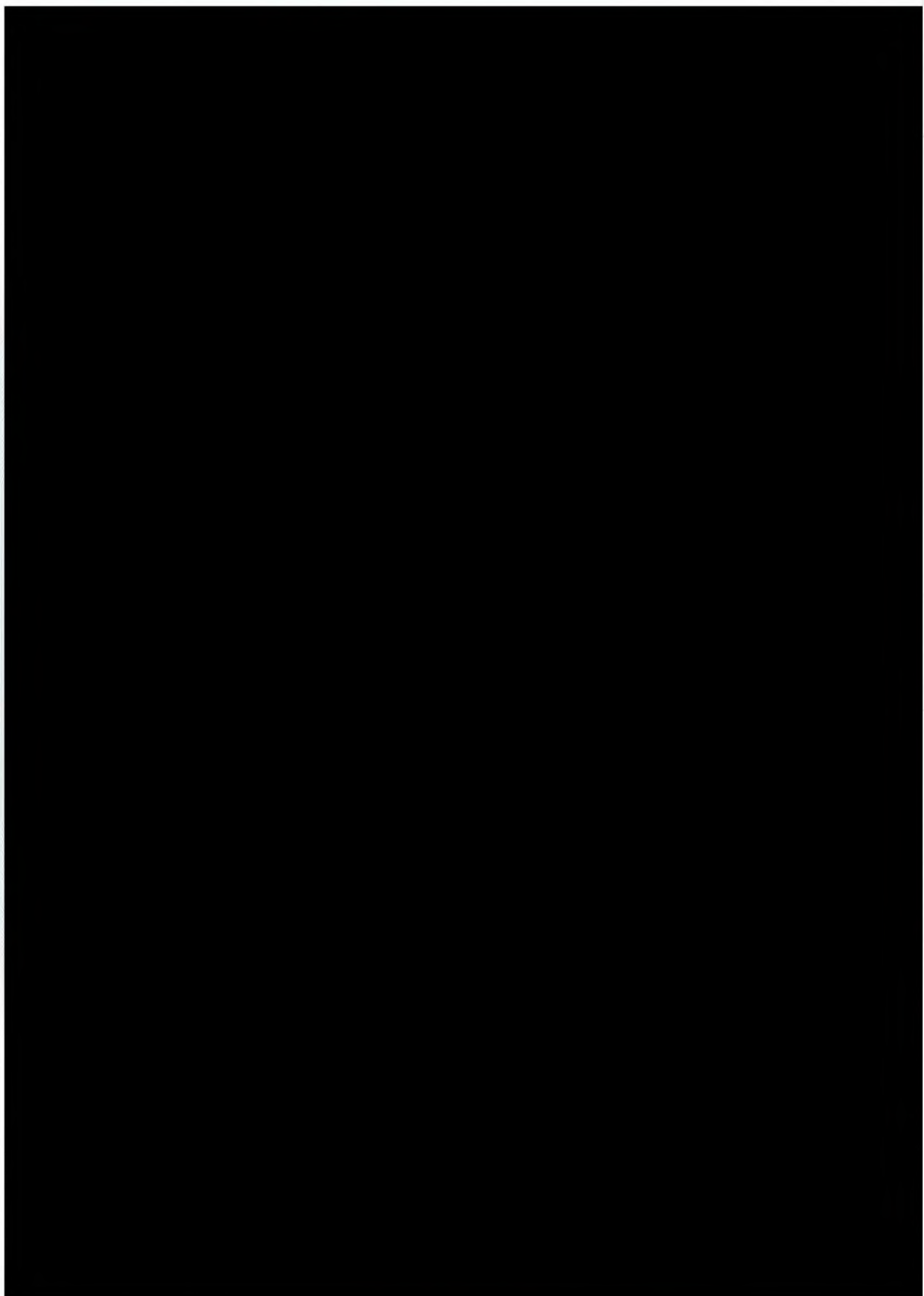


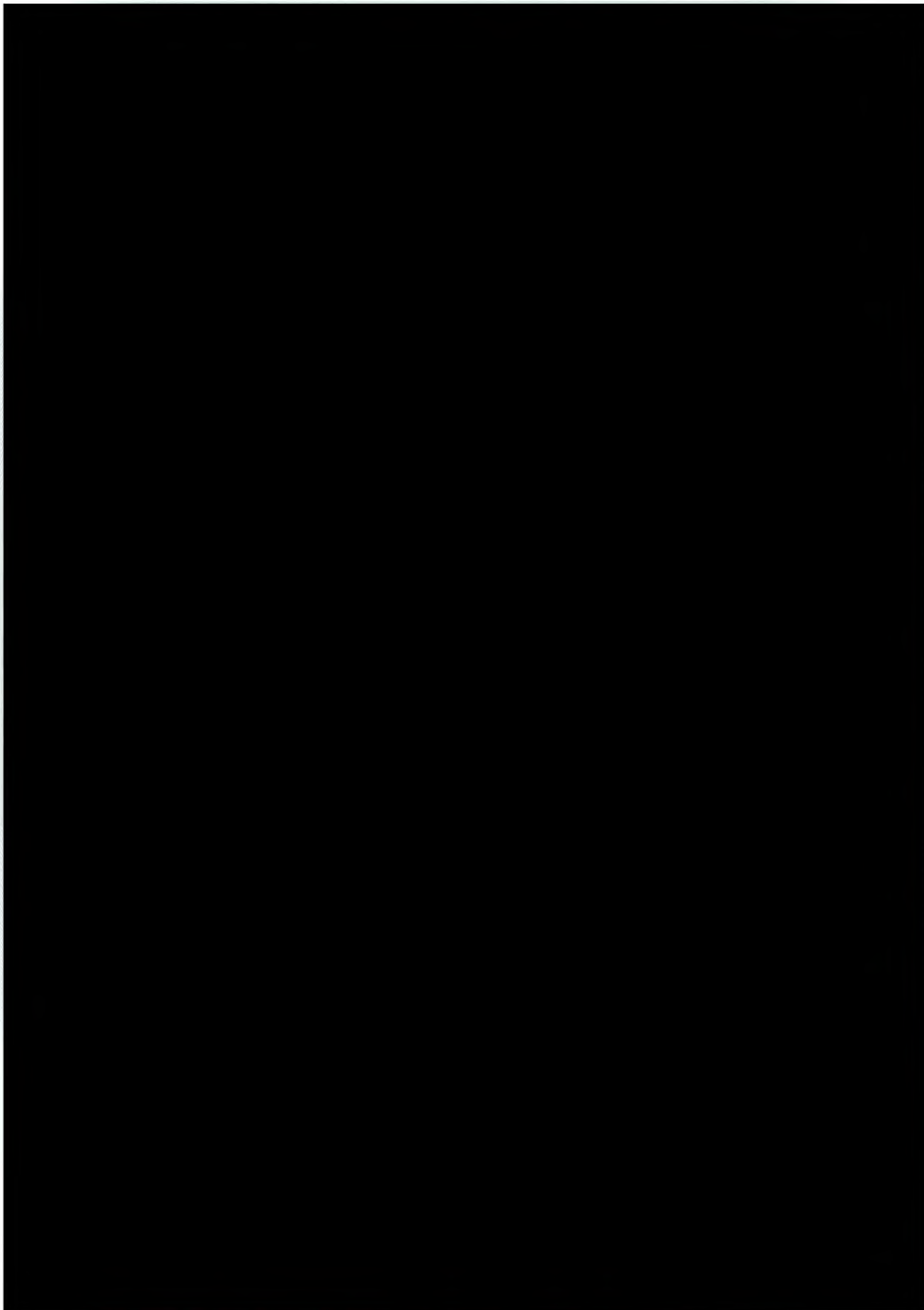


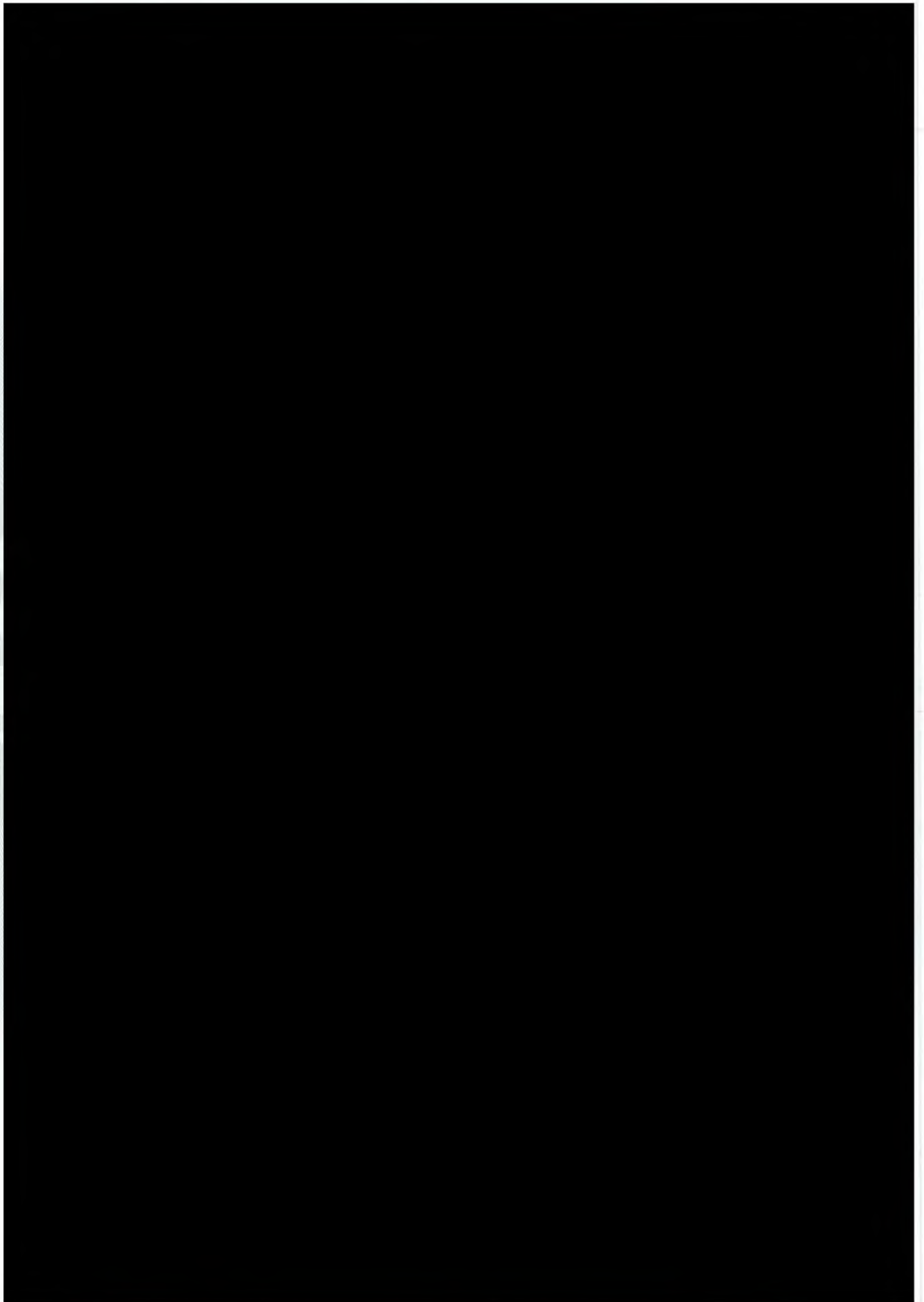


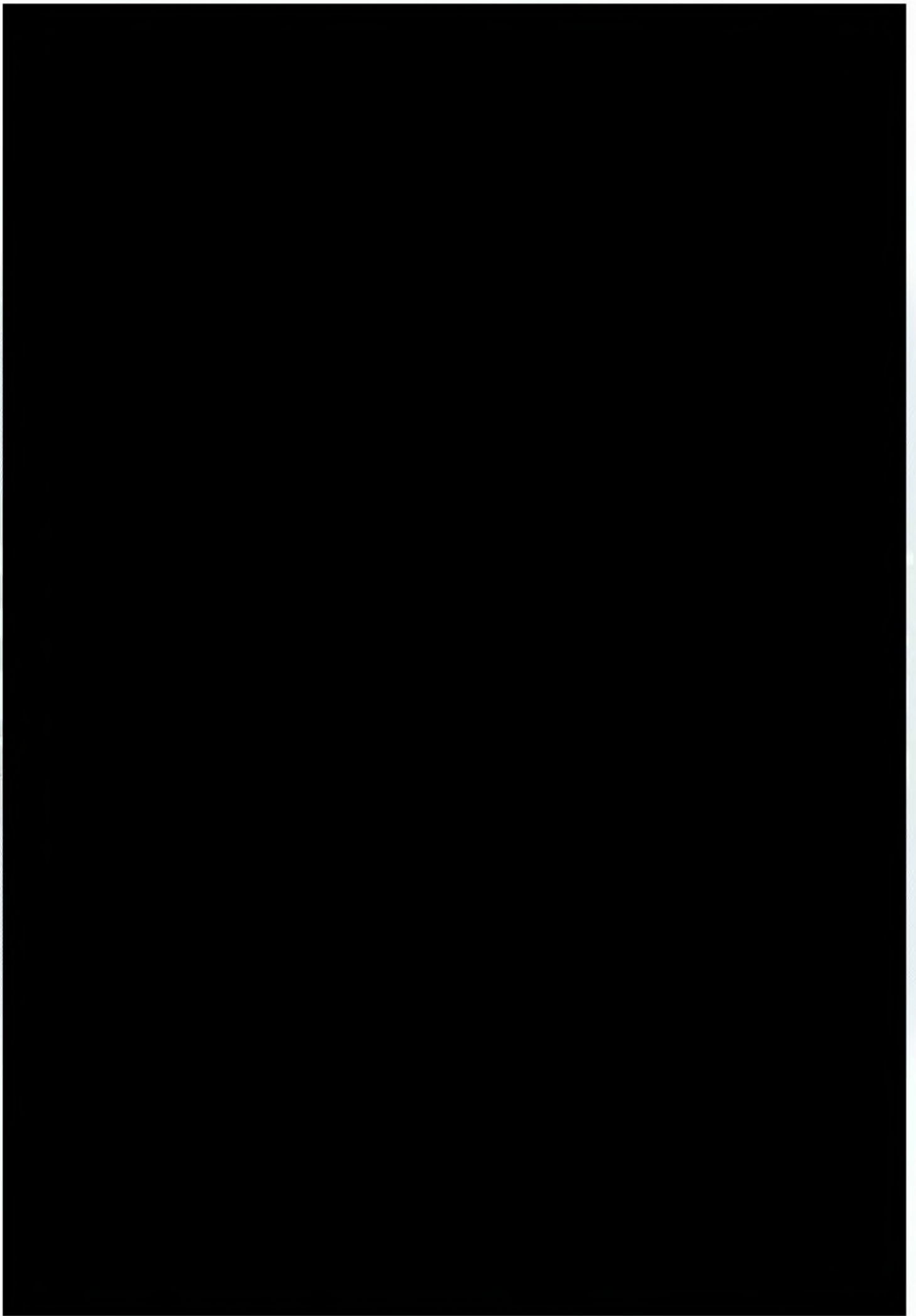


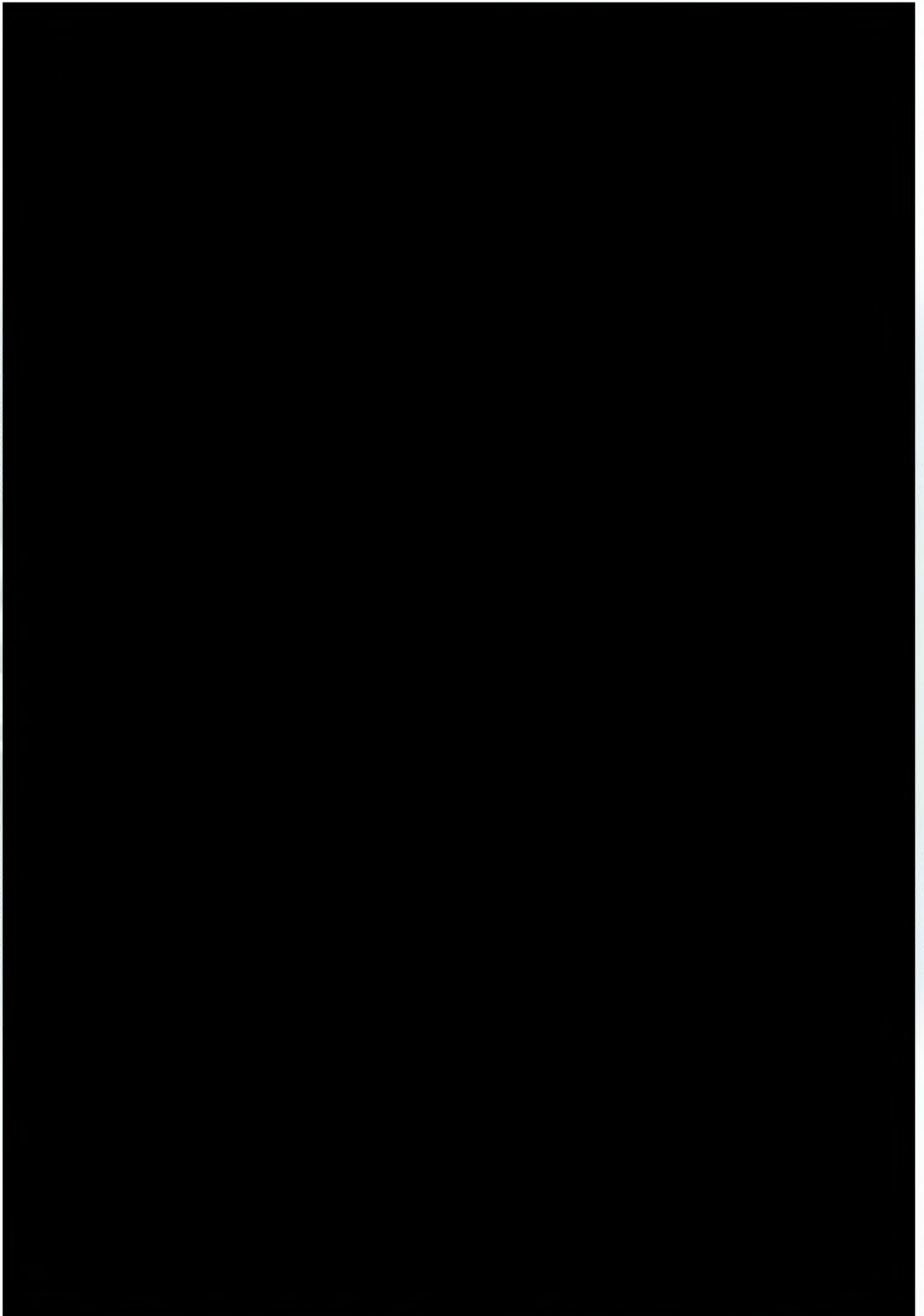


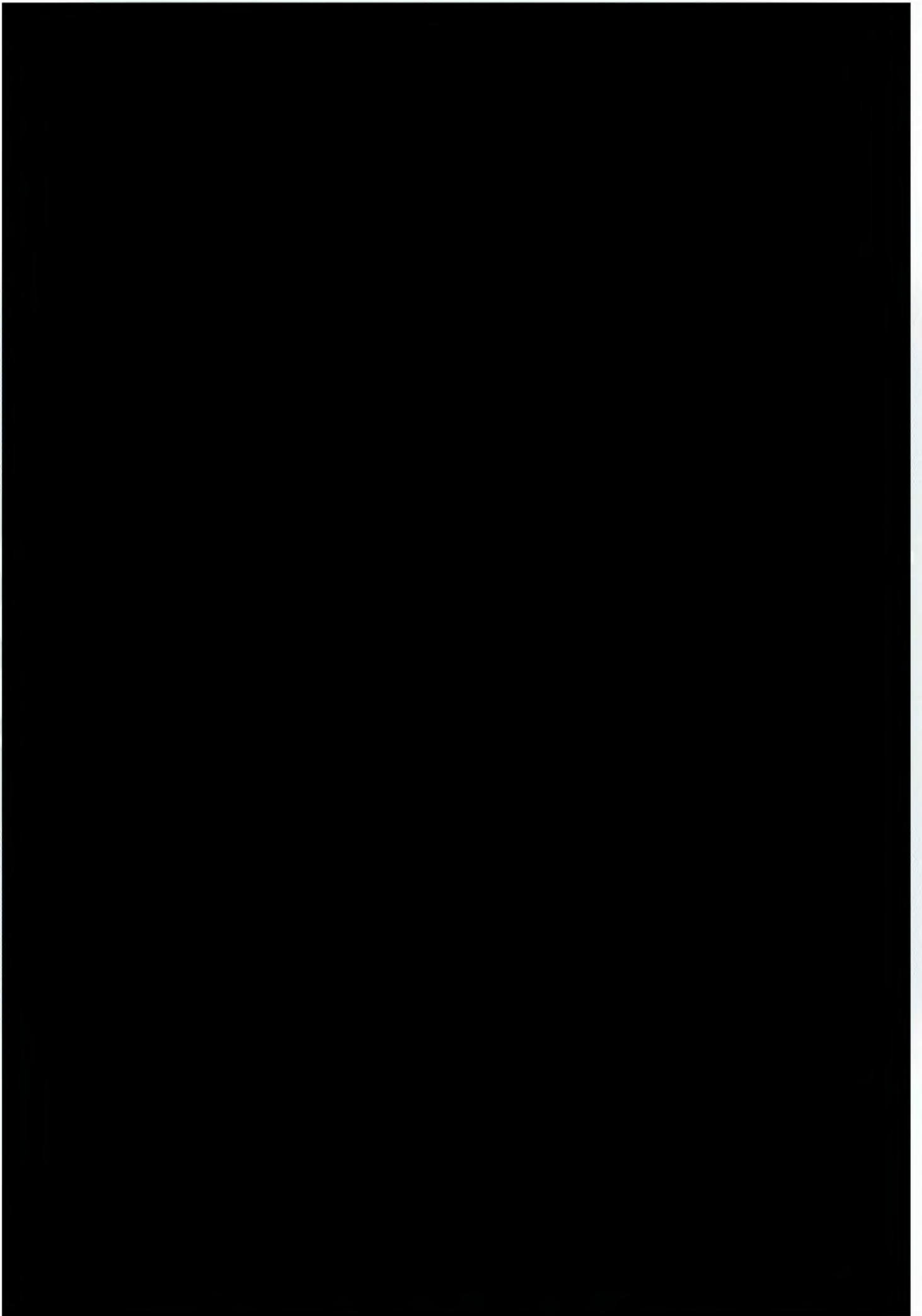


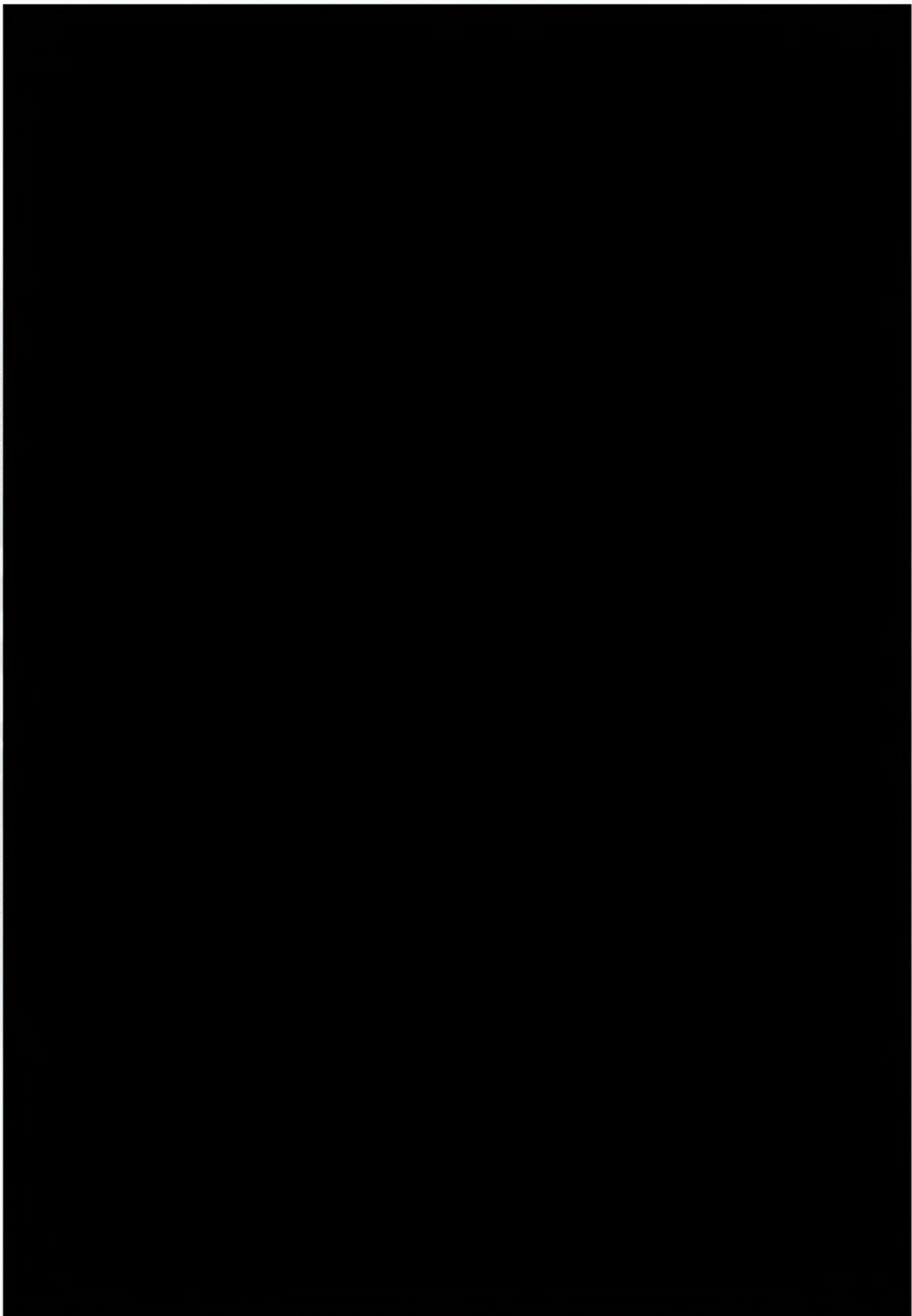


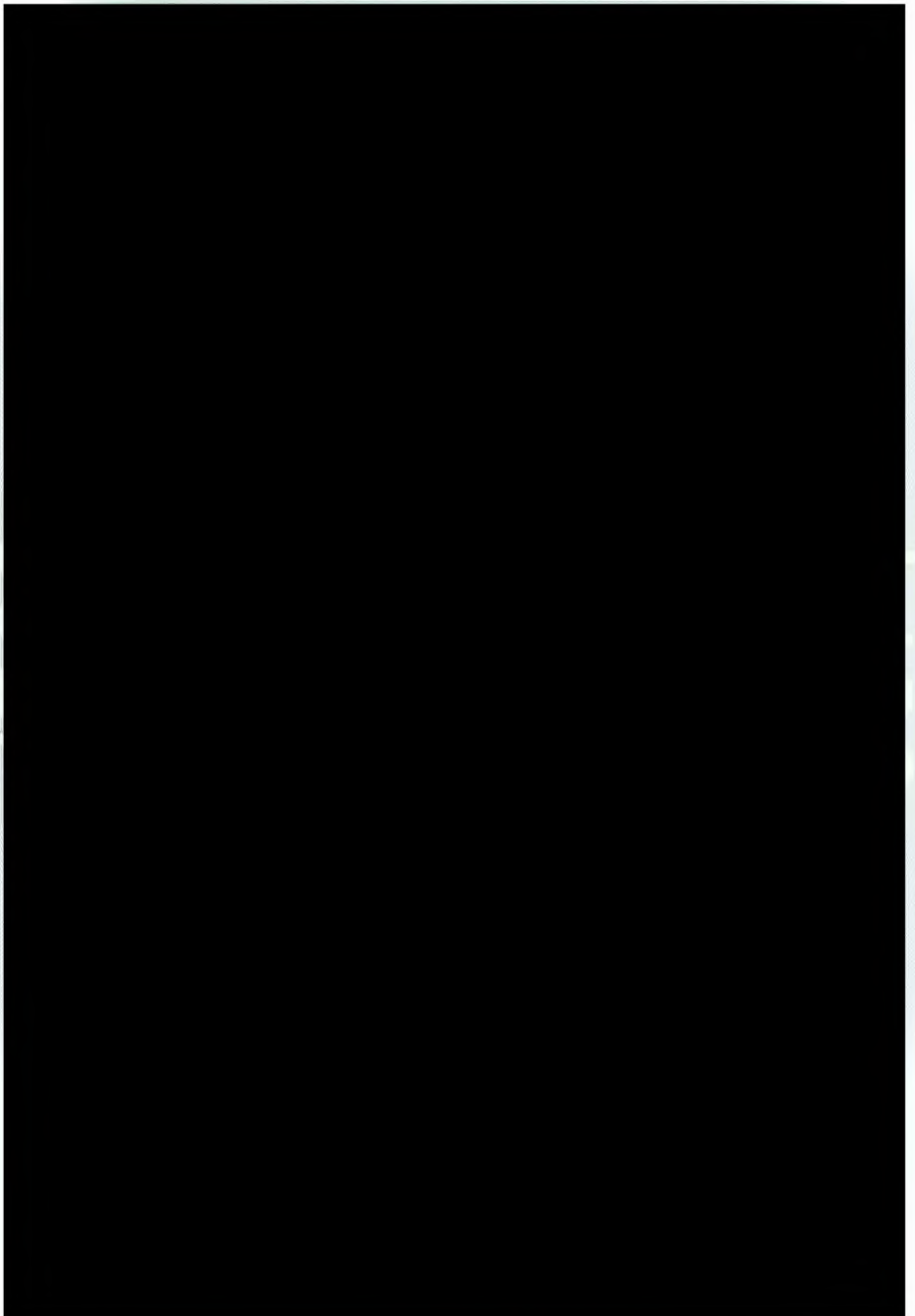












林地開発に伴う森林資源利用計画書

1 森林資源の概要（森林法第 5 条第 2 項で指定する森林区域）

| 伐採面積（土地形質変更面積） | ha | | | | |
|----------------|----|----|----|------------------------|------------------|
| | 樹種 | 樹齡 | 面積 | 単位材積m ³ /ha | 材積m ³ |
| 伐採樹種、樹齡、面積、在積 | | 年 | ha | | |
| | | 年 | ha | | |
| | | 年 | ha | ※計画なし | |
| | | 年 | ha | | |
| | | 年 | ha | | |
| | | 計 | ha | | |

※ 面積は少数第 4 桁表示、材積は整数止め（どちらも表示桁以下四捨五入）

2 森林資源利用計画

（森林・林業基本法第 11 条第 2 項に基づく森林・林業基本計画に定める森林及び林業に関する施策についての基本方針（5））

① 用材・パルプ材利用（有価物処理）

| 該当項目 | 利用樹種・部位 | 材積(m ³) 又は 重量(t) | 搬出先 企業名等 | 所在地 | 登録番号 等（廃掃 法認可） |
|----------------------|---------|------------------------------------|-------------|-----|----------------------|
| 木材市場へ搬出（建築用材・工芸材） | | | | | |
| 森林組合へ引き渡し（建築用材・杭丸太等） | | | | | |
| 材木業へ直接引き渡し（建材用・工芸材） | | | | | |
| 木工業へ直接引渡し（工芸材） | | | | | |
| きのこ原木として搬出 | | | | | |
| パルプ用チップとして搬出 | | | | | |
| 木質ボード材原料として搬出 | | | | | |
| スモーク用チップとして搬出 | | | | | |
| 木質舗装材の原料として搬出 | | | | | |
| 法面緑化基盤材料の原料として搬出 | | | | | |
| 堆肥又は肥料の原料材として搬出 | | | | | |
| 木質バイオマスエネルギー原料として搬出 | | | | | |
| 炭化原料として搬出 | | | | | |
| その他（ ） | | | | | |
| 計 | | | | | |



| ② 現場利用計画 | | | | | |
|-------------------|---------|------------------------------------|-------------|-----|----------------------|
| 該当項目 | 利用樹種・部位 | 材積(m ³) 又は 重量(t) | 搬出先 企業名等 | 所在地 | 登録番号 等(廃掃法 認可) |
| 土壌改良材(発酵、堆肥化) | | | | | |
| マルチング資材(チップ化) | | | | | |
| 編柵工(しがら工)・木柵として使用 | | | | | |
| 粗朶暗渠として利用 | | | | | |
| 粗朶伏工として利用 | | | | | |
| 公園施設(ベンチ等)として利用 | | | | | |
| チップ舗装として利用 | | | | | |
| その他() | | | | | |
| 計 | | | | | |

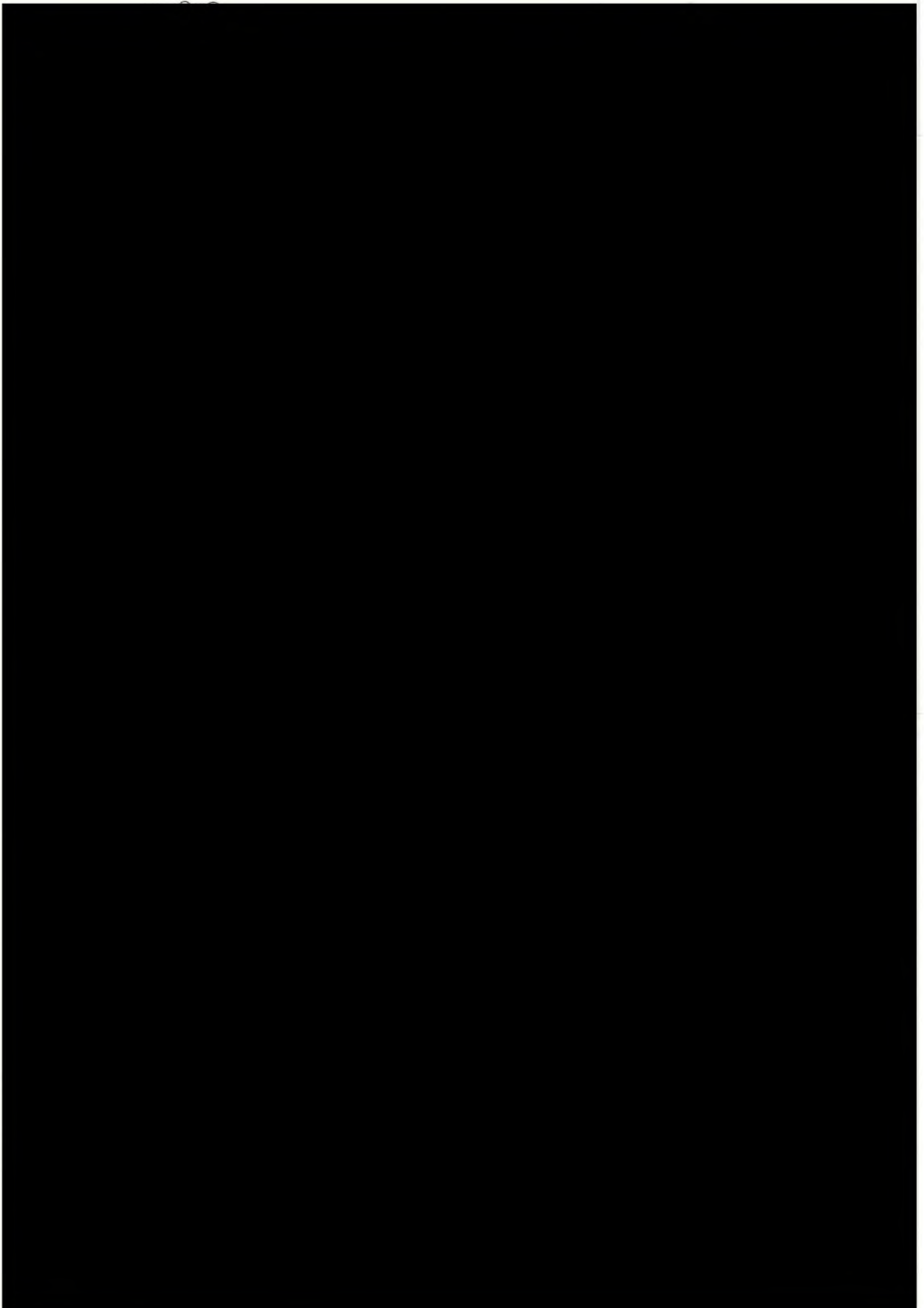
※計画なし

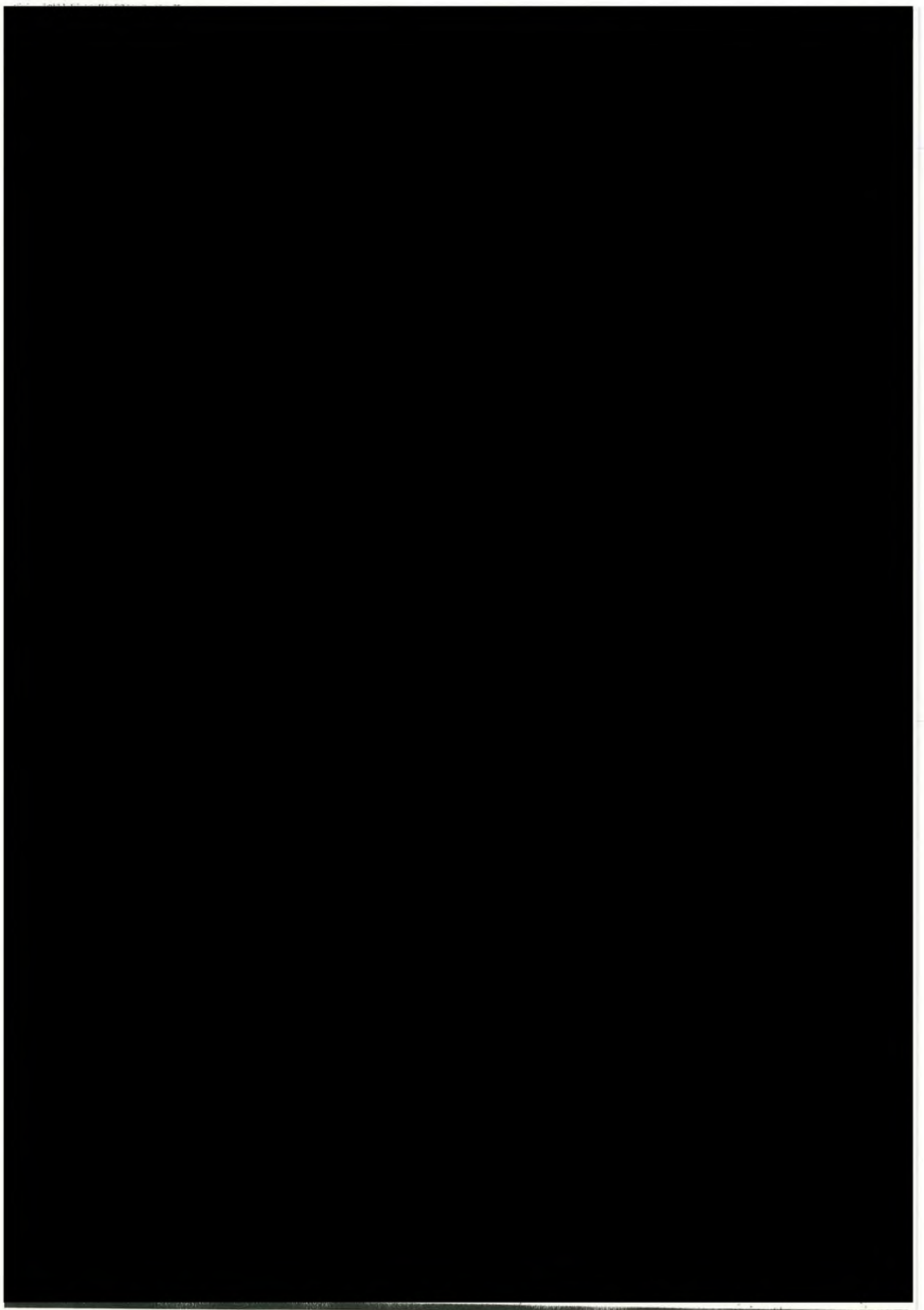
| ② 現場利用計画 | | | | | |
|----------------------------|---------|------------------------------------|-------------|-----|----------------------|
| 該当項目 | 利用樹種・部位 | 材積(m ³) 又は 重量(t) | 搬出先 企業名等 | 所在地 | 登録番号 等(廃掃法 認可) |
| 木質舗装材の原料としてマテリアルリサイクル | | | | | |
| 法面緑化基盤材の原料としてマテリアルリサイクル | | | | | |
| 増肥又は肥料の原料としてマテリアルリサイクル | | | | | |
| マルチング資材としてのマテリアルリサイクル | | | | | |
| 木質バイオマスエネルギー原料としてサマールリサイクル | | | | | |
| その他() | | | | | |
| 計 | | | | | |

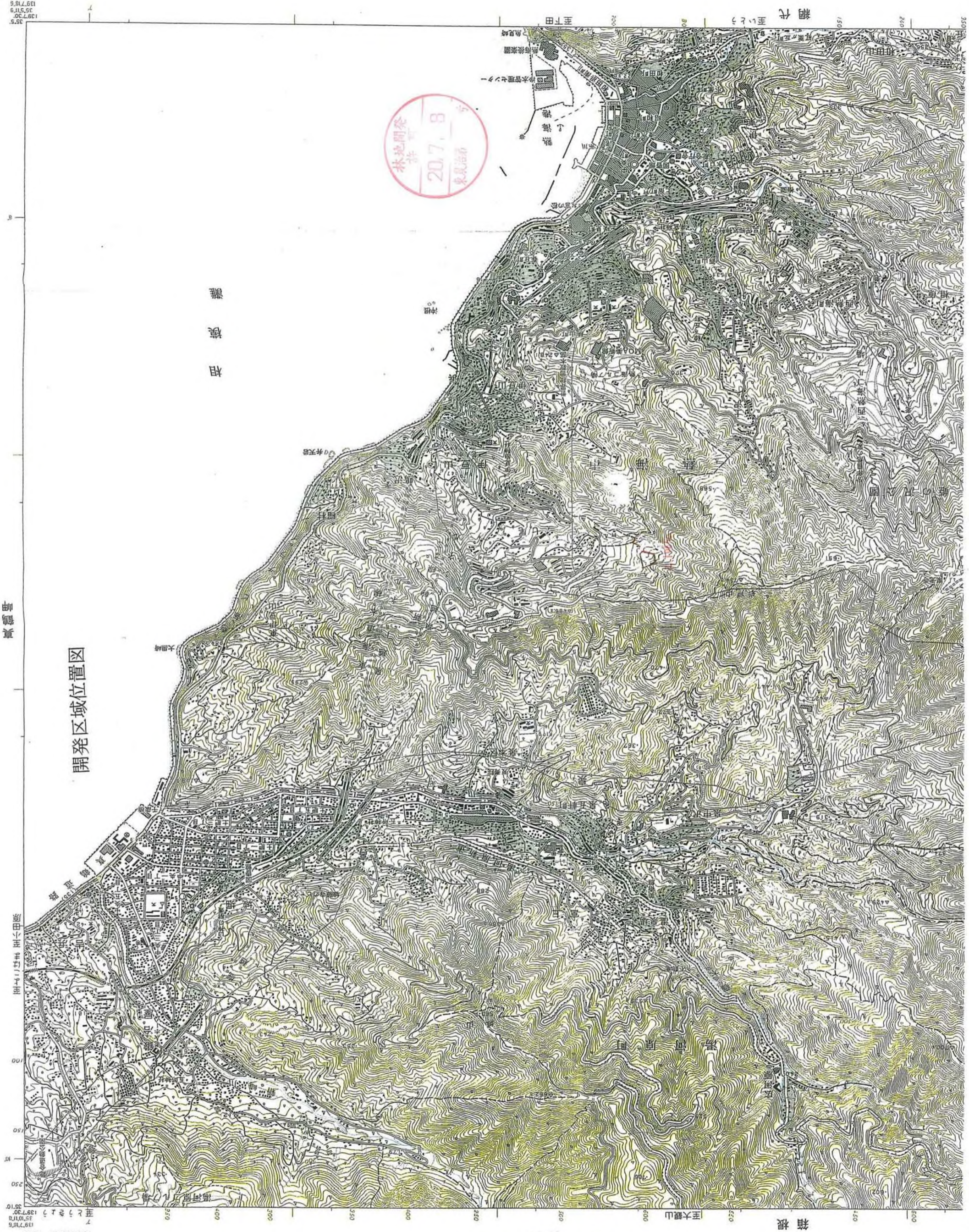
※計画なし

備考：事業完了時には実績報告書を作成し、林地開発行為完了届に添付すること。









開発区域位置図

相模湾

箱根

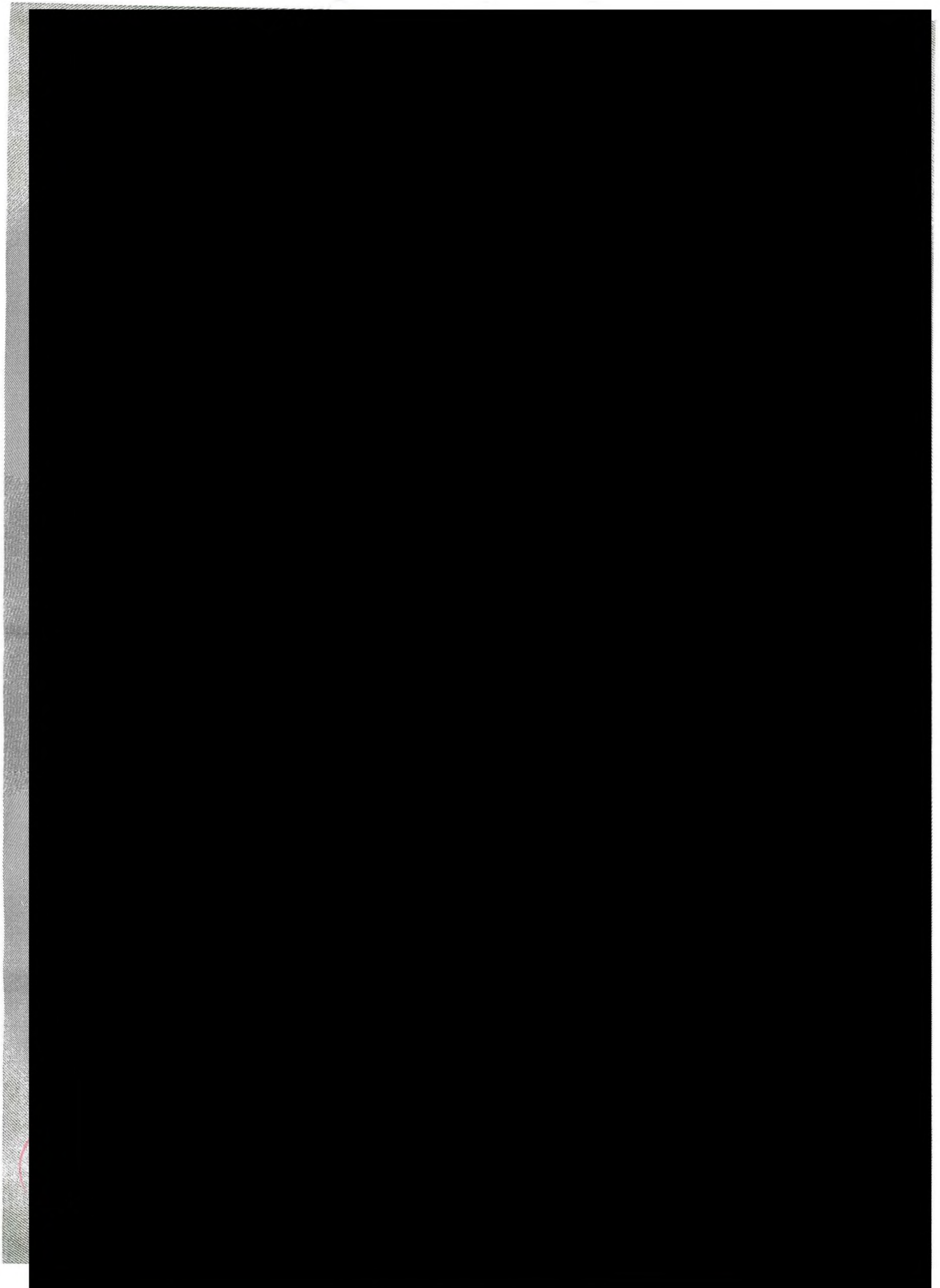
至大観山

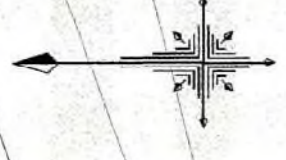
相模川

須田小淵 相模川

139° 7' 18.6"
35° 10' 17.8"
139° 7' 18.6"
35° 10' 17.8"

139° 7' 18.6"
35° 10' 17.8"
139° 7' 18.6"
35° 10' 17.8"





林業
許可
20.7.8
林業
許可
20.7.8

森林法ライン

面積詳細は緑化計画平面図を参照のこと。

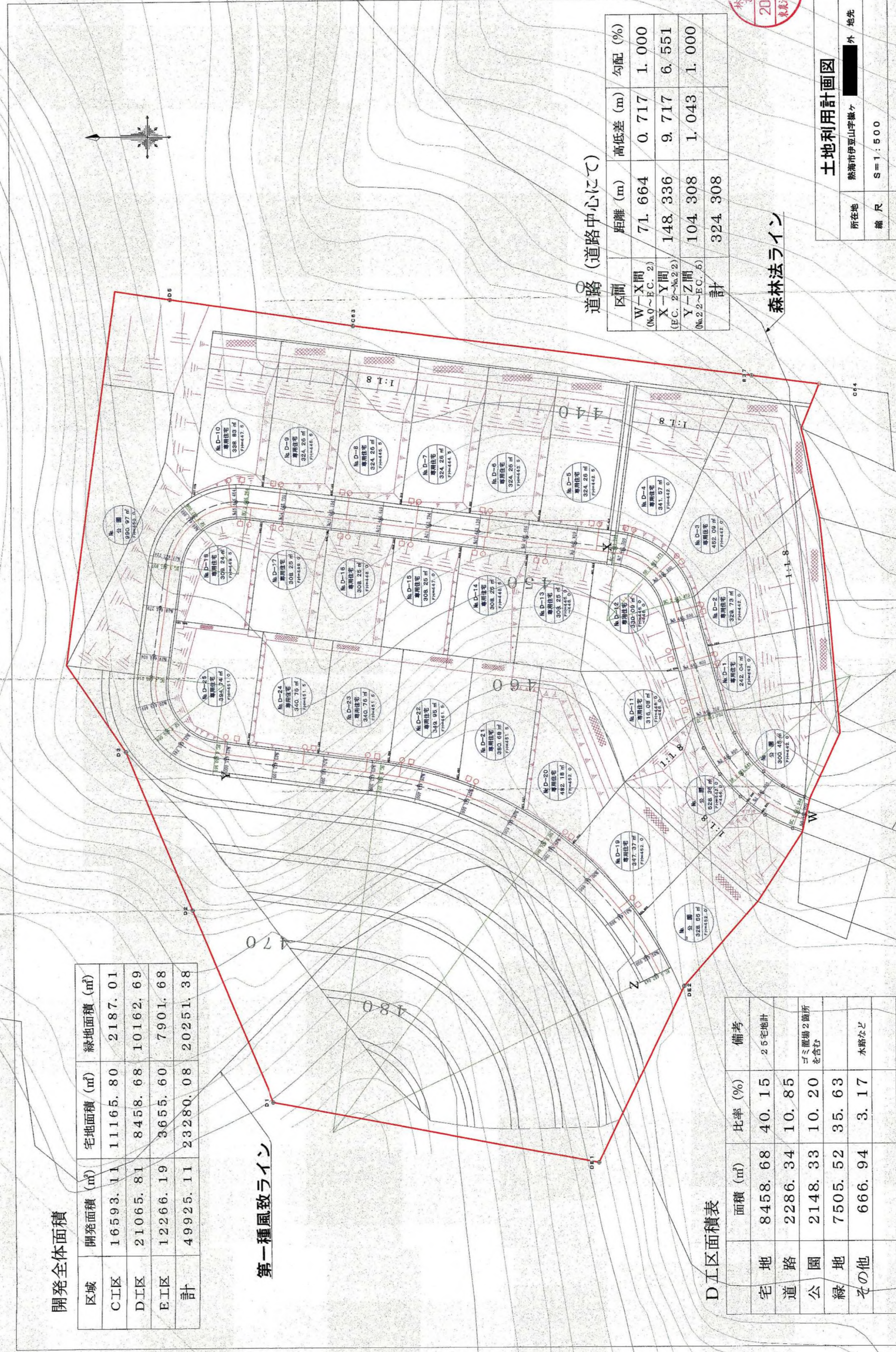
森林現況取りまとめ図

| | | |
|-----|------------|------|
| 所在地 | 熊本市伊豆山字鎌ヶ | 外 地先 |
| 縮尺 | S=1:500 | |
| 作成日 | 平成20年5月28日 | |
| 作成者 | | |

開発全体面積

| 区域 | 開発面積 (㎡) | 宅地面積 (㎡) | 緑地面積 (㎡) |
|-----|----------|----------|----------|
| CI区 | 16593.11 | 11165.80 | 2187.01 |
| DI区 | 21065.81 | 8458.68 | 10162.69 |
| EI区 | 12266.19 | 3655.60 | 7901.68 |
| 計 | 49925.11 | 23280.08 | 20251.38 |

第一種風致ライン



道路 (道路中心にて)

| 区間 | 距離 (m) | 高低差 (m) | 勾配 (%) |
|-----------------------|---------|---------|--------|
| W-X間 (No.0~E.C.2) | 71.664 | 0.717 | 1.000 |
| X-Y間 (E.C.2~No.22) | 148.336 | 9.717 | 6.551 |
| Y-Z間 (No.22~E.C.6) | 104.308 | 1.043 | 1.000 |
| 計 | 324.308 | | |

森林法ライン

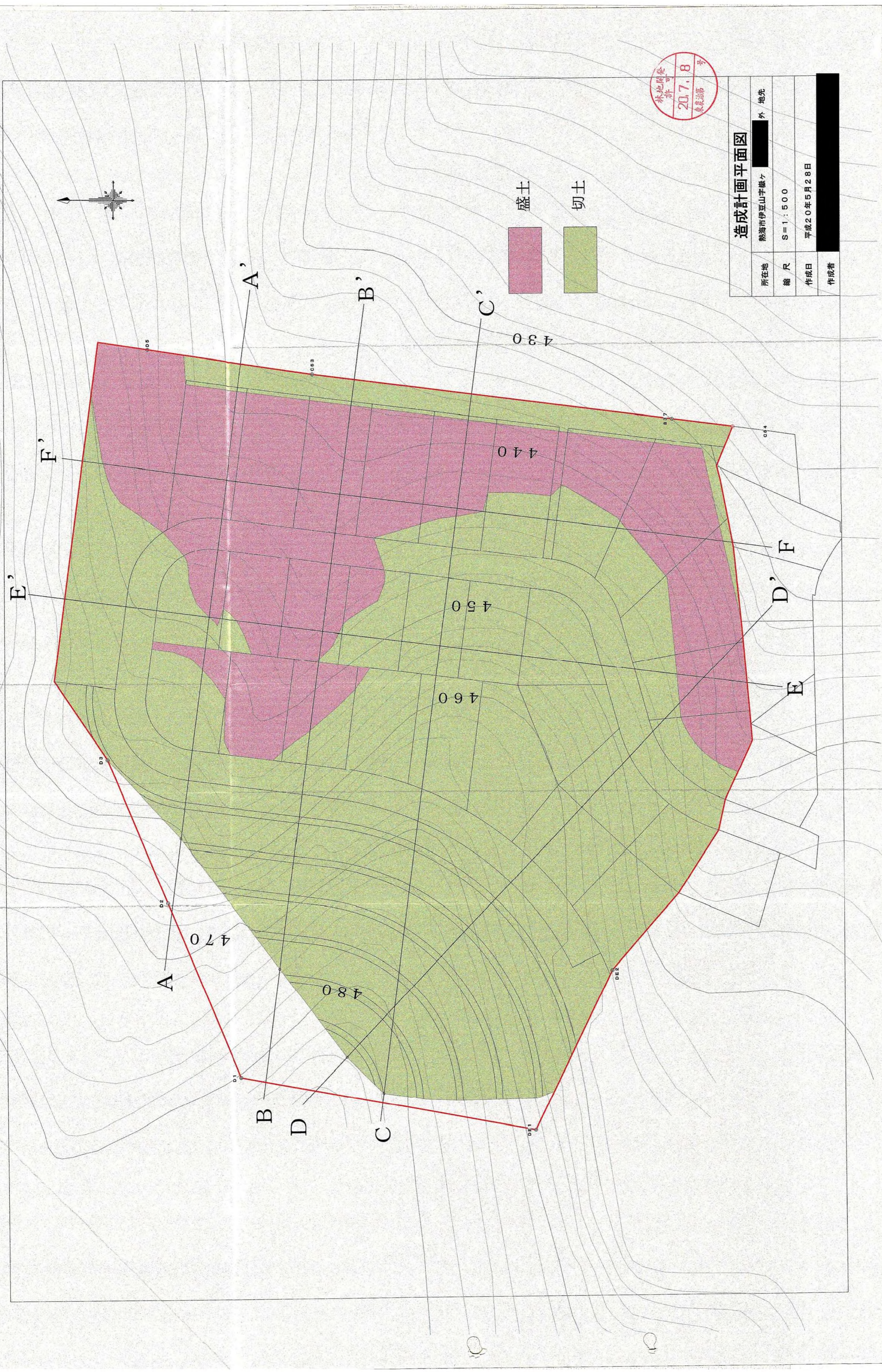
DI区面積表

| | 面積 (㎡) | 比率 (%) | 備考 |
|-----|----------|--------|-------------|
| 宅地 | 8458.68 | 40.15 | 25宅地計 |
| 道路 | 2286.34 | 10.85 | |
| 公園 | 2148.33 | 10.20 | ゴミ集積場2箇所を含む |
| 緑地 | 7505.52 | 35.63 | |
| その他 | 666.94 | 3.17 | 水溝など |
| 計 | 21065.81 | 100.00 | |

土地利用計画図

| | | |
|-----|------------|-------|
| 所在地 | 藤岡市伊豆山字藤ヶ | 外 地 先 |
| 縮尺 | S=1:500 | |
| 作成日 | 平成20年5月28日 | |
| 作成者 | | |

2017.8
2017.8
2017.8

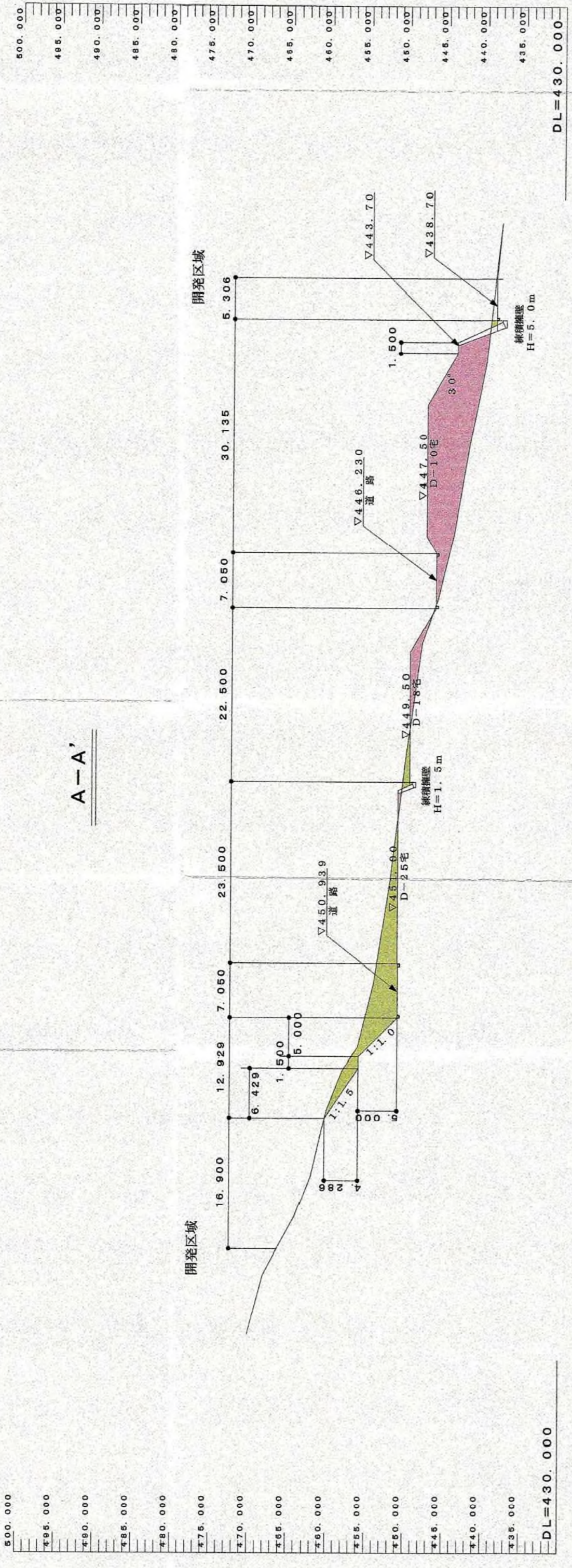


造成計画平面図

| | | | |
|-----|------------|---|----|
| 所在地 | 熊本市伊豆山字藤ヶ | 外 | 地先 |
| 縮尺 | S=1:500 | | |
| 作成日 | 平成20年5月28日 | | |
| 作成者 | [Redacted] | | |

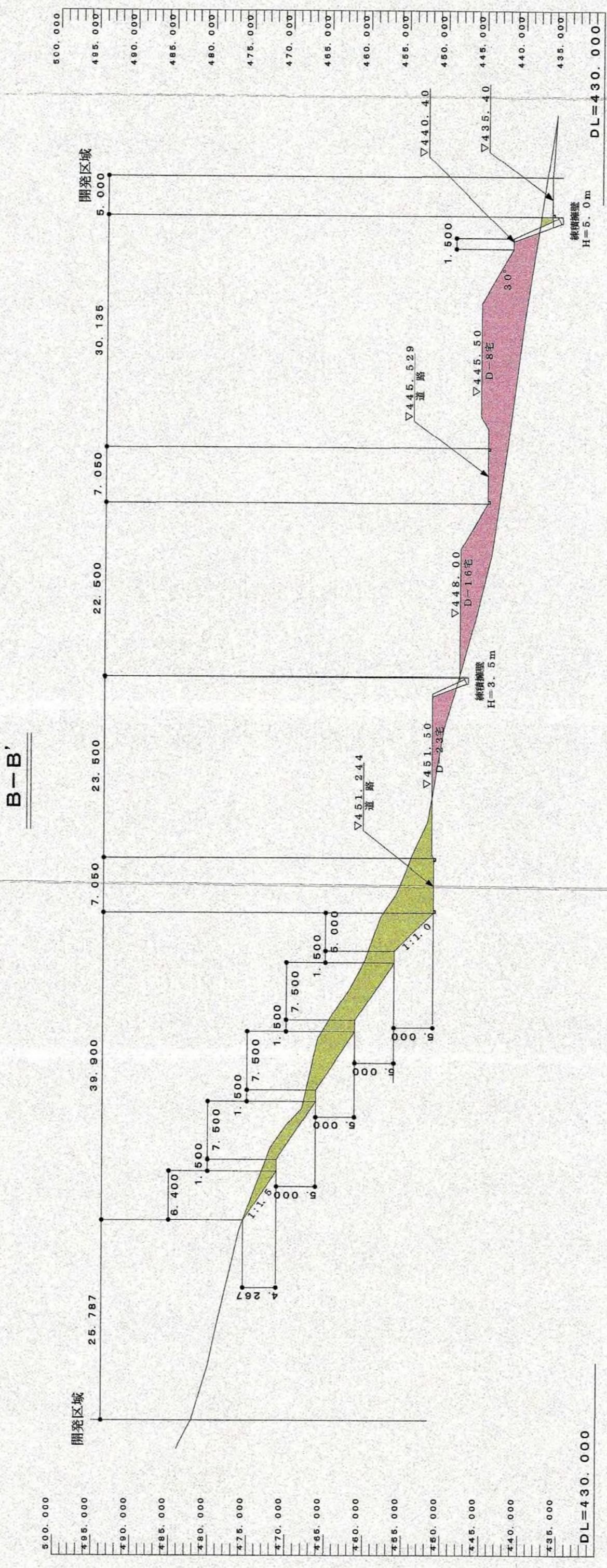
盛土
切土

林地開発許可
20.7.8
東京都



A-A'

盛土
切土



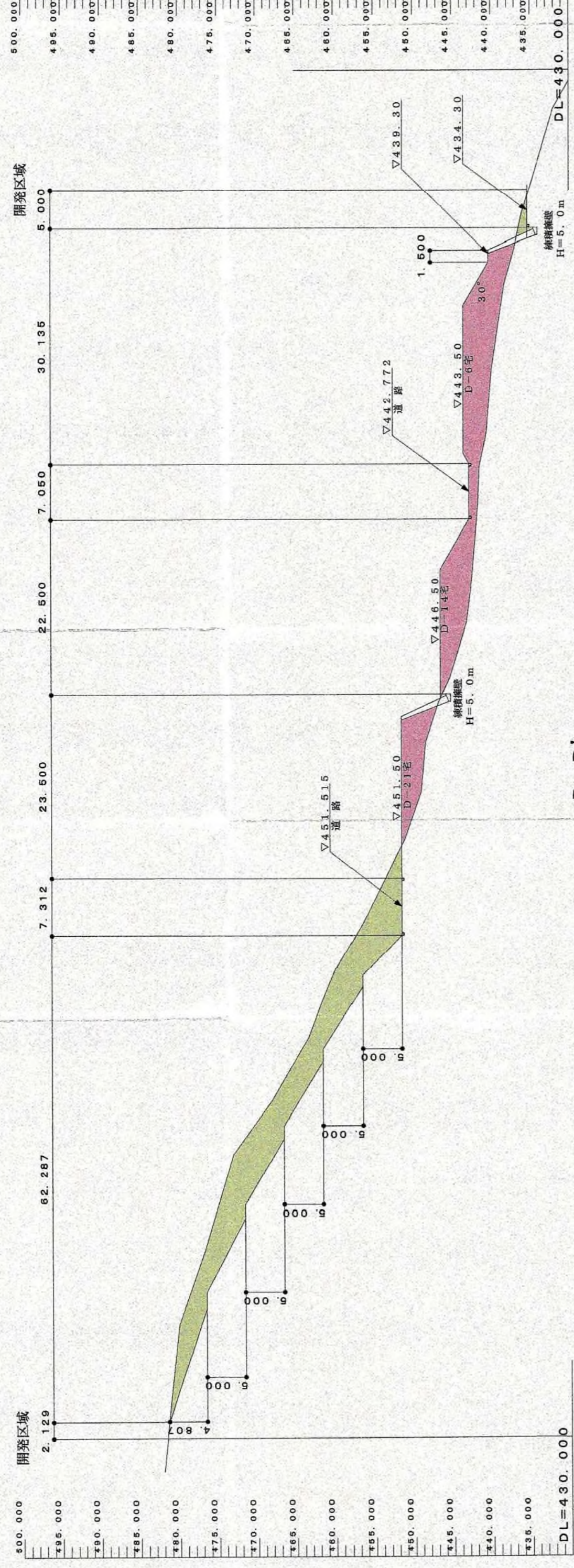
B-B'

林池野
林野
2017.8
豊後市

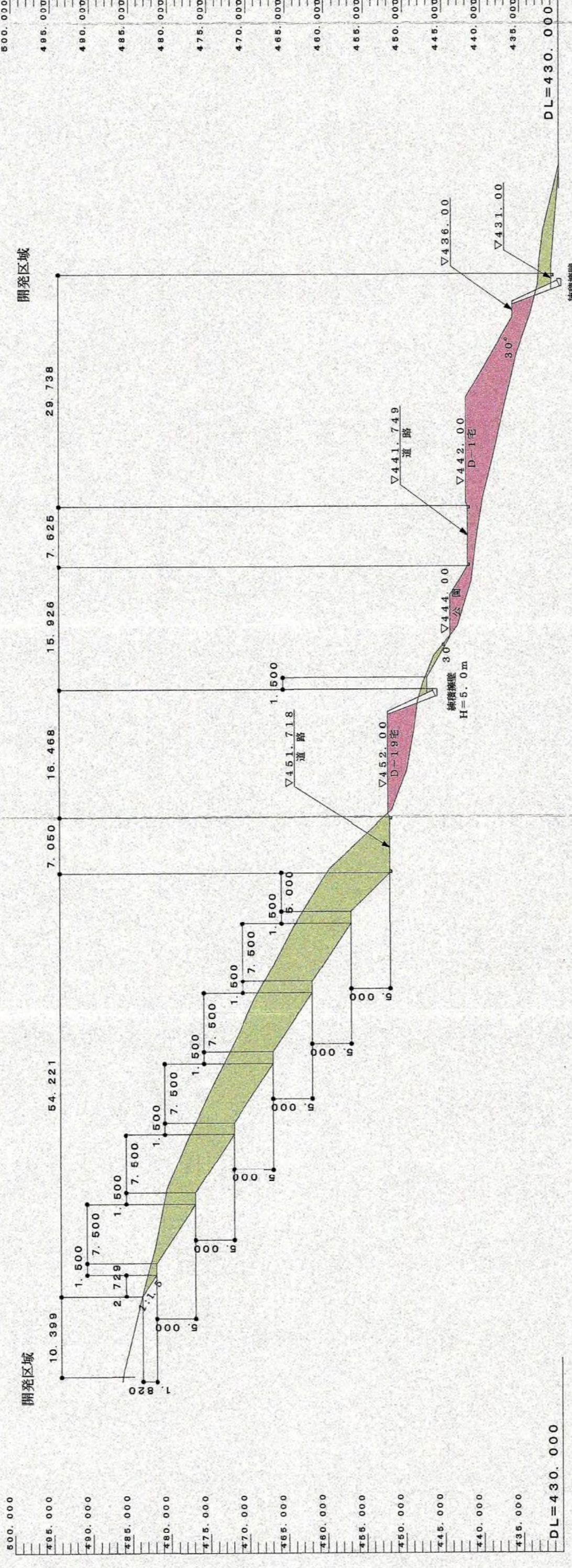
造成計画断面図 (1/3)

| | | |
|-----|------------|------|
| 所在地 | 豊後市伊豆山字嶺ヶ | 外 地先 |
| 縮尺 | S=1:500 | |
| 作成日 | 平成20年5月28日 | |
| 作成者 | | |

C-C'



D-D'



盛土



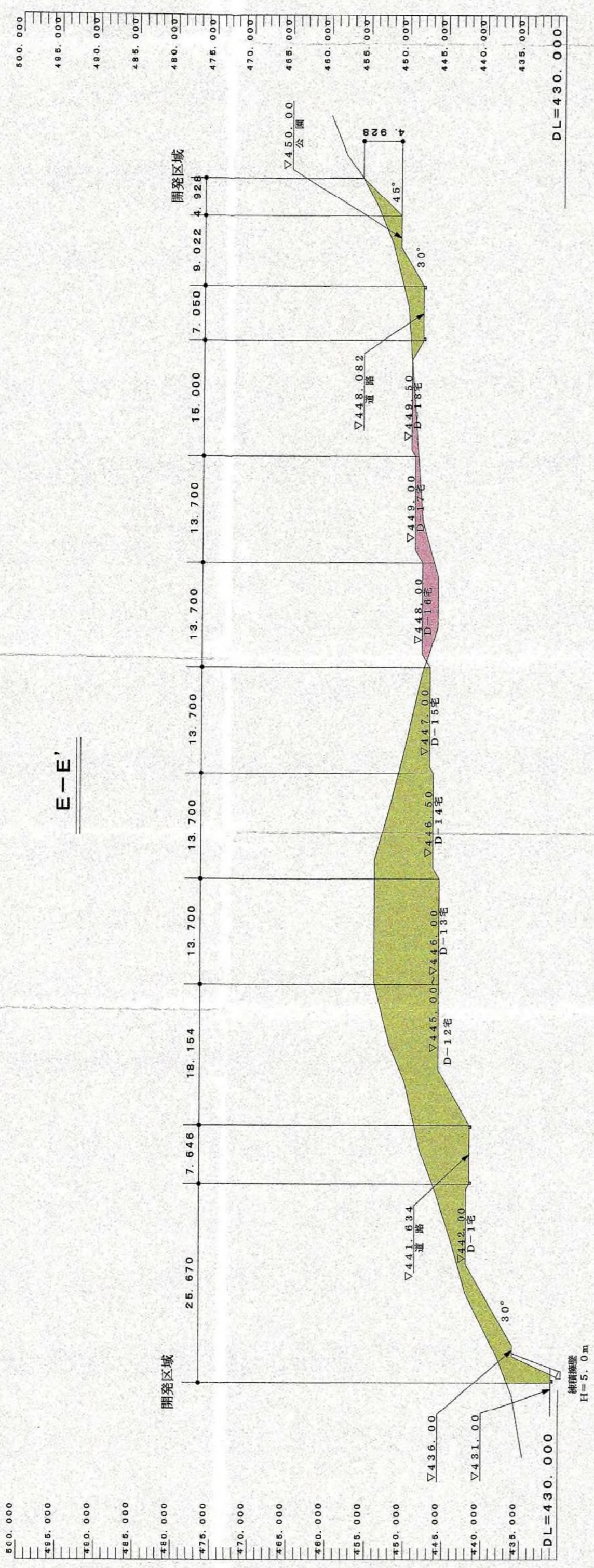
切土



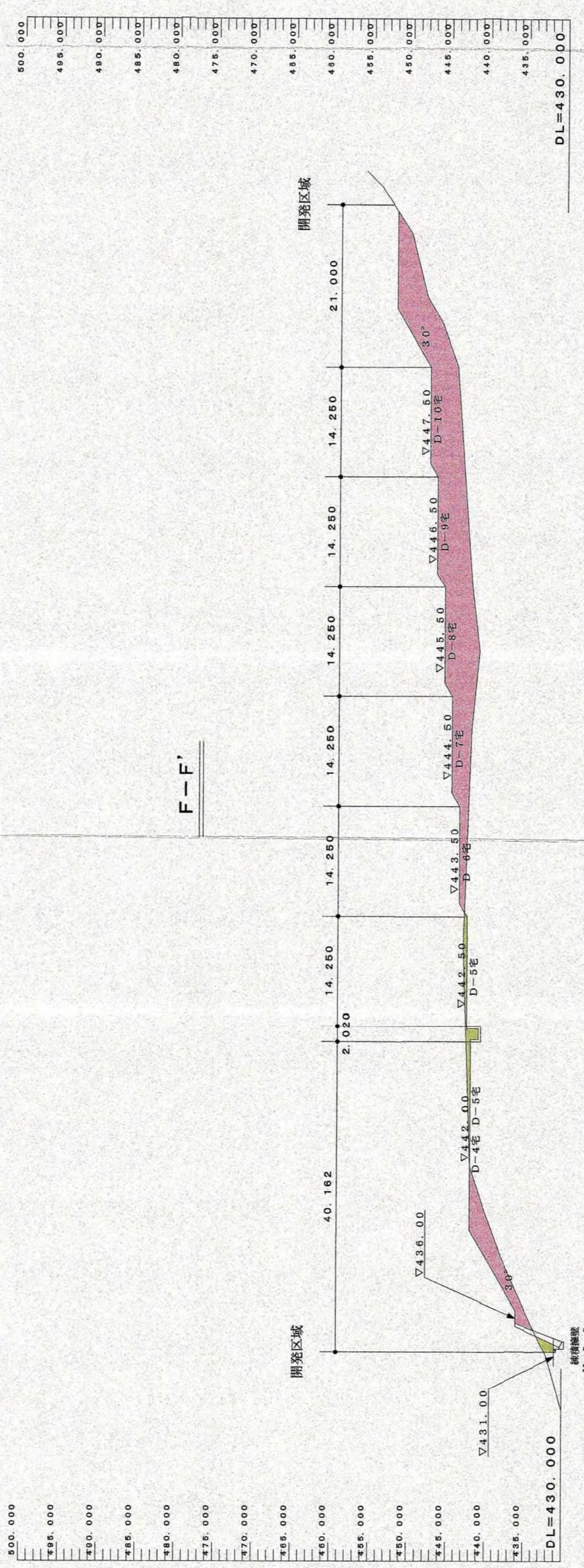
林北開発
許可
20.7.8
建設局 第

造成計画断面図 (2/3)

| | | |
|-----|------------|------|
| 所在地 | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 外 地先 |
| 縮尺 | S=1:500 | |
| 作成日 | 平成20年5月28日 | |
| 作成者 | | |



盛土
切土



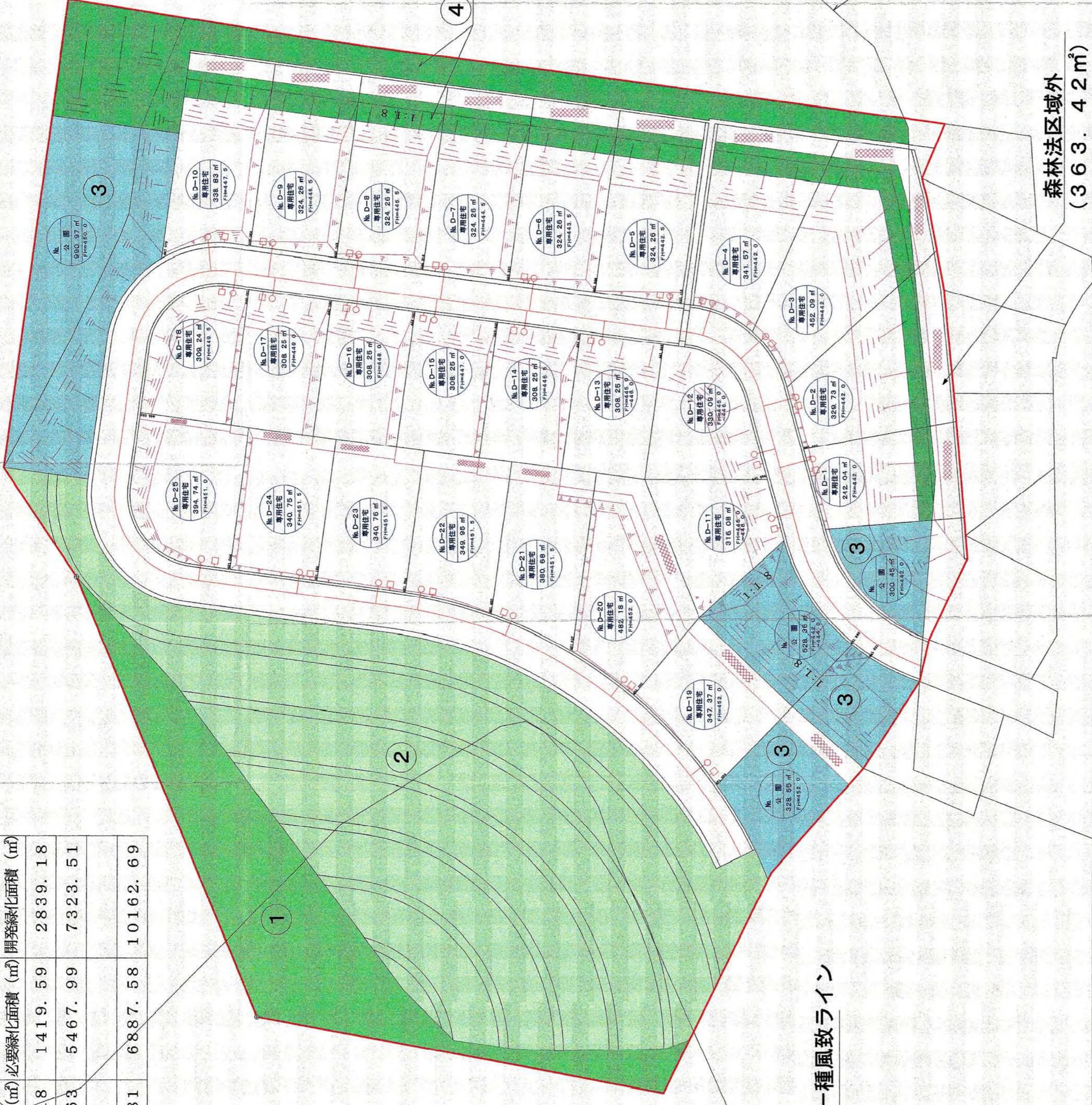
林北建設
20.7.8
林北建設

造成計画断面図 (3/3)

| | | |
|-----|------------|------|
| 所在地 | 熱海市伊豆山字嶽ヶ | 外 地先 |
| 縮尺 | S=1:500 | |
| 作成日 | 平成20年5月28日 | |
| 作成者 | | |

開発全体面積

| 風致種 | D工区内面積 (㎡) | 必要緑化面積 (㎡) | 開発緑化面積 (㎡) | 開発緑化面積 (㎡) |
|------------------|------------|------------|------------|------------|
| 第一種風致 (緑率50%) | 2839.18 | 1419.59 | 2839.18 | 2839.18 |
| 第二種風致 (緑率30%) | 18226.63 | 5467.99 | 7323.51 | 7323.51 |
| 計 | 21065.81 | 6887.58 | 10162.69 | 10162.69 |



D工区面積表 (森林法ライン内)

| | 面積 (㎡) | 比率 (%) | 備考 |
|--------|----------|--------|----------------|
| 宅地 | 8458.68 | 40.86 | 2.5宅邸# |
| 道路 | 2282.57 | 11.03 | |
| 1 残地森林 | 1317.94 | 6.37 | |
| 2 造成緑地 | 4476.73 | 21.62 | |
| 3 公園 | 2000.24 | 9.66 | 子犬塚緑2園# 芝草広 |
| 4 他の緑地 | 1590.05 | 7.68 | |
| その他 | 576.18 | 2.78 | 水堀など |
| 計 | 20702.39 | 100.00 | |

| | 面積 (㎡) | 比率 (%) | 備考 |
|--------|---------|--------|----|
| 1 残地森林 | 1317.94 | 6.37 | |
| 2 造成緑地 | 4476.73 | 21.62 | |
| 3 公園 | 2000.24 | 9.66 | |
| 4 他の緑地 | 1590.05 | 7.68 | |
| 計 | 9384.96 | 45.33 | |

林地開発
許可
2017.8
登録簿
号

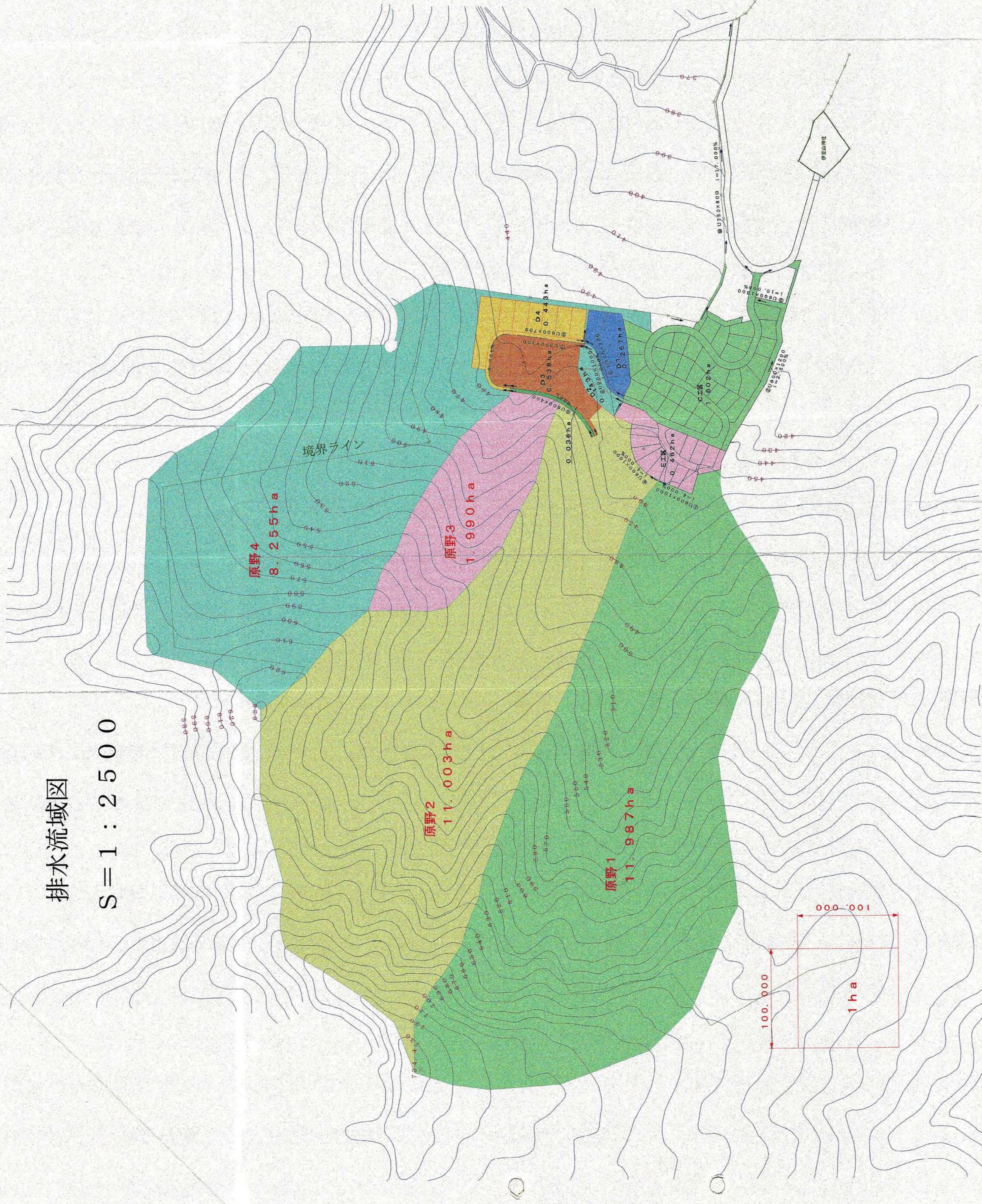
緑化計画図

| | | | |
|-----|------------|---|----|
| 所在地 | 松江市伊豆山字嶽ヶ | 外 | 地先 |
| 縮尺 | S=1:500 | | |
| 作成日 | 平成20年5月28日 | | |
| 作成者 | | | |

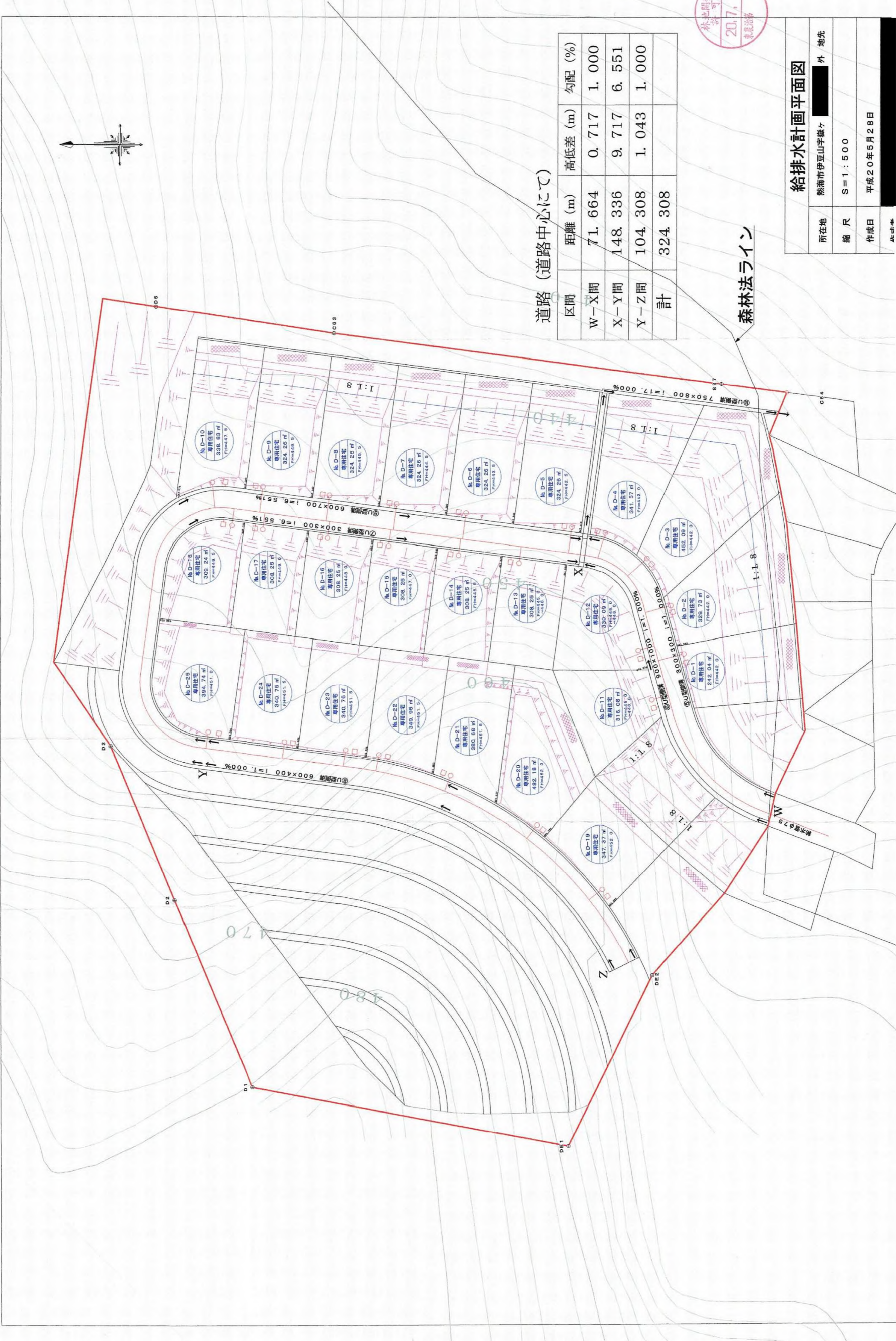
森林法区域外
(363.42㎡)

排水流域図

S=1:2500



林池開発
許可
2017.8
農林漁業



道路 (道路中心にて)

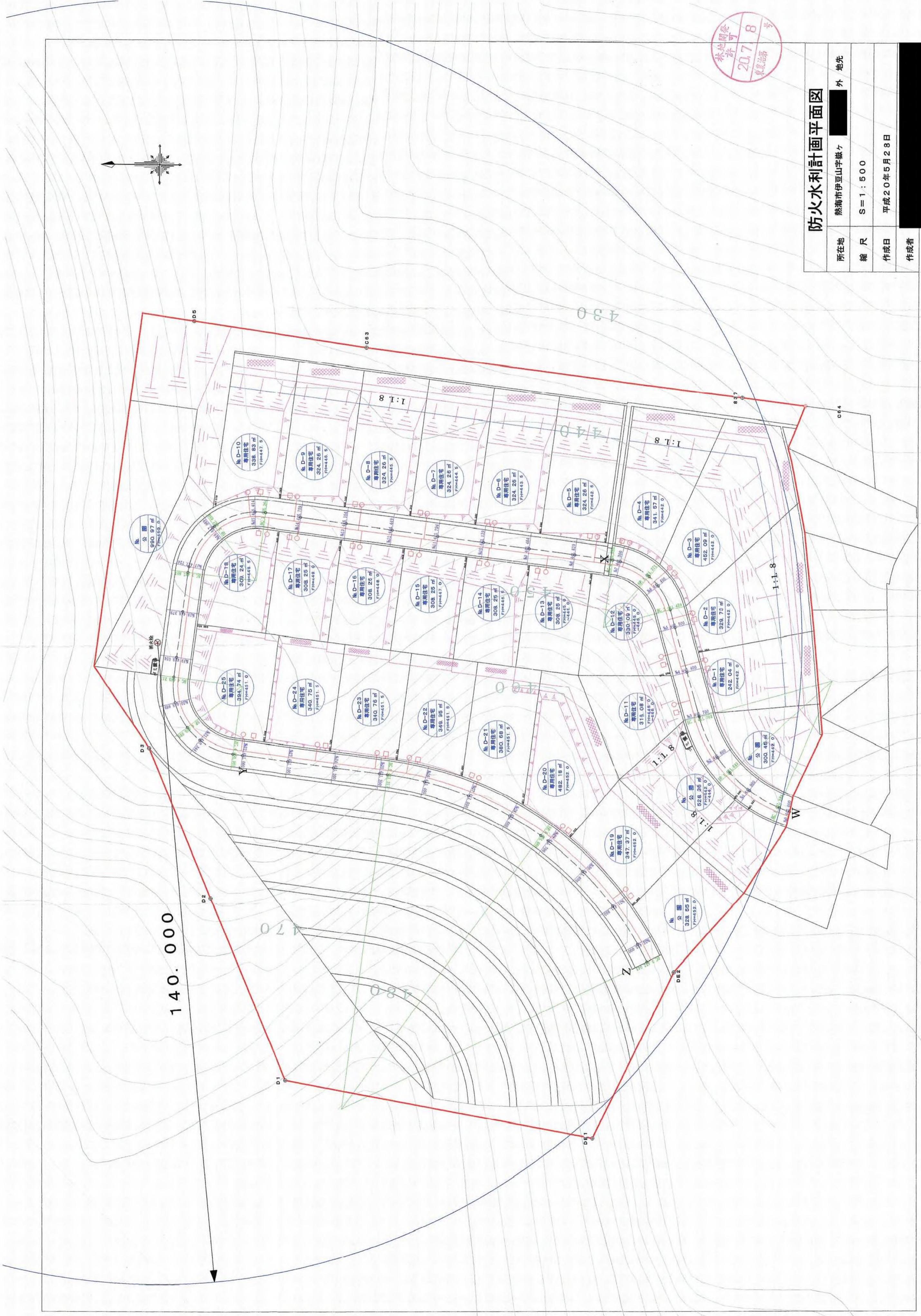
| 区間 | 距離 (m) | 高低差 (m) | 勾配 (%) |
|------|---------|---------|--------|
| W-X間 | 71.664 | 0.717 | 1.000 |
| X-Y間 | 148.336 | 9.717 | 6.551 |
| Y-Z間 | 104.308 | 1.043 | 1.000 |
| 計 | 324.308 | | |

森林法ライン

林池開発
許可
20.7.8
表紙添付
号

給排水計画平面図

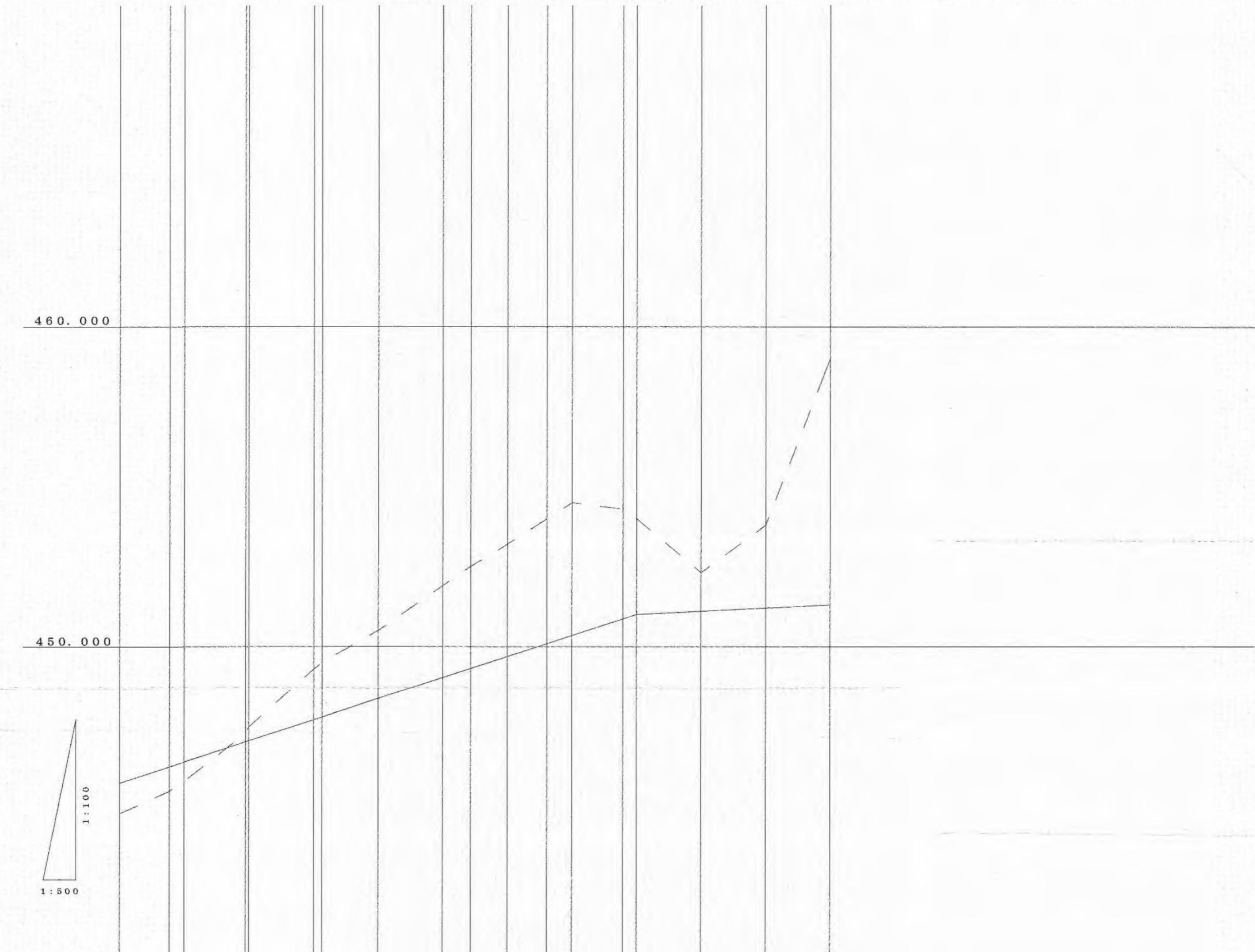
| | | | |
|-----|------------|---|----|
| 所在地 | 熱海市伊豆山字嶺ヶ | 外 | 地先 |
| 縮尺 | S=1:500 | | |
| 作成日 | 平成20年5月28日 | | |
| 作成者 | | | |



水利部
2017.8
注册

防火水利計画平面図

| | | | |
|-----|-------------|---|---|
| 所在地 | 群馬県伊豆山市大字敷ヶ | 外 | 他 |
| 縮尺 | S=1:500 | | |
| 作成日 | 平成20年5月28日 | | |
| 作成者 | | | |

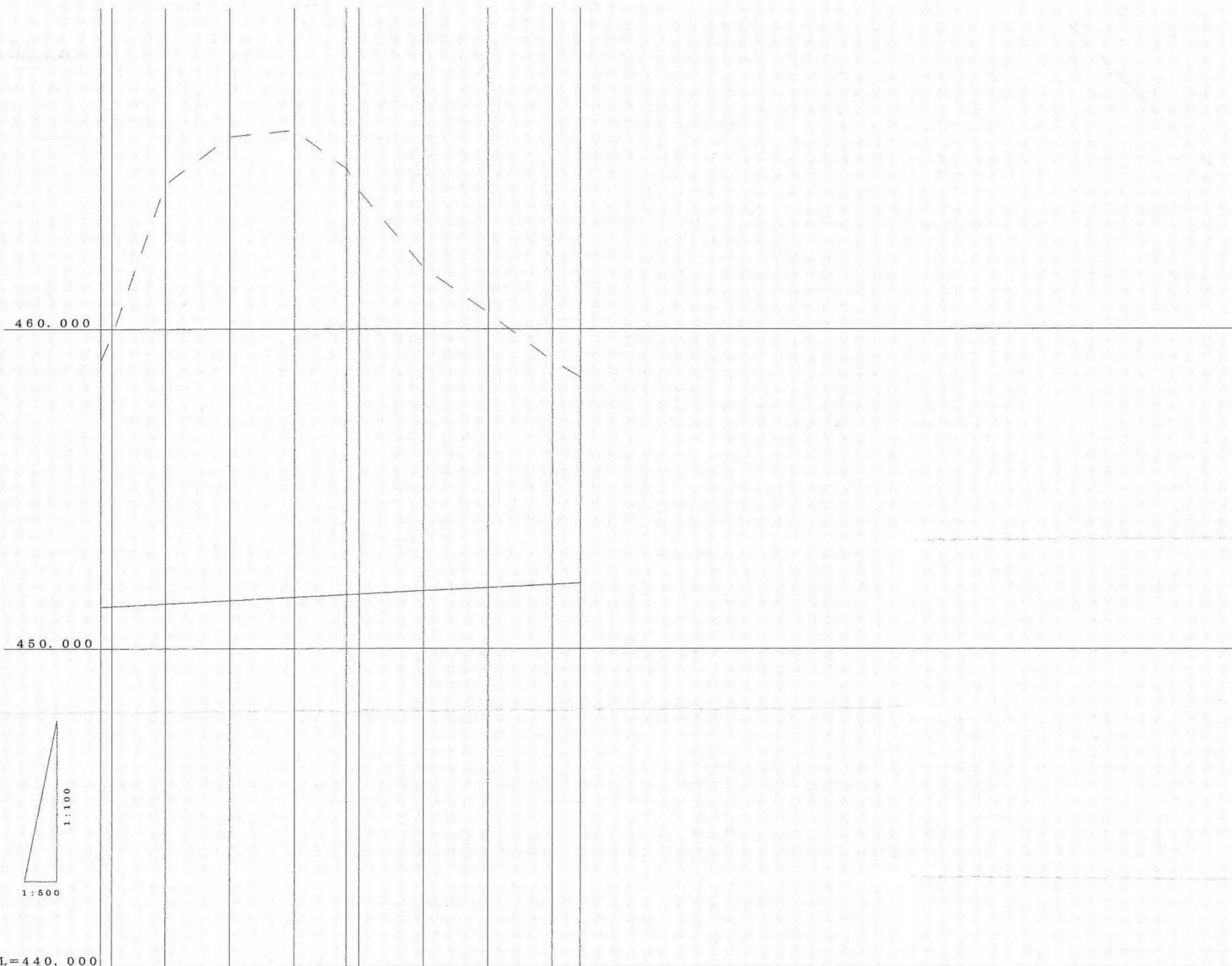


| 測点 | 単距離 | 追加距離 | 地盤高 | 計画高 | 切土 | 盛土 | 勾配 |
|-------------|-----------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------|-------|--|
| M14 | 10.000 | 140.000 | 444.800 | 445.759 | | 0.959 | $i = 6.551\%$ $h = 5.241$ $i = 80.000$ |
| BC.3 | 7.712 | 147.712 | 445.500 | 446.264 | | 0.764 | |
| M15 | 2.288 | 150.000 | 445.800 | 446.414 | | 0.614 | |
| SP.3 M16 | 9.493 0.507 | 159.493 160.000 | 447.300 447.500 | 447.036 447.069 | 0.264 0.431 | | |
| M17 EC.3 | 10.000 1.274 | 170.000 171.274 | 449.300 449.500 | 447.724 447.807 | 1.576 1.693 | | |
| M18 | 8.726 | 180.000 | 450.500 | 448.379 | 2.121 | | |
| M19 | 10.000 | 190.000 | 451.900 | 449.034 | 2.866 | | |
| BC.4 | 4.324 | 194.324 | 452.500 | 449.317 | 3.183 | | |
| M20 | 5.676 | 200.000 | 452.200 | 449.689 | 3.511 | | |
| SP.4 | 6.105 | 206.105 | 454.000 | 450.089 | 3.911 | | |
| M21 | 3.895 | 210.000 | 454.500 | 450.344 | 4.156 | | |
| EC.4 M22 | 7.886 2.114 | 217.886 220.000 | 454.300 454.000 | 450.861 451.000 | 3.439 3.000 | | $i = 1.000\%$ $h = 0.300$ $i = 30.000$ |
| M23 | 10.000 | 230.000 | 452.300 | 451.100 | 1.200 | | |
| M24 | 10.000 | 240.000 | 453.800 | 451.500 | 2.600 | | |
| M25 | 10.000 | 250.000 | 459.000 | 451.500 | 7.700 | | |

IP.3
 IA=90-00-00
 R=15.000
 CR=23.562
 TL=15.000
 SL=6.213

IP.4
 IA=90-00-00
 R=15.000
 CR=23.562
 TL=15.000
 SL=6.213



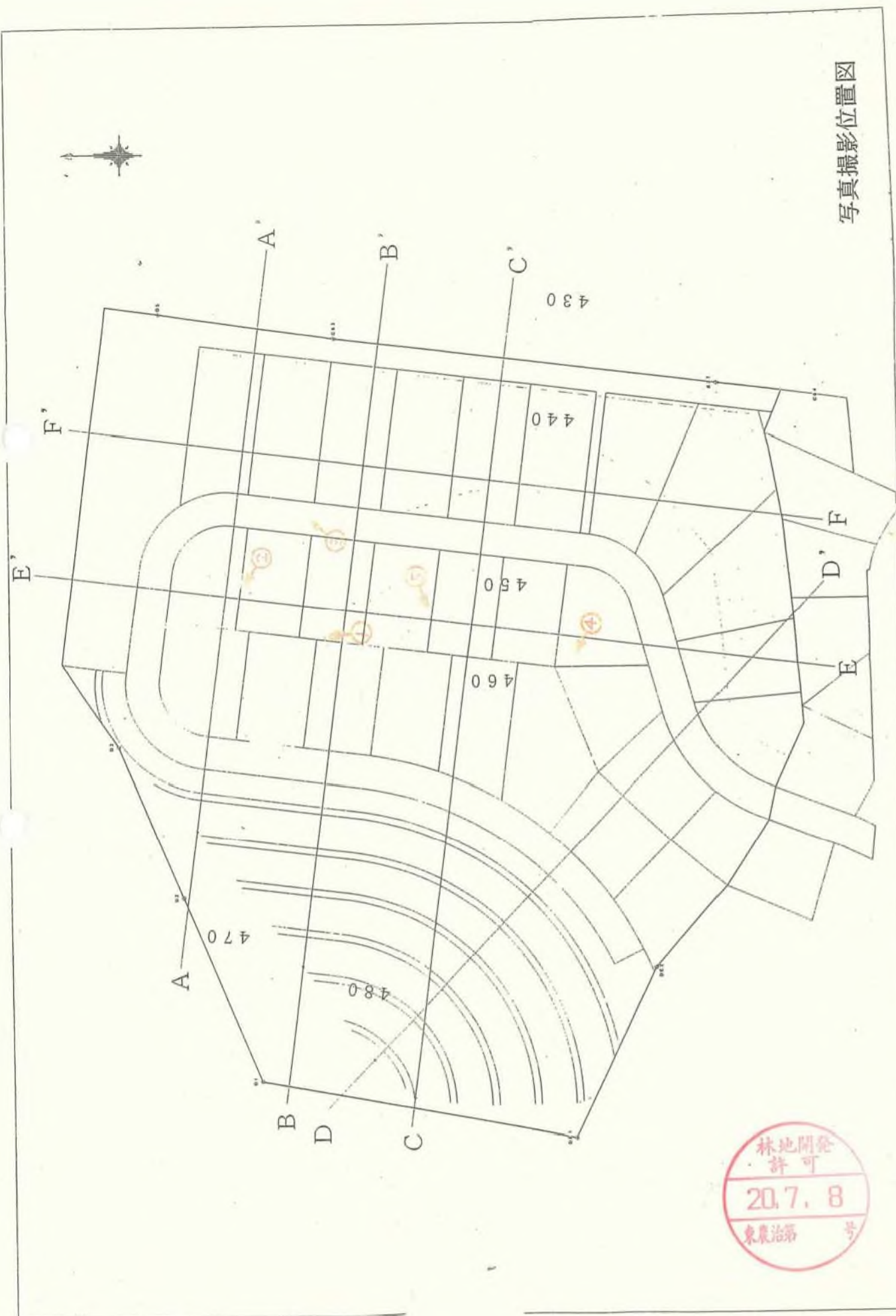


| | | | | | | | | | | | | |
|------|--------------|---|---------|---------|---------|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 勾配 | 451.300 | $i = 1.000\%$ $h = 0.743$ $l = 74.308$ | | | | | | | | | | 452.043 |
| 盛土 | | | | | | | | | | | | |
| 切土 | 7.700 | 8.483 | 13.100 | 14.500 | 14.600 | 13.320 | 12.600 | 10.100 | 8.600 | 7.000 | 6.457 | |
| 計画高 | 451.300 | 451.317 | 451.400 | 451.500 | 451.600 | 451.680 | 451.700 | 451.800 | 451.900 | 452.000 | 452.043 | |
| 地盤高 | 459.000 | 459.800 | 464.500 | 466.000 | 466.200 | 466.000 | 464.300 | 461.900 | 460.500 | 459.000 | 458.500 | |
| 追加距離 | 260.000 | 261.740 | 260.000 | 270.000 | 280.000 | 288.026 | 290.000 | 300.000 | 310.000 | 320.000 | 324.308 | |
| 単距離 | 10.000 | 1.740 | 8.260 | 10.000 | 10.000 | 8.026 | 1.974 | 10.000 | 10.000 | 10.000 | 4.312 | |
| 測点 | M25 BC, 5 | | M26 | M27 | M28 | SP, 5 M29 | | M30 | M31 | M32 | EC, 5 | |

| | |
|-----|--|
| 曲率図 | IP. 5 IA=56-35-29 R=73.475 CR=72.572 TL=39.555 SL=9.971 |
|-----|--|



写真撮影位置図



林地開發
許可
20.7.8
東農治第 号



①



②



③

林地開發
許可
20, 7, 8
東農治第 号



④



⑤

林地開
許可
20.7.8
東農治第 号